

**2013年度
大谷大学
在学生満足度アンケート調査**

－ 調査結果報告 －

2014年3月

目次

調査概要	2				
【文学部編】		【短期大学部編】		【大学院編】	
回答者の属性	4	回答者の属性	47	回答者の属性	84
1. 大谷大学への進学について		1. 大谷大学短期大学部への進学について		1. 大谷大学大学院への進学について	
1-1.大学進学理由	8	1-1.大学進学理由	51	1.大谷大学大学院への進学理由	87
1-2.大谷大学への志願理由	9	1-2.大谷大学短期大学部への志願理由	52	2. 大学院での取り組みと建学の理念に対する意識	
1-3.卒業後の希望進路	11	1-3.卒業後の希望進路	54	2-1.建学の理念認知度／	
2. 建学の理念に対する意識と大学での取り組み		2. 建学の理念に対する意識と大学での取り組み		2-2.建学の理念を感じる時	89
2-1.建学の理念認知度	13	2-1.建学の理念認知度／	56	2-3.大学院で取り組んでいること	90
2-2.建学の理念を感じる時	14	2-2.建学の理念を感じる時	57	2-4.専門研究の進行状況	91
2-3.入学後の自己認識・評価	15	2-3.入学後の自己認識・評価	57	2-5.入学後の自己認識・評価	92
2-4.身についた能力や知識・技能	16	2-4.身についた能力や知識・技能	58	3. 各カテゴリーに対する評価	
3. 大谷大学での学業について		3. 大谷大学での学業について		3-1.授業の評価	94
3-1.授業出席率と授業理解度	19	3-1.授業出席率と授業理解度	60	3-2.学びの環境の評価	95
3-2.授業を欠席する理由	21	3-2.授業を欠席する理由	61	3-3.教員の評価	96
3-3.授業が理解できない理由	23	3-3.授業が理解できない理由	62	3-4.進路・就職サポート体制の評価	97
4. 各カテゴリーに対する評価		4. 各カテゴリーに対する評価		3-5.福利厚生施設・設備などの評価	99
4-1.授業の評価	26	4-1.授業の評価	64	3-6.教育施設・設備などの評価	101
4-2.学びの環境の評価	27	4-2.学びの環境の評価	65	3-7.教育・学生生活のサポート体制の評価	105
4-3.教員の評価	28	4-3.教員の評価	66	3-8.その他の評価	106
4-4.進路・就職サポート体制の評価	29	4-4.進路・就職サポート体制の評価	67	4. 大谷大学大学院に対する満足度	
4-5.福利厚生施設・設備などの評価	32	4-5.福利厚生施設・設備などの評価	69	4-1.各カテゴリーの満足度	108
4-6.教育施設・設備などの評価	34	4-6.教育施設・設備などの評価	71	4-2.現在の満足度	109
4-7.教育・学生生活のサポート体制の評価	39	4-7.教育・学生生活のサポート体制の評価	76		
4-8.その他の評価	40	4-8.その他の評価	77	付 調査票（文学部・短期大学部）	110
5. 大谷大学に対する満足度		5. 大谷大学に対する満足度		付 調査票（大学院）	118
5-1.各カテゴリーの満足度	42	5-1.各カテゴリーの満足度	79		
5-2.現在の満足度	43	5-2.現在の満足度	81		
5-3.各カテゴリーの満足度と現在の満足度(学科別)	44	5-3.入学時の満足度と現在の満足度の比較	82		
5-4.入学時の満足度と現在の満足度の比較	45				

1 調査目的

全学的・組織的な自己点検・評価活動の一環として、大学(文学部・短期大学部)および大学院の教育内容や学生生活に対する在学生の満足度を把握し、課題を明らかにするとともに、改善に向けた施策検討のための基礎資料とする。

2 調査対象

- 大谷大学 文学部在学生 全員
- 大谷大学 短期大学部在学生 全員
- 大谷大学大学院 在学生 全員

3 調査方法

- 文学部、短期大学部 学内配布・回収 (授業中に実施し(30分程度)、その場で回収。)
- 大学院 学内配布・回収 (アンケートを配布し、記入後、後日回収ボックスにて回収。)

4 調査実施時期

- 文学部、短期大学部 2013年10月31日～12月5日
- 大学院 2013年11月1日から学生へ配布。回収しめきりは11月22日。

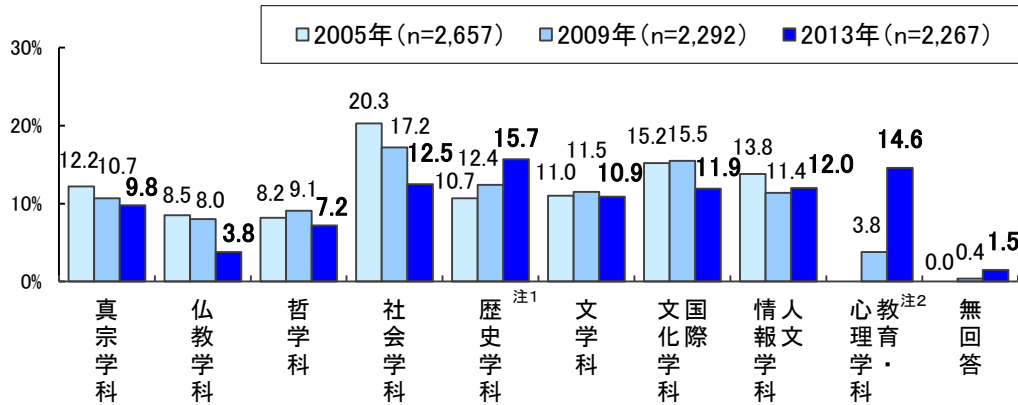
5 依頼数、回収数、回収率、有効サンプル数

調査対象	依頼数(在 student 数)			回収数			回収率			有効サンプル数		
	2005年	2009年	2013年	2005年	2009年	2013年	2005年	2009年	2013年	2005年	2009年	2013年
大学 全体	4,084	3,675	3,348	3,085	2,501	2,430	75.5%	68.1%	72.6%	3,085	2,501	2,430
文学部	3,603	3,414	3,160	2,657	2,292	2,267	73.7%	67.1%	71.7%	2,657	2,292	2,267
短期大学部	481	261	188	409	209	163	85.0%	80.1%	86.7%	409	209	163
大学院 全体	160	140	122	39	65	53	24.4%	46.4%	43.4%	39	65	53
修士課程	102	95	88	22	49	38	21.6%	51.6%	43.2%	22	49	38
博士後期課程	58	45	34	17	16	14	29.3%	35.6%	41.2%	17	16	14

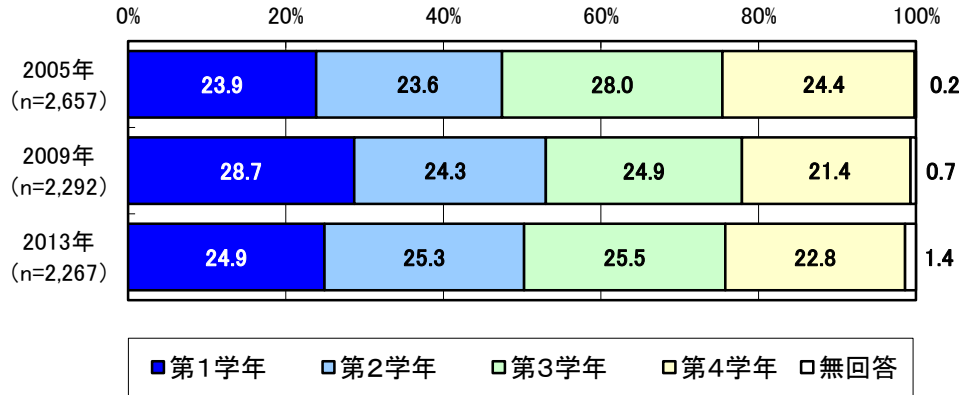
【 文 学 部 編 】

● 学科

注1 2005年は「史学科」
注2 2009年に新しく追加された項目

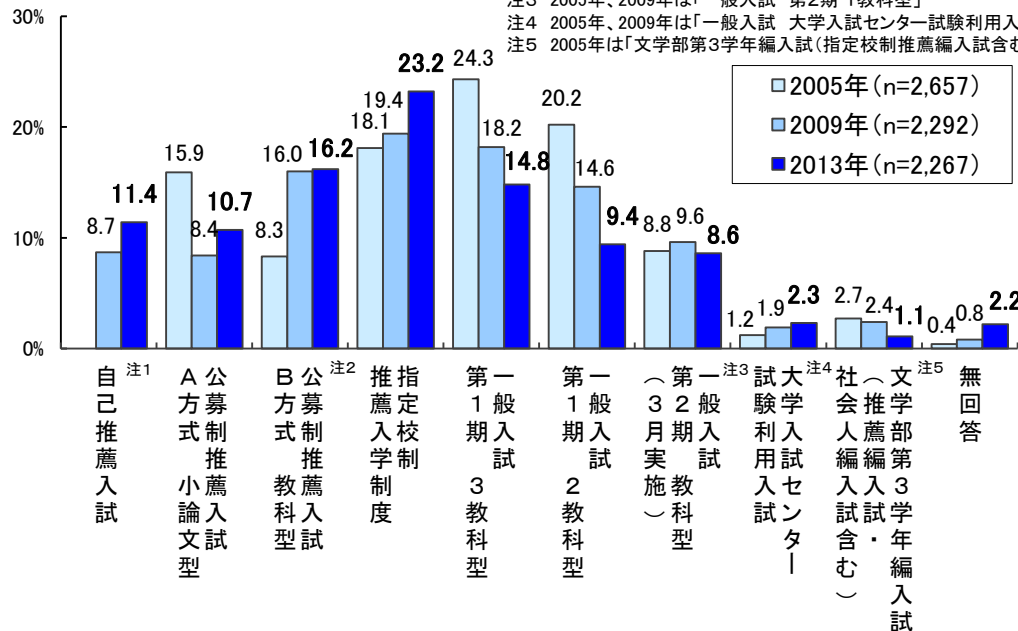


● 学年

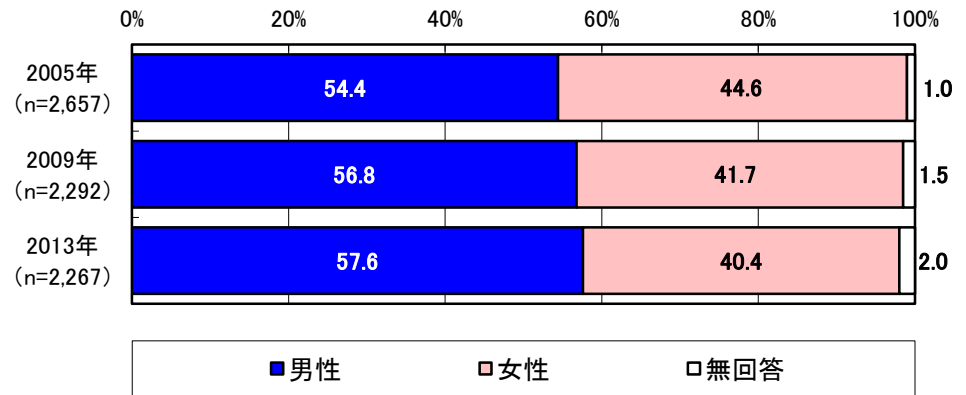


● 入学した入試方式

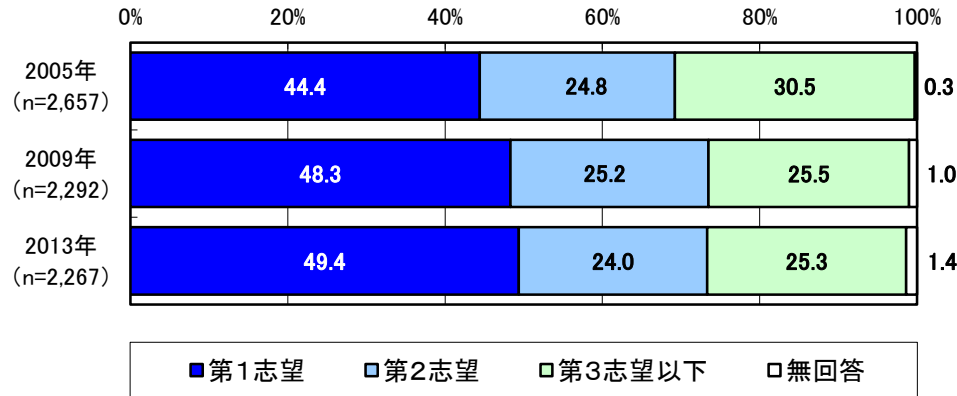
注1 2009年に新しく追加された項目
注2 2005年、2009年は「公募制推薦入試 B方式 1教科型」
注3 2005年、2009年は「一般入試 第2期 1教科型」
注4 2005年、2009年は「一般入試 大学入試センター試験利用入試」
注5 2005年は「文学部第3学年編入試(指定校制推薦編入試合含む)」



● 性別

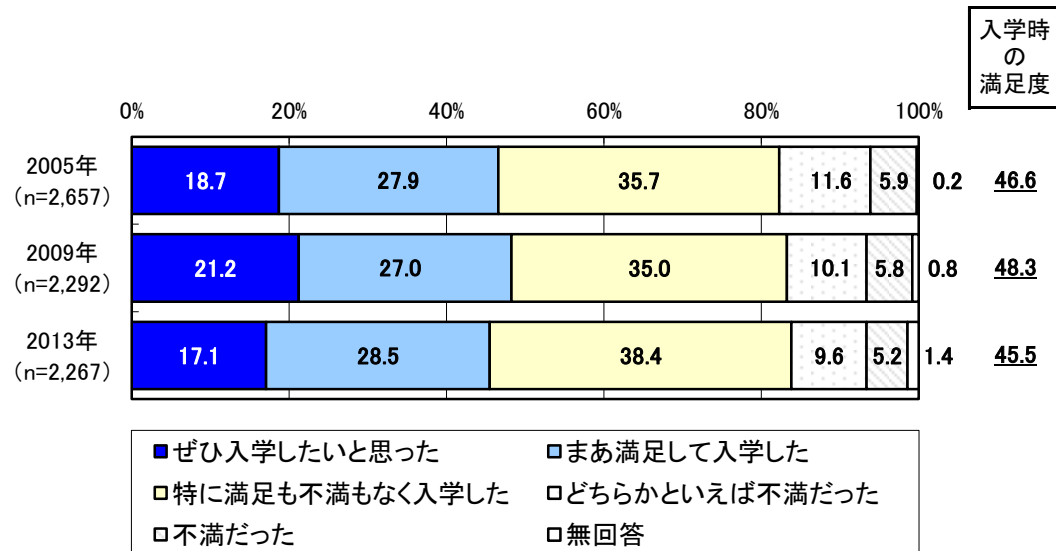


●受験時の志望順位



●入学した時の気持ち

■全体

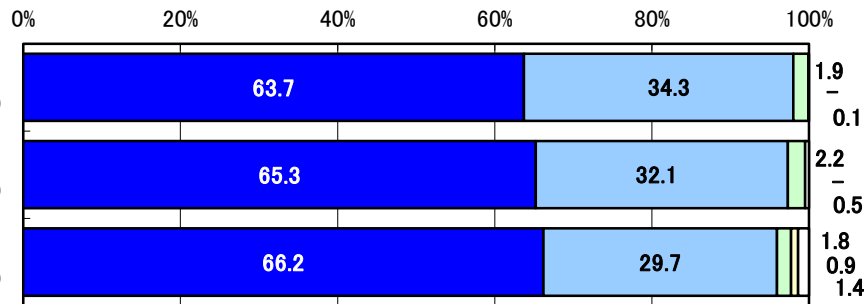


■学科別

年度	回答者数 (n)			入学時の満足度 (%)			
	05年	09年	13年	05年	09年	13年	
全体	2,657	2,292	2,267	46.6	48.3	45.5	
学科別	真宗学科	325	245	223	52.3	48.6	56.1
	仏教学科	227	183	86	55.9	46.4	40.7
	哲学科	219	209	164	44.7	54.1	55.5
	社会学科	539	395	284	44.2	43.0	39.1
	歴史学科	284	284	357	49.3	57.0	50.1
	文学科	293	264	248	49.1	48.9	44.8
	国際文化学科	403	355	269	39.0	41.4	32.0
	人文情報学科	367	261	273	44.7	49.4	44.7
教育・心理学科	—	86	330	—	60.5	51.8	

注) 入学時の満足度 = 「ぜひ入学したいと思った」 + 「まあ満足して入学した」

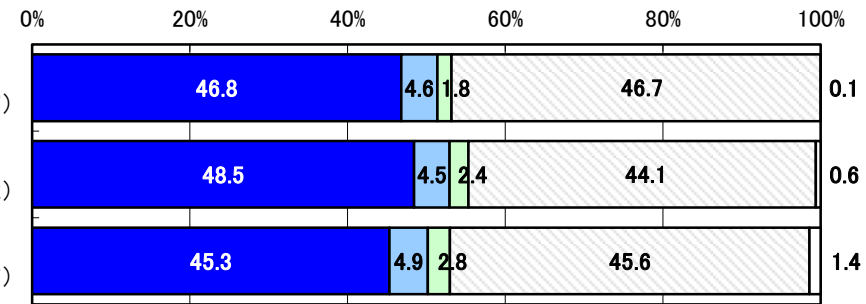
●居住形態



- 自宅
- 下宿 (アパート・マンション等での一人暮らし) 注1
- 学生寮(本学学寮を含む) 注2
- その他 注3
- 無回答

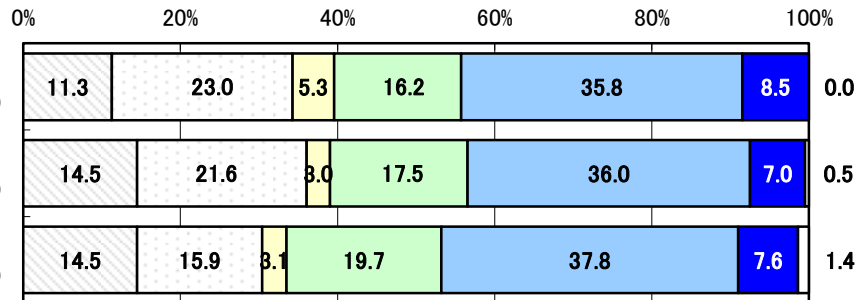
注1 2005年、2009年は「アパート・マンションなど」
注2 2005年、2009年は「学生寮」
注3 2013年に新しく追加された項目

●クラブ・サークル活動参加



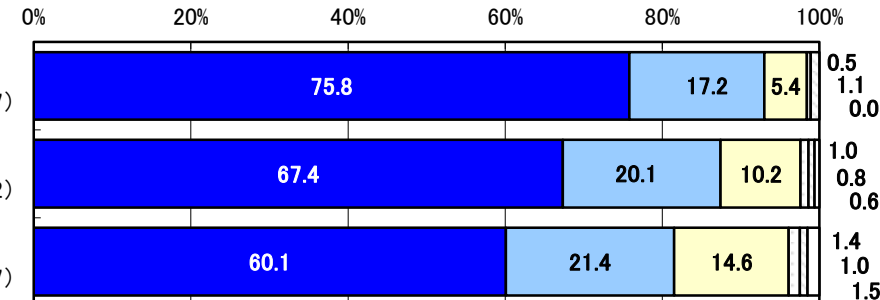
- 学内のクラブ・サークルに加入している
- 学外のクラブ・サークルに加入している
- 学内・学外のクラブ・サークル両方に加入している
- クラブ・サークルには加入していない
- 無回答

●アルバイト経験



- したことがない
- 長期休暇のときのみする
- 現在しており、週3~4日程度
- 無回答
- 以前していたが、現在はしていない
- 現在しており、週1~2日程度
- 現在しており、週5日以上

●学費の負担者



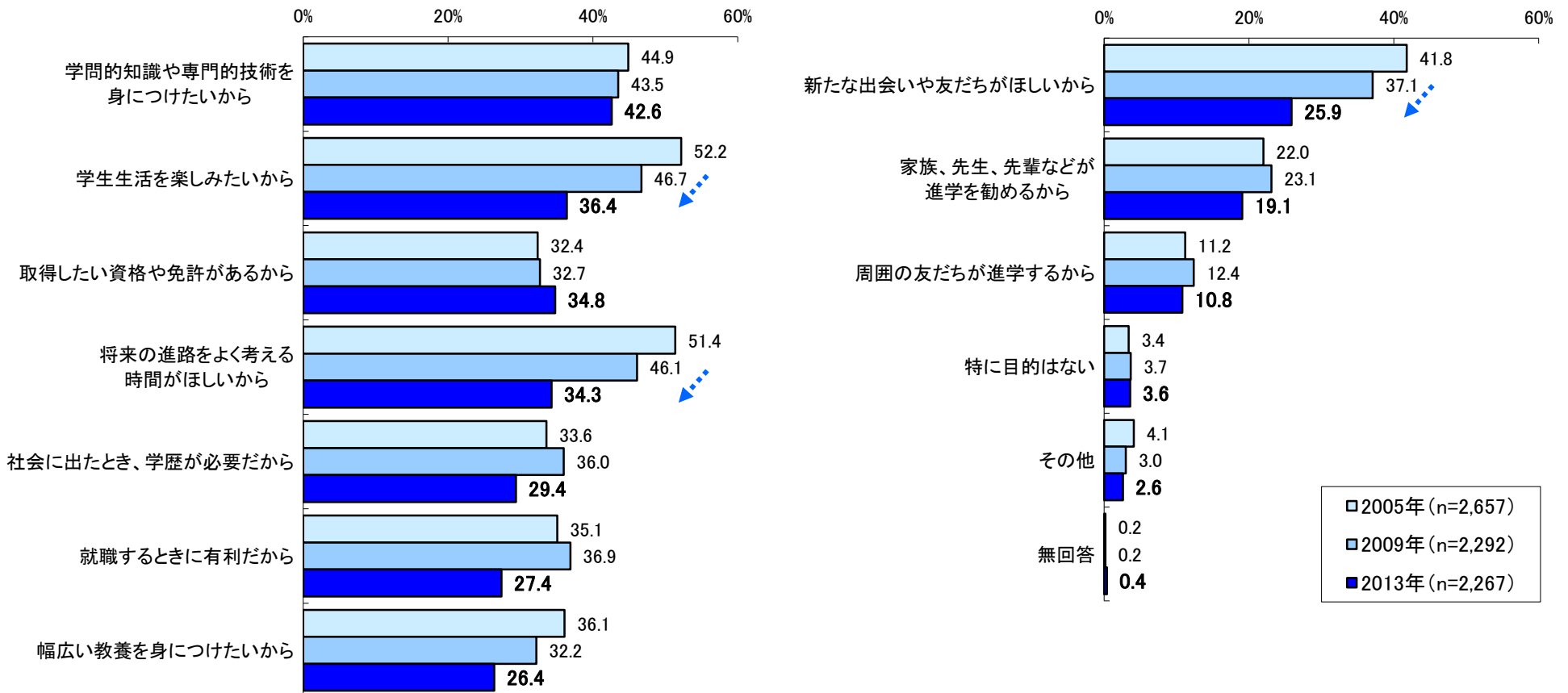
- 全額家庭から
- 大部分を家庭から、一部をアルバイト収入や奨学金から
- 大部分をアルバイト収入や奨学金から
- 他からの援助・借入れから
- その他
- 無回答

1. 大谷大学への進学について

- 大学進学理由としては「学問的知識や専門的技術を身につけたいから」が42.6%で第1位。
- 設問文が異なるため参考値としての比較になるが、「学生生活を楽しまたいから」「将来の進路を良く考える時間がほしいから」「新たな出会いや友だちがほしいから」といった、キャンパスライフにおける自由や楽しさを求める割合は低下が目立つ。

Q1 あなたが大学進学を選んだ理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。※ 2005年、2009年は「あなたが大学に進学しようと思った理由は何ですか。」

■全体



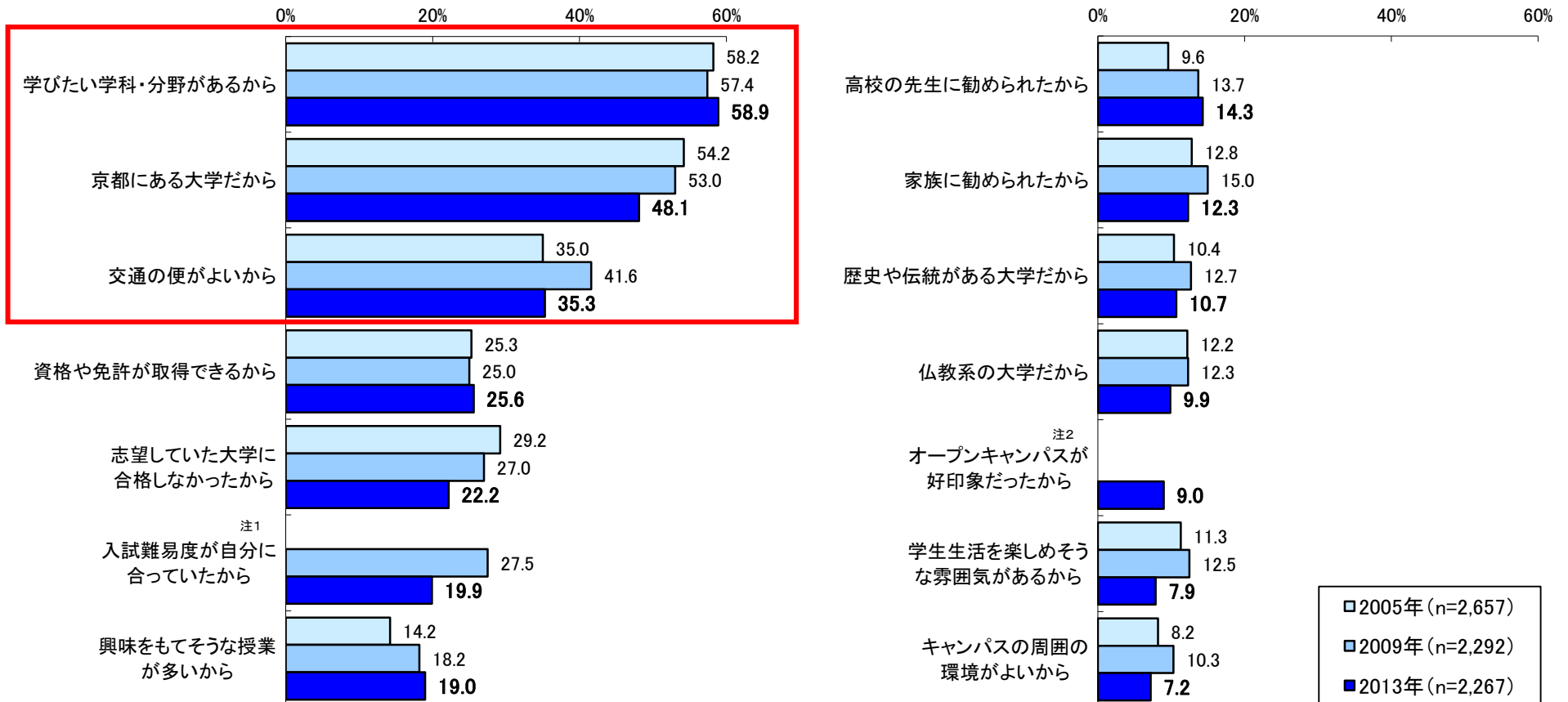
1-2. 大谷大学への志願理由

■ 大谷大学への志願理由の順位には大きな変化はみられず、「学びたい学科・分野があるから」「京都にある大学だから」「交通の便がよいから」が上位に上げられている。

→『学び』と『大学の立地』が大学選択のポイントになっている様子。

Q2-1 あなたが大谷大学を志願した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体(上位14項目)



注1 2009年に新しく追加された項目

注2 2013年に新しく追加された項目

1-2. 大谷大学への志願理由 (学科別)

■ 学科別にみると、志願理由にはやや違いがみられる。

- 哲学科、教育・心理学科、歴史学科、真宗学科:「学びたい学科・分野があるから」が志願理由のトップで、大谷大学の『学び』に対する期待が高いことがうかがえる。
- 仏教学科、社会学科、文学科、国際文化学科、人文情報学科:「京都にある大学だから」が志願理由の第1位。社会学科、人文情報学科は「交通の便がよいから」も4割台で高く、『大学の立地』を重視している傾向がうかがえる。

■ 学科別(上位12項目)

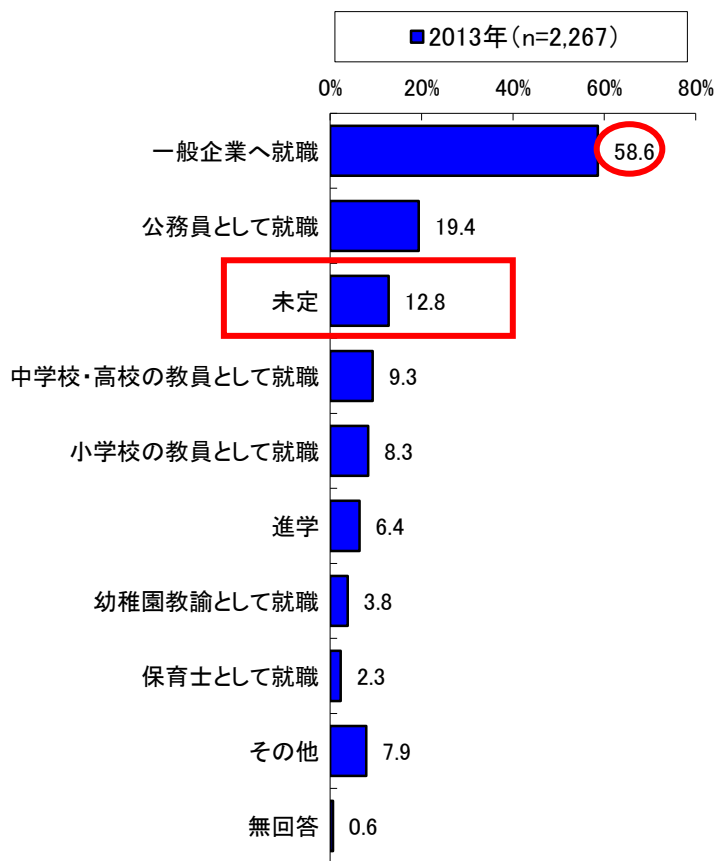
		回答者数 (n)			が学学 あ科び か分い ら野			大京 学都 だに かあ らる			よ交 い通 かの ら便 が			で免 き許 格 るが か取 ら得			か合い志 つ格た望 るかたし かな学て らに			か合が入 らつ自 試 て分難 いに易 た度		
年度	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	
全体	2,657	2,292	2,267	58.2	57.4	58.9	54.2	53.0	48.1	35.0	41.6	35.3	25.3	25.0	25.6	29.2	27.0	22.2	—	27.5	19.9	
学科別	真宗学科	325	245	223	45.8	49.4	66.8	23.7	30.2	20.6	10.2	10.6	8.1	51.4	50.6	52.0	9.5	15.5	4.9	—	15.5	5.4
	仏教学科	227	183	86	41.0	41.0	34.9	51.5	48.6	44.2	31.7	31.1	33.7	24.7	21.3	26.7	13.7	16.4	31.4	—	25.7	24.4
	哲学科	219	209	164	63.5	76.1	76.8	54.3	57.4	48.2	30.1	33.5	29.9	14.6	12.9	6.7	30.1	26.3	13.4	—	32.5	28.0
	社会学科	539	395	284	66.4	51.1	40.1	56.6	55.9	51.1	40.8	51.9	42.3	21.5	17.7	15.5	36.2	31.1	32.0	—	33.9	23.9
	歴史学科	284	284	357	79.6	78.2	73.4	67.6	58.1	59.4	29.9	38.7	34.5	37.3	33.1	25.5	24.3	22.2	22.1	—	23.6	19.3
	文学科	293	264	248	62.5	58.7	55.6	55.3	59.8	56.5	34.8	47.7	36.3	37.5	38.3	30.6	32.1	36.7	26.2	—	32.6	26.2
	国際文化学科	403	355	269	54.6	52.7	45.7	64.0	58.6	50.6	43.2	49.0	39.4	11.2	10.4	9.3	42.7	36.1	26.0	—	27.0	14.1
	人文情報学科	367	261	273	48.5	44.8	47.3	56.9	55.2	51.3	48.2	58.2	46.9	10.6	8.8	8.4	32.2	23.8	20.9	—	31.0	26.4
教育・心理学科	—	86	330	—	87.2	76.7	—	37.2	43.3	—	37.2	39.4	—	66.3	50.0	—	26.7	23.6	—	15.1	15.2	
年度	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	
全体	2,657	2,292	2,267	14.2	18.2	19.0	9.6	13.7	14.3	12.8	15.0	12.3	10.4	12.7	10.7	12.2	12.3	9.9	—	—	9.0	
学科別	真宗学科	325	245	223	14.8	10.6	19.3	5.2	6.1	5.8	45.2	50.6	42.2	8.0	12.7	7.6	52.0	58.8	60.5	—	—	5.8
	仏教学科	227	183	86	19.4	20.2	20.9	9.7	11.5	8.1	20.7	21.9	10.5	12.3	14.2	14.0	33.5	31.1	27.9	—	—	10.5
	哲学科	219	209	164	15.5	23.4	33.5	7.3	9.1	7.3	5.9	9.6	7.9	12.3	10.0	6.7	3.7	8.6	4.3	—	—	15.2
	社会学科	539	395	284	11.5	15.4	14.1	9.8	13.9	17.3	6.9	12.4	8.5	6.1	10.1	7.7	3.7	2.5	1.1	—	—	6.7
	歴史学科	284	284	357	11.3	22.2	21.0	9.2	19.0	15.1	7.4	10.2	7.6	16.2	25.7	27.5	5.3	8.5	3.9	—	—	10.9
	文学科	293	264	248	11.6	15.9	17.7	15.4	16.7	20.6	7.2	6.4	10.1	14.3	11.4	8.5	4.8	3.4	3.2	—	—	10.1
	国際文化学科	403	355	269	14.1	18.0	12.3	9.7	15.2	14.9	5.2	9.3	9.3	11.4	11.8	10.4	3.0	2.3	3.7	—	—	4.5
	人文情報学科	367	261	273	17.7	19.2	19.8	9.8	11.1	15.4	9.0	8.4	7.7	7.4	9.2	6.6	2.7	1.9	3.3	—	—	6.6
教育・心理学科	—	86	330	—	26.7	20.0	—	26.7	16.1	—	11.6	11.2	—	2.3	4.8	—	5.8	3.9	—	—	13.0	

1-3. 卒業後の希望進路

- 大学卒業後の希望する進路は、「一般企業へ就職」が58.6%で突出して高く、次いで「公務員として就職」。また「未定」が1割強を占める。
- 学科ごとに希望する進路にはそれぞれの傾向がみられる。
 - 社会学科、国際文化学科、人文情報学科:「一般企業へ就職」の割合が7~8割と高い。
 - 真宗学科、仏教学科、哲学科:「未定」や「進学」の割合が比較的高い。
 - 歴史学科、文学科:「一般企業へ就職」が6割前後みられるとともに、「中学校・高校の教員として就職」も2割前後と、全体と比べて多い。
 - 教育・心理学科:「小学校の教員として就職」が5割を超える。

Q3 あなたは、大学卒業後、どのような進路に進みたいと考えていますか。以下より現時点で希望する進路の番号すべてに○をつけてください。

■全体



■学科別

		回答者数 (n)	一般企業へ就職	公務員として就職	未定	中学校・高校の教員として就職	小学校の教員として就職	進学	幼稚園教諭として就職	保育士として就職	その他	無回答
全体		2,267	58.6	19.4	12.8	9.3	8.3	6.4	3.8	2.3	7.9	0.6
学科別	真宗学科	223	26.5	11.7	24.2	4.9	0.9	14.3	1.3	0.4	35.0	1.3
	仏教学科	86	54.7	15.1	26.7	11.6	2.3	11.6	0.0	0.0	5.8	1.2
	哲学科	164	55.5	17.1	22.6	6.7	1.2	9.8	0.0	0.0	13.4	0.0
	社会学科	284	73.9	29.2	8.5	8.1	0.7	2.5	0.0	1.1	7.0	0.4
	歴史学科	357	65.3	30.0	9.8	18.8	0.8	8.1	0.0	0.0	3.4	0.3
	文学科	248	59.7	21.4	13.3	22.2	1.6	8.1	0.4	0.8	4.8	0.0
	国際文化学科	269	74.0	13.8	17.1	5.6	0.4	5.9	0.4	0.7	3.0	0.0
	人文情報学科	273	84.2	16.8	8.8	2.2	0.0	2.6	0.0	0.4	2.9	0.4
	教育・心理学科	330	29.7	13.3	3.3	2.7	51.2	2.7	24.8	13.3	3.6	0.0

■ 全体より5ポイント以上高い (Pink background) ■ 全体より5ポイント以上低い (Blue background)

2. 建学の理念に対する意識と大学での取り組み

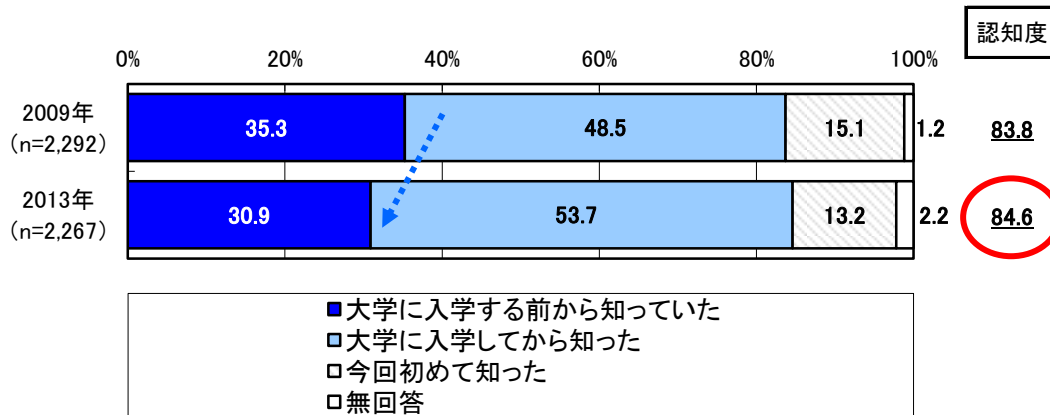
2-1. 建学の理念認知度

- 大学入学前と入学後を合わせると、建学の理念認知度は8割を超える。
- 2009年と比較すると、「大学に入学する前から知っていた」はやや低下し、約3割。
- 学科別にみても、認知度に大きな差はみられないが、真宗学科ではやや高く、国際文化学科ではやや低い。

大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係(自分との関係、他者との関係)を重視した教育を行い、仏教ないし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。これについて、以下の設問に教えてください。

Q11-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 全体



注) 認知度 = 「大学に入学する前から知っていた」 + 「大学に入学してから知った」

■ 学科別

年度	回答者数 (n)		認知度 %		
	09年	13年	09年	13年	
全体	2,292	2,267	83.8	84.6	
学科別	真宗学科	245	223	86.9	89.7
	仏教学科	183	86	81.4	84.9
	哲学科	209	164	88.0	88.4
	社会学科	395	284	83.5	82.7
	歴史学科	284	357	86.6	89.4
	文学科	264	248	81.8	86.7
	国際文化学科	355	269	83.1	79.6
	人文情報学科	261	273	80.1	79.9
	教育・心理学科	86	330	82.6	83.0

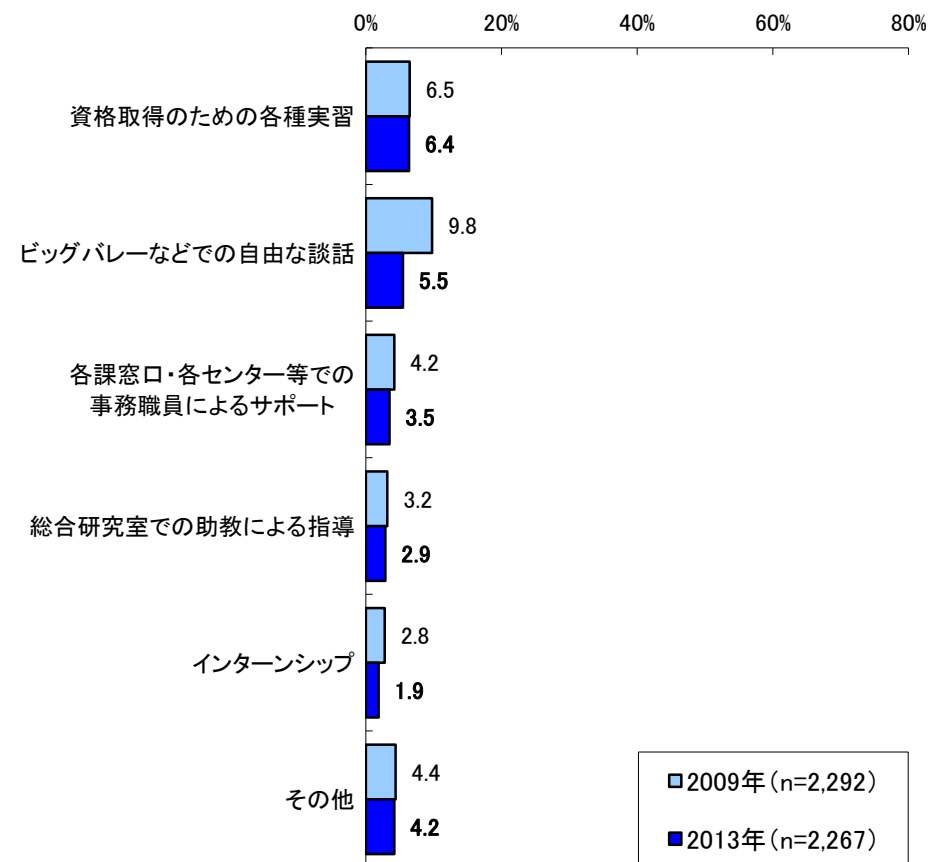
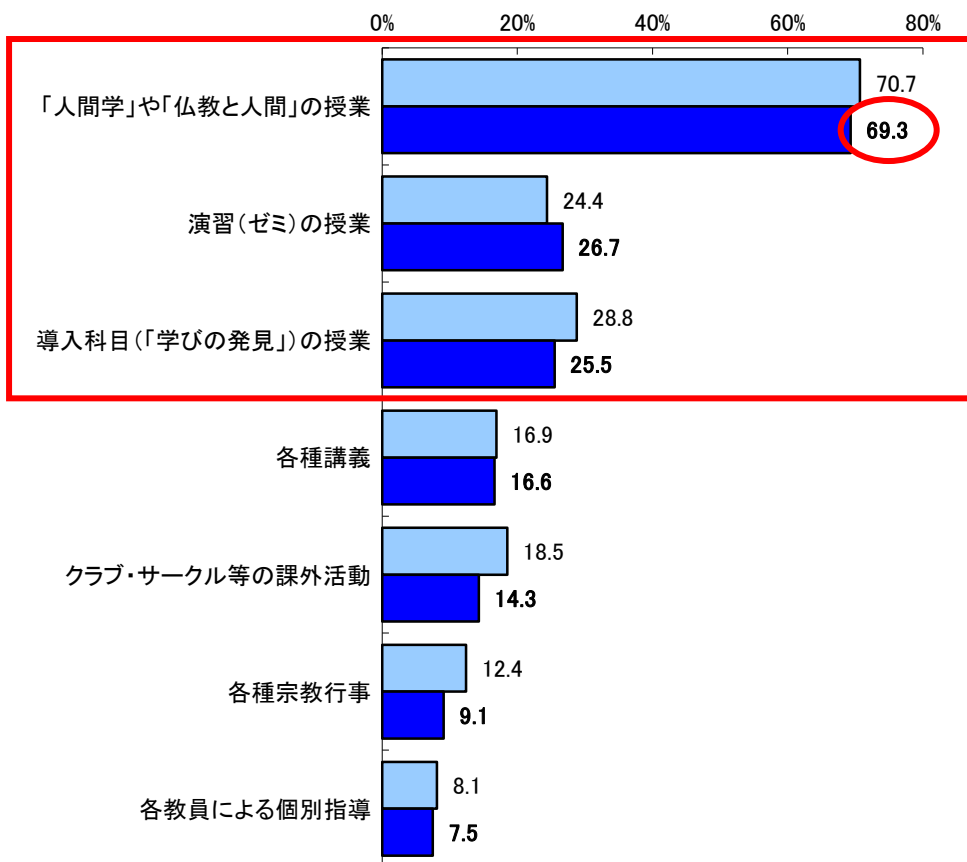
■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上低い

2-2. 建学の理念を感じるとき

- 建学の理念を感じる機会としては、「人間学」や「仏教と人間」の授業」が約7割で突出。
- 上位3項目すべてが『授業』に関連した項目であり、主に『授業』を通じて、建学の理念が学生に浸透している様子がうかがえる。

Q11-2 あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じるがありますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体

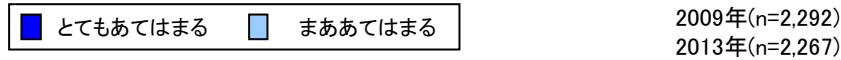


■ 2009年 (n=2,292)
■ 2013年 (n=2,267)

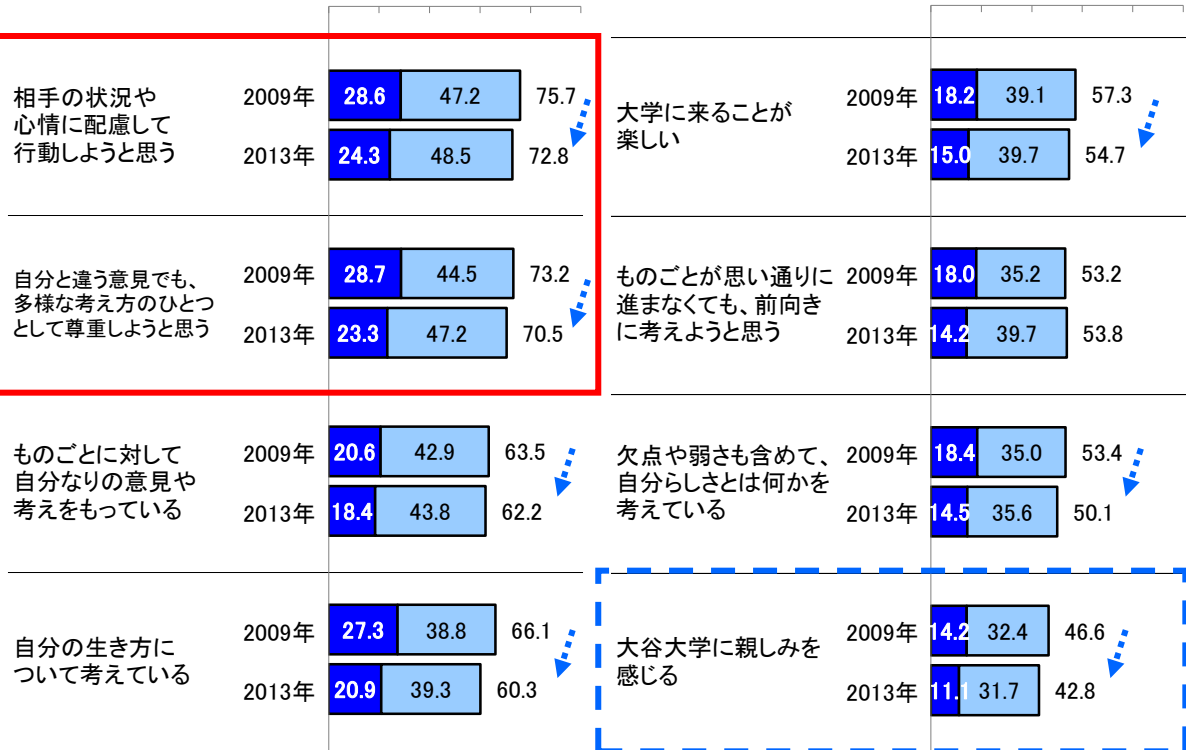
- 入学後の自己認識・評価は、「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」「自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う」など、『コミュニケーション能力』と関連する項目が上位。一方、「大谷大学に親しみを感ずる」は約4割と低い。また、ほとんどの項目で評価は2009年よりわずかず低下。
- すべての項目で、建学の理念を入学前から知っていた学生や大学入学後に知った学生の方が、今回初めて知った学生よりも評価が高い。
→建学の理念を認知・理解することによって、大学に対する愛着や大学のめざす人間像への共感が高まると考えられる。

Q5 大谷大学に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 全体



0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 建学の理念認知度別

建学の理念認知度別	回答者数 (n)	%								
		相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う	自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う	ものごとに対して自分なりの意見や考えをもっている	自分の生き方について考えている	大学に来ることが楽しい	ものごとが思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う	欠点や弱さも含めて、自分らしさとは何かを考えている	大谷大学に親しみを感ずる	
全体	2,267	72.8	70.5	62.2	60.3	54.7	53.8	50.1	42.8	
大学入学前から知っていた	700	77.6	76.4	65.4	66.0	59.3	55.9	57.9	48.6	
大学入学後に知った	1,217	72.5	70.5	63.1	59.8	54.6	53.3	48.7	42.3	
今回初めて知った	299	65.9	59.2	52.2	47.5	44.8	52.2	39.5	32.4	

■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上低い

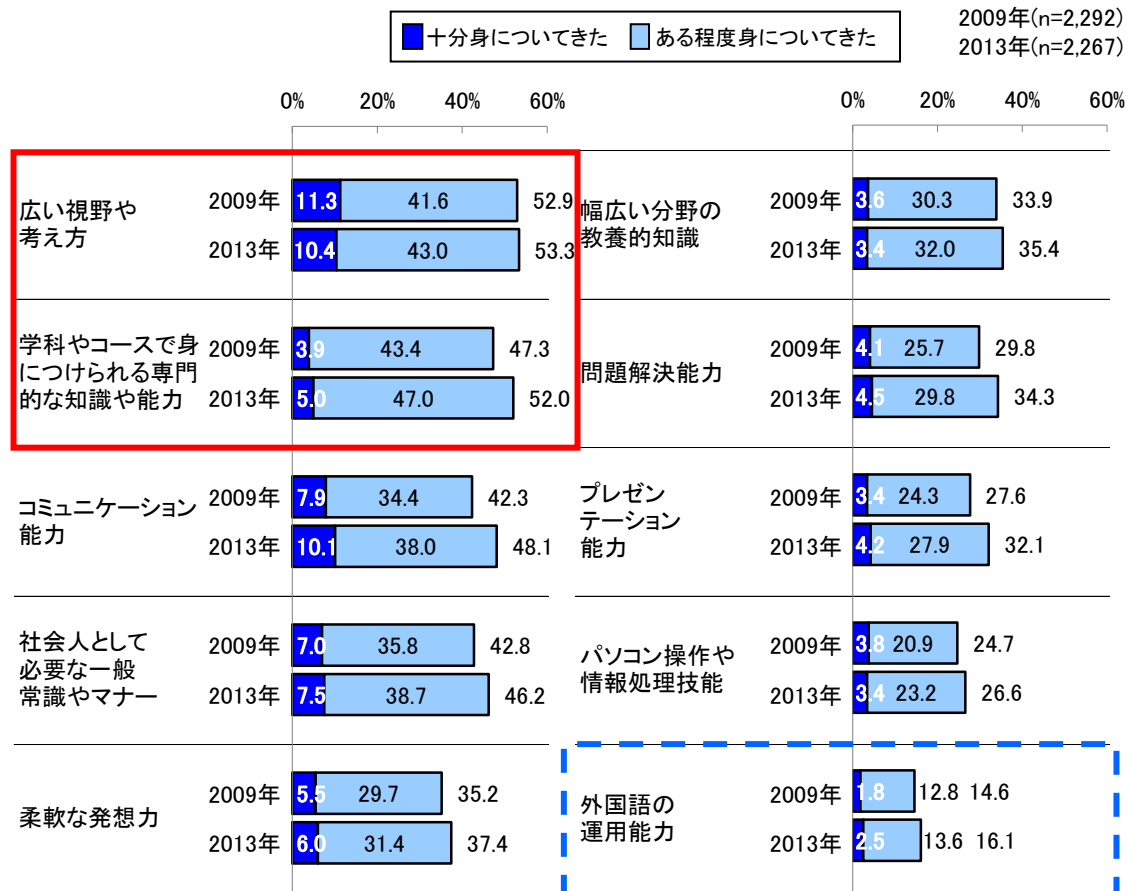
注) グラフの右側及び表中に記載されている数値は各項目に対する「評価」を示す
評価 = 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」

2-4. 身についた能力や知識・技能

■「広い視野や考え方」「学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力」が5割に達しているのみで、全体的に能力や知識・技能の修得に対する評価は低い。特に「外国語の運用能力」については、依然として評価が2割に届かず、多くの学生にとって修得感が薄い様子が見える。

Q4 あなたは、以下の能力や知識・技能について、大谷大学に入学してからこれまでの間にどの程度身につけてきたと思いますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■全体



2-4. 身についた能力や知識・技能 (授業への出席率別/授業の理解度別)

- 出席率の高い学生や授業理解度の高い学生ほど、能力や知識・技能が身についたとする評価が高い。
- 経年変化をみると、出席率の高い学生や授業理解度の高い学生では、能力や知識・技能が身についたとする評価には上昇傾向がみられるが、反対に、出席率・理解度の低い学生では評価は低下傾向にあり、両者の差は2009年より拡大する傾向がみられる。
→授業への取り組み方と各種能力の修得感には関連がみられ、かつその関連性は強まり、授業に積極的に取り組み高い修得感を得ている層と、授業に意欲的に取り組めず修得感を得にくい層の2極化が進んでいることも懸念される。

Q4 あなたは、以下の能力や知識・技能について、大谷大学に入学してからこれまでの間にどの程度身についてきたと思いますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 授業への出席率別/授業の理解度別

		回答者数 (n)		広い視野や考え方		専ら専門的知識や能力		学問やコースで身につけられる		コミュニケーション能力		一般常識やマナー		柔軟な発想力		幅広い知識の教養		問題解決能力		プレゼンテーション能力		パソコン操作や情報処理技能		外国語の運用能力	
年度		09年	13年	09年	13年	09年	13年	09年	13年	09年	13年	09年	13年	09年	13年	09年	13年	09年	13年	09年	13年	09年	13年	09年	13年
全体		2,292	2,267	52.9	53.3	47.3	52.0	42.3	48.1	42.8	46.2	35.2	37.4	33.9	35.4	29.8	34.3	27.6	32.1	24.7	26.6	14.6	16.1		
出席率への別	ほとんど出席	794	858	54.0	59.7	53.3	61.4	45.0	52.4	43.1	50.1	35.3	39.7	38.2	42.2	31.6	39.2	28.6	34.8	24.1	30.8	17.6	18.1		
	8～9割程度出席	806	760	53.6	53.7	50.0	52.6	43.8	47.8	45.9	46.7	34.7	37.4	34.0	35.3	30.0	33.2	27.9	33.6	26.2	25.8	13.0	16.3		
	6～7割程度出席	501	465	52.5	46.0	39.5	44.1	39.9	46.0	42.1	42.2	36.3	35.7	29.9	29.0	29.1	31.4	26.5	29.5	25.3	21.3	13.0	13.8		
	半分程度～半分以下の出席	188	157	46.3	43.3	31.9	26.1	30.9	35.7	30.9	36.3	34.0	31.8	25.5	21.0	23.4	22.9	25.0	19.7	19.1	23.6	12.2	12.1		
授業の理解度別	ほぼすべての授業が理解できる	131	143	63.4	72.7	68.7	70.6	49.6	64.3	45.0	54.5	46.6	52.4	49.6	49.7	44.3	57.3	38.9	46.2	29.0	33.6	24.4	31.5		
	だいたい授業は理解できる	967	1,051	62.6	62.0	60.4	67.1	49.1	55.0	50.2	52.7	43.3	45.8	45.1	46.7	38.2	42.3	33.3	39.5	27.1	30.6	17.6	19.4		
	半分くらいの授業は理解できる	914	872	47.7	45.0	39.9	39.4	39.4	43.0	39.7	41.7	29.8	28.8	25.9	25.7	23.9	25.8	24.6	25.8	24.0	23.9	12.3	11.8		
	理解できない授業が多い+ほとんどの授業が理解できない	274	186	30.7	30.1	15.7	14.0	23.7	23.1	25.9	24.7	18.6	19.4	12.8	7.5	13.1	11.8	12.0	10.2	16.4	11.3	6.9	5.4		

注) グラフの右側及び表中に記載されている数値は各項目の「身についた」を示す
 身についた = 「十分身につけてきた」 + 「ある程度身につけてきた」

3. 大谷大学での学業について

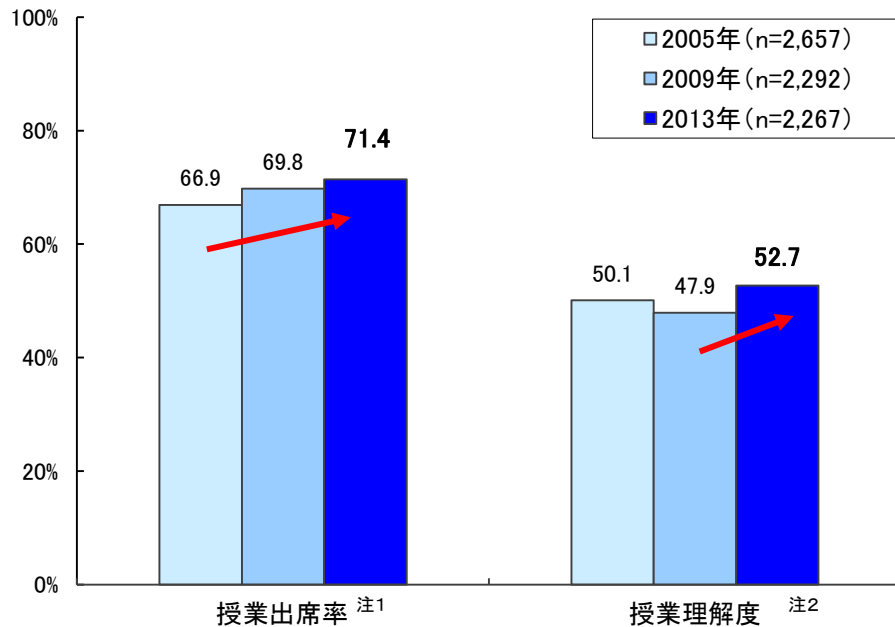
3-1. 授業出席率と授業理解度

- 授業出席率は71.4%で、わずかずつではあるが上昇傾向が続いている。
- 授業理解度も2013年は上昇に転じ、52.7%と5割を超える。
- 授業への出席率別に授業理解度を比較すると、授業への出席率が高いほど授業理解度も高く、「ほとんど出席」層と「半分程度～半分以下の出席」層では授業理解度に40ポイント以上の差がみられる。また、両者の差は2009年度より大きくなっており、授業への出席率と授業理解度の関連はより強くなっていると考えられる。

Q6 今年度のあなたの授業への平均出席率は何の程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

Q8 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 授業出席率と授業理解度の変化



■ 授業への出席率別 授業理解度

		回答者数 (n)			授業理解度 (%)		
		05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体		2,657	2,292	2,267	50.1	47.9	52.7
出席率別の授業への	ほとんど出席	908	794	858	65.0	59.6	65.7
	8～9割程度出席	869	806	760	50.1	50.1	54.9
	6～7割程度出席	585	501	465	39.5	35.3	37.6
	半分程度～半分以下の出席	294	188	157	24.8	23.4	21.7

■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より5ポイント以上低い

注1 授業出席率＝「ほとんど出席している」＋「8～9割程度出席している」

注2 授業理解度＝「ほぼすべての授業が理解できる」＋「だいたいの授業は理解できる」

3-1. 授業出席率と授業理解度（学科別）

- 授業出席率、および授業理解度を学科別にみた傾向は以下の通り。
 - 歴史学科、文学科、教育・心理学科：出席率、授業理解度ともに全体より高い。
 - 真宗学科、社会学科：出席率は授業理解度とも全体より低い。
 - 人文情報学科：出席率、授業理解度ともに2009年より大きく上昇。
 - 仏教学科、哲学科：出席率が2009年より10ポイント程度低下。

Q6 今年度のあなたの授業への平均出席率はどの程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

Q8 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 学科別

		回答者数 (n)			授業出席率 注1			授業理解度 注2		
年度		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体		2,657	2,292	2,267	66.9	69.8	71.4	50.1	47.9	52.7
学科別	真宗学科	325	245	223	54.8	63.7	62.3	31.4	32.7	39.9
	仏教学科	227	183	86	52.9	66.1	55.8	33.0	39.3	52.3
	哲学科	219	209	164	56.6	63.2	54.9	58.0	53.1	53.7
	社会学科	539	395	284	72.5	71.6	69.0	52.1	46.6	49.3
	歴史学科	284	284	357	73.6	82.0	79.0	62.3	57.4	57.1
	文学科	293	264	248	71.3	74.6	72.6	59.4	56.8	53.2
	国際文化学科	403	355	269	71.0	68.7	68.4	59.1	51.5	55.0
	人文情報学科	367	261	273	70.8	61.7	74.4	42.5	37.9	50.5
	教育・心理学科	—	86	330	—	81.4	83.3	—	61.6	59.1

■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上低い

注1 授業出席率＝「ほとんど出席している」＋「8～9割程度出席している」

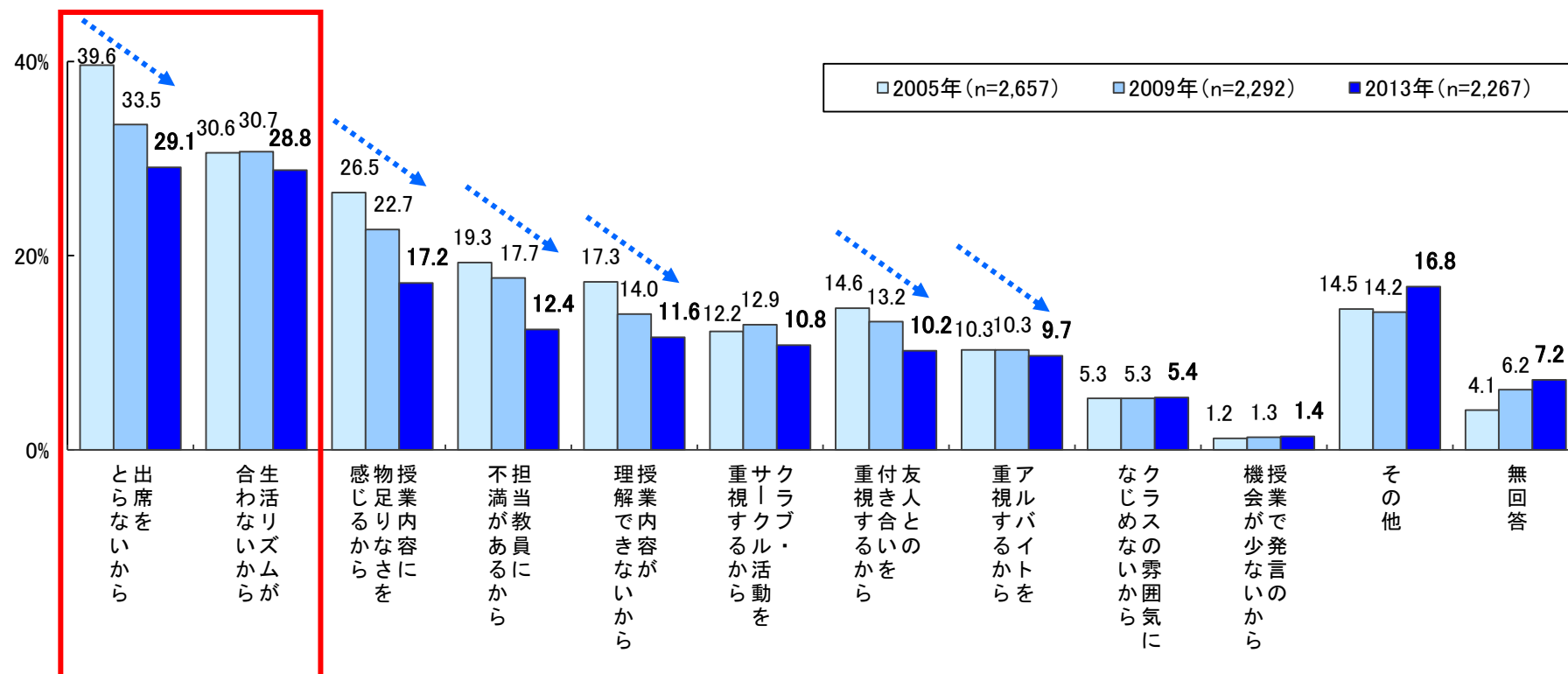
注2 授業理解度＝「ほぼすべての授業が理解できる」＋「だいたい授業は理解できる」

3-2. 授業を欠席する理由

- 授業を欠席する理由は「出席をとらないから」「生活リズムが合わないから」が高く、約3割。
- 欠席理由の順位に大きな変化はみられないが、大半の項目で選択率は低下を続けており、「出席をとらないから」や「授業内容に物足りなさを感じるから」は2005年と比べると10ポイント前後低下している。

Q7 あなたが、健康状態以外で授業を欠席する理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体



3-2 参考. 授業を欠席する理由 (学科別)

■ 学科別

	回答者数 (n)			出席を とらないから			生活リズムが 合わないから			授業内容に 物足りなさを 感じるから			担当教員に 不満があるから			授業内容が 理解できないから			サークル・ クラブ活動 を重視するから			
	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	
全体	2,657	2,292	2,267	39.6	33.5	29.1	30.6	30.7	28.8	26.5	22.7	17.2	19.3	17.7	12.4	17.3	14.0	11.6	22.2	22.9	10.8	
学科別	真宗学科	325	245	223	34.8	34.3	26.9	37.2	33.5	37.7	20.9	14.7	11.7	19.1	16.3	8.1	22.8	17.1	19.3	13.8	17.6	12.6
	仏教学科	227	183	86	34.8	36.1	41.9	35.7	30.6	34.9	17.6	20.2	19.8	21.6	20.2	16.3	27.3	23.0	19.8	11.5	10.4	11.6
	哲学科	219	209	164	38.4	36.4	39.6	30.6	36.8	33.5	30.6	31.6	17.7	19.2	20.1	15.2	15.5	15.8	9.8	11.0	12.0	13.4
	社会学科	539	395	284	44.7	41.0	35.9	28.4	27.1	32.4	29.7	24.8	16.5	15.4	14.2	12.0	12.4	9.4	10.9	13.5	13.2	13.4
	歴史学科	284	284	357	33.8	26.4	29.1	29.2	27.8	20.2	22.2	19.4	18.2	17.3	16.5	13.7	16.5	12.3	13.7	15.5	12.3	9.8
	文学科	293	264	248	41.3	26.5	17.3	27.6	28.8	31.0	27.0	24.2	18.1	24.6	21.2	14.5	16.0	14.0	10.5	11.6	14.0	9.3
	国際文化学科	403	355	269	41.2	34.4	18.2	26.1	30.7	31.2	34.7	27.3	21.9	18.9	21.1	11.9	14.6	15.2	10.8	9.4	12.7	10.4
	人文情報学科	367	261	273	41.7	35.6	38.5	33.5	36.4	25.3	24.0	17.2	19.4	21.5	14.2	16.1	18.8	13.0	12.5	10.9	14.6	7.3
	教育・心理学科	—	86	330	—	18.6	26.4	—	24.4	24.2	—	22.1	14.5	—	16.3	8.8	—	8.1	5.2	—	2.3	10.6

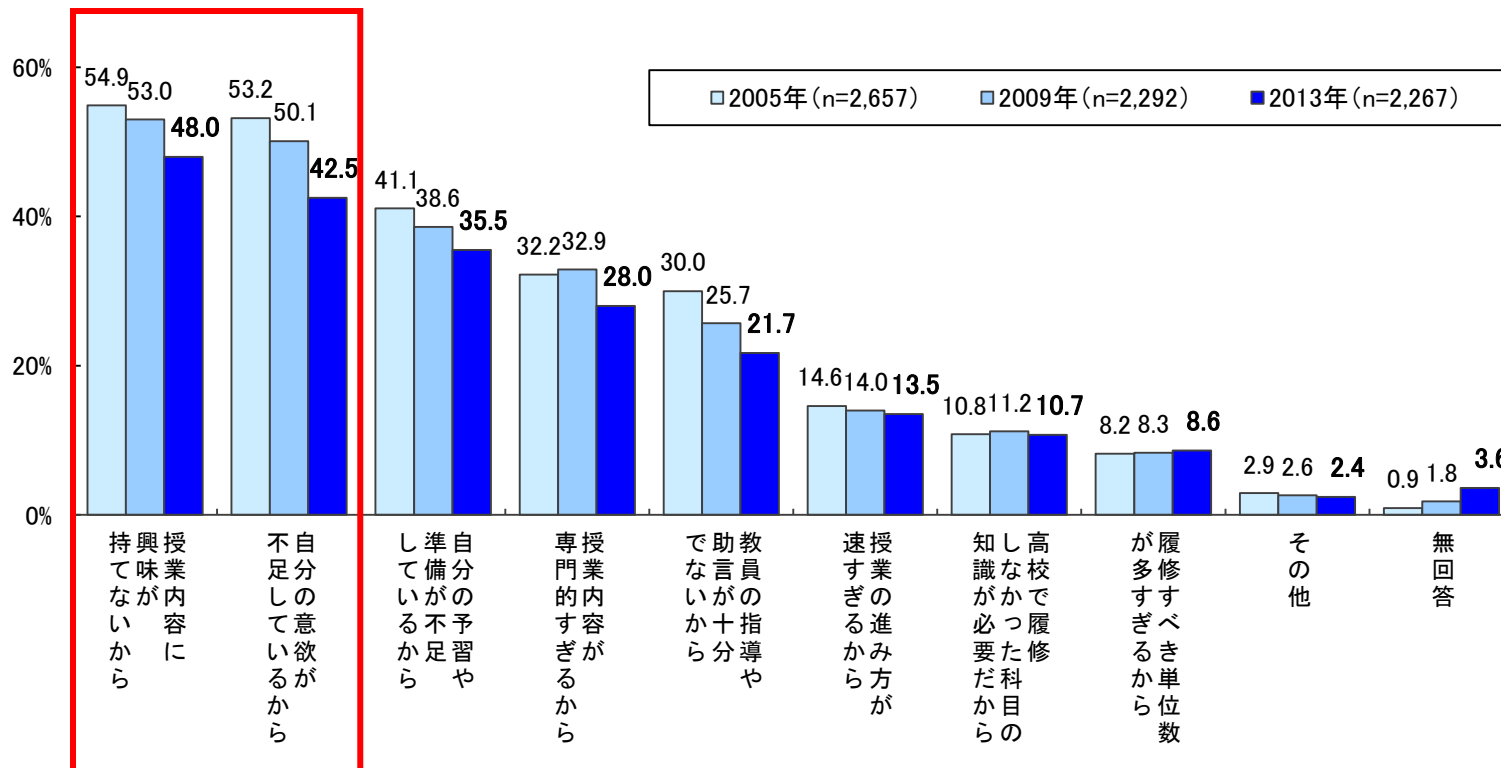
	回答者数 (n)			友人との 付き合いを 重視するから			アルバイト をするから			クラブ活動 が忙し ないから			授業で 発言 しない			その他			無 回答			
	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	
全体	2,657	2,292	2,267	14.6	13.2	10.2	10.3	10.3	9.7	5.3	5.3	5.4	1.2	1.3	1.4	14.5	14.2	16.8	4.1	6.2	7.2	
学科別	真宗学科	325	245	223	14.2	13.5	14.3	9.8	9.0	5.8	5.8	4.9	5.4	0.9	1.6	0.9	12.9	16.3	17.5	3.7	4.5	7.6
	仏教学科	227	183	86	15.0	10.4	15.1	14.1	12.6	10.5	5.3	4.4	8.1	2.2	1.1	2.3	11.9	11.5	12.8	3.5	4.4	5.8
	哲学科	219	209	164	12.3	9.6	10.4	10.5	9.6	7.3	8.2	4.3	8.5	2.3	2.4	2.4	21.9	17.7	17.1	1.8	2.9	7.9
	社会学科	539	395	284	17.3	14.7	10.6	10.0	12.4	18.0	5.4	6.3	4.2	0.2	1.0	1.1	13.4	11.6	11.6	5.2	5.6	4.2
	歴史学科	284	284	357	15.1	10.9	9.2	10.6	10.2	10.9	4.6	4.9	5.9	1.4	1.4	1.1	20.1	15.5	16.0	6.0	10.6	9.0
	文学科	293	264	248	14.7	12.9	8.5	9.2	8.3	6.9	5.1	4.9	7.3	1.0	0.8	2.4	15.7	18.2	26.2	2.7	6.4	5.6
	国際文化学科	403	355	269	12.2	15.8	10.4	9.4	9.3	10.0	3.2	7.6	3.3	1.5	1.4	0.7	12.4	11.5	14.5	5.0	4.8	6.3
	人文情報学科	367	261	273	14.7	16.9	8.4	10.1	11.9	9.5	5.7	5.4	5.1	1.4	1.1	0.7	11.4	11.1	15.8	3.5	5.7	5.5
	教育・心理学科	—	86	330	—	7.0	8.8	—	5.8	7.0	—	0.0	3.6	—	0.0	1.8	—	23.3	18.5	—	16.3	10.6

3-3. 授業が理解できない理由

- 授業が理解できない理由としては、2005年から一貫して、「授業内容に興味がないから」「自分の意欲が不足しているから」が上位にあげられており、自己の『関心』や『意欲』の不足が授業を理解できない原因であるとする学生が多い。
- 経年変化では多くの項目で選択率は低下傾向。

Q9 あなたが受講している授業を理解できない場合、その理由は何だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体



3-3 参考. 授業が理解できない理由 (学科別)

■ 学科別

		回答者数 (n)			興味がない授業内容から			自分不足から意欲が			自分の予習や準備が不足から			授業内容が専門的すぎるから			教員の指導が不明			%
年度		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	
	全体	2,657	2,292	2,267	54.9	53.0	48.0	53.2	50.1	42.5	41.1	38.6	35.5	32.2	32.9	28.0	30.0	25.7	21.7	
学科別	真宗学科	325	245	223	47.4	44.1	39.0	57.5	56.3	51.6	51.4	42.9	47.1	36.0	45.7	37.7	24.6	19.6	10.8	
	仏教学科	227	183	86	44.5	48.6	54.7	53.7	49.7	46.5	40.1	42.6	39.5	35.7	41.0	33.7	25.1	26.2	15.1	
	哲学科	219	209	164	53.4	48.8	51.8	61.2	52.6	54.9	55.7	48.3	44.5	26.5	30.6	24.4	27.4	23.9	21.3	
	社会学科	539	395	284	55.7	57.2	50.4	53.8	47.3	41.5	36.9	36.7	30.3	31.5	33.2	25.0	30.1	27.1	22.5	
	歴史学科	284	284	357	55.3	53.9	49.0	45.1	44.4	43.7	41.9	37.7	40.6	32.0	36.3	34.7	28.2	25.0	20.4	
	文学科	293	264	248	60.1	54.9	53.2	53.6	53.8	46.0	47.1	46.6	49.6	28.0	28.4	25.8	33.8	28.8	25.4	
	国際文化学科	403	355	269	58.3	60.6	50.9	50.1	51.8	34.6	33.5	32.1	24.9	27.3	27.6	26.0	32.0	27.3	22.3	
	人文情報学科	367	261	273	59.4	50.6	44.0	52.9	52.1	44.0	32.7	33.0	31.5	39.8	29.5	30.4	35.7	21.1	22.3	
	教育・心理学科	—	86	330	—	46.5	45.2	—	37.2	31.2	—	29.1	23.3	—	20.9	17.9	—	37.2	26.7	

		回答者数 (n)			速進授業の仕方から			高校で履修した科目が必要な知識が			履修すべき単位数が多すぎるから			その他			無回答		
年度		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
	全体	2,657	2,292	2,267	14.6	14.0	13.5	10.8	11.2	10.7	8.2	8.3	8.6	2.9	2.6	2.4	0.9	1.8	3.6
学科別	真宗学科	325	245	223	14.2	11.4	10.3	14.2	15.5	14.8	13.2	10.6	9.4	2.2	1.2	1.3	0.9	1.6	4.0
	仏教学科	227	183	86	19.8	16.4	15.1	15.0	13.7	20.9	16.3	8.7	10.5	2.2	3.8	1.2	0.4	2.2	1.2
	哲学科	219	209	164	11.0	7.7	16.5	11.9	8.6	11.0	9.6	7.7	7.9	5.9	4.8	3.0	1.4	1.0	4.3
	社会学科	539	395	284	13.4	13.4	13.0	8.5	10.6	8.5	6.7	7.8	8.8	2.4	1.8	2.8	0.9	1.8	1.8
	歴史学科	284	284	357	15.5	12.3	15.1	15.8	16.5	13.2	4.6	7.0	8.7	4.6	3.5	2.5	1.8	2.8	3.6
	文学科	293	264	248	14.3	14.4	12.9	8.9	9.5	13.7	6.8	8.7	10.5	2.0	2.3	1.6	0.7	1.9	2.4
	国際文化学科	403	355	269	12.7	13.2	8.9	6.0	6.8	6.3	4.2	6.8	8.2	1.5	2.3	1.9	1.2	1.4	4.5
	人文情報学科	367	261	273	17.4	21.8	16.8	10.9	8.8	11.0	8.2	9.2	9.9	3.5	1.9	3.3	0.3	1.5	2.6
	教育・心理学科	—	86	330	—	16.3	14.2	—	15.1	6.7	—	11.6	6.1	—	3.5	3.0	—	2.3	5.8

■ 全体より5ポイント以上高い

■ 全体より5ポイント以上低い

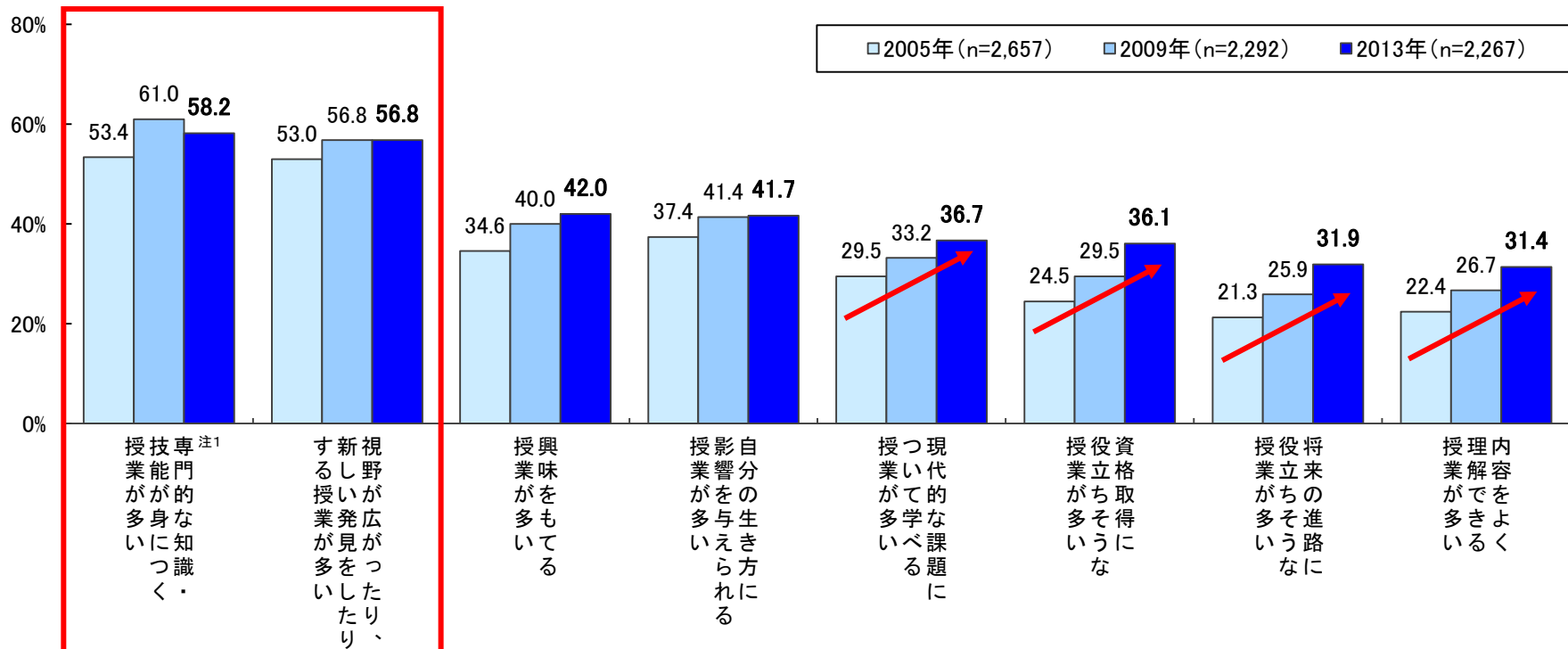
4. 各カテゴリーに対する評価

- 授業に関する8項目の中では、「専門的な知識が身につく授業が多い」「視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い」に対する評価が5割を超え、比較的高い。また、これら2項目は、「身についた能力や知識・技能」の上位項目と共通性がみられ、修得感が高い能力・知識は、授業を通じて身につけていることがうかがえる。
- 経年変化をみると、上位4項目の評価は2009年からほぼ横ばい傾向だが、下位4項目の評価は上昇が続いている。

Q10 大谷大学について、以下の項目に関して5段階で評価してください。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

【A 大谷大学での授業について】

■全体



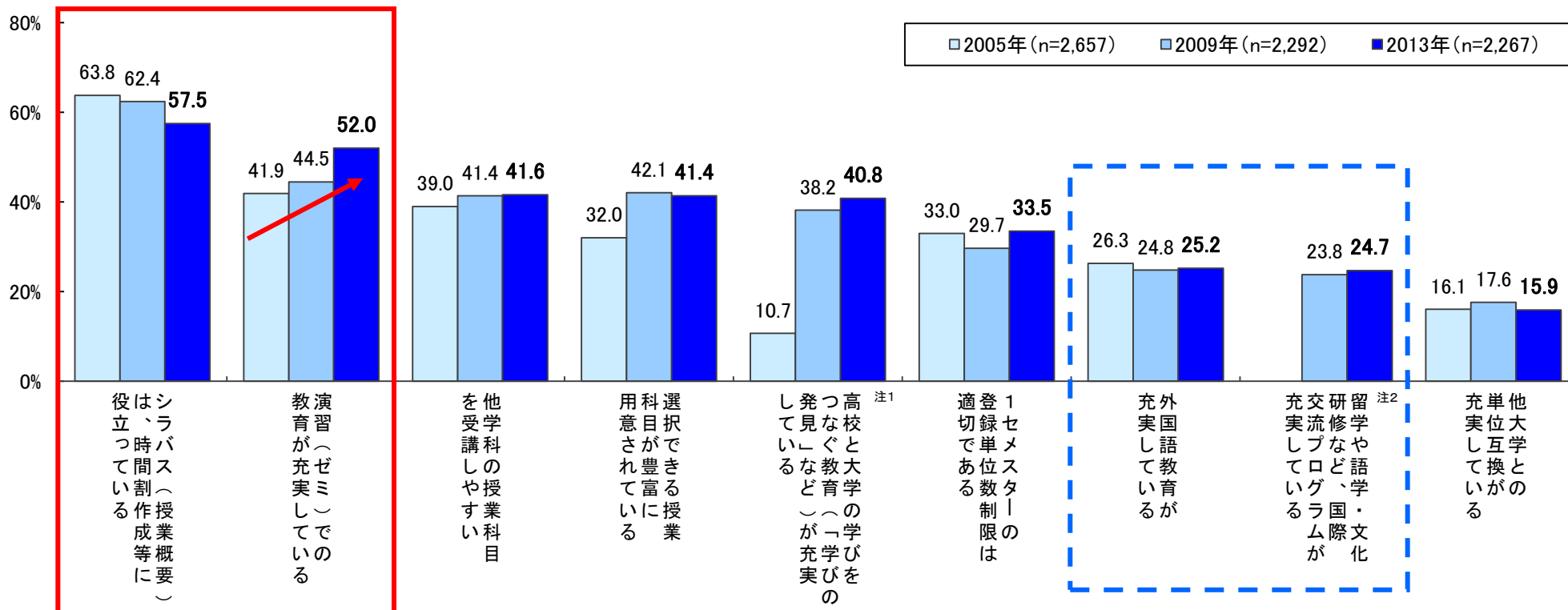
注) グラフの数値は各評価項目に対する「評価」を示す
 評価 = 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」
 Q10は以下同様

注1 2005年、2009年は「専門的な知識が身につく授業が多い」

- 学びの環境に関する9項目の中では、「シラバス(授業概要)は、時間割作成等に役立っている」が最も高く、次いで「演習(ゼミ)での教育が充実している」も5割を超えている。一方、外国語教育や国際交流についての項目は2割台の評価にとどまる。
- 経年変化をみると、「演習(ゼミ)での教育が充実している」は2005年に比べて10ポイント程度評価が上昇している。

【B 大谷大学での学びの環境について】

■全体



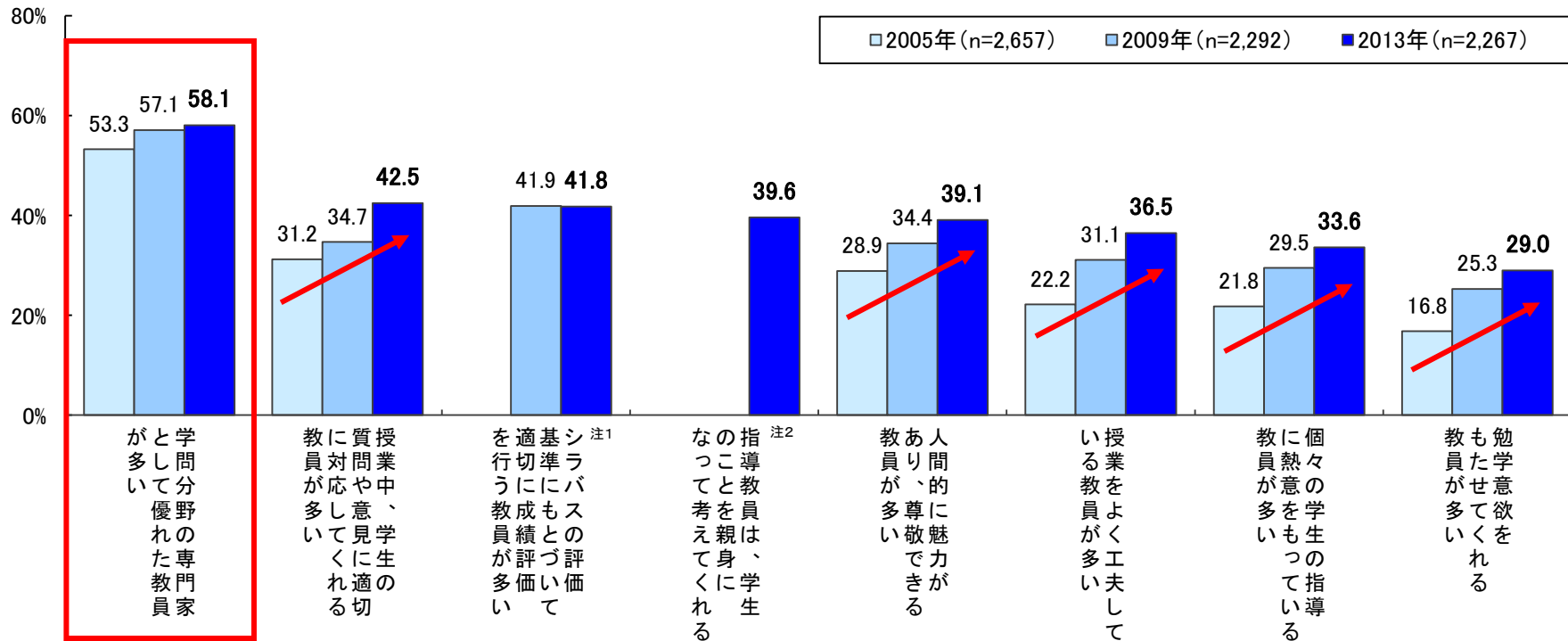
注1 2005年は「高校の勉強と大学の学びをスムーズにつなぐ教育が充実している」

注2 2009年に新しく追加された項目

- 教員に関する8項目の中では、「学問分野の専門家として優れた教員が多い」が58.1%で最も高い。
- ほとんどの項目が2005年から上昇を続けており、特に「人間的に魅力があり、尊敬できる教員が多い」「授業をよく工夫している教員が多い」「個々の学生の指導に熱意をもっている教員が多い」「個々の学生の指導に熱意をもっている教員が多い」「勉学意欲をもたせてくれる教員が多い」に対する評価は2005年より10ポイント以上上昇。

【C 大谷大学の教員について】

■全体



注1 2009年に新しく追加された項目

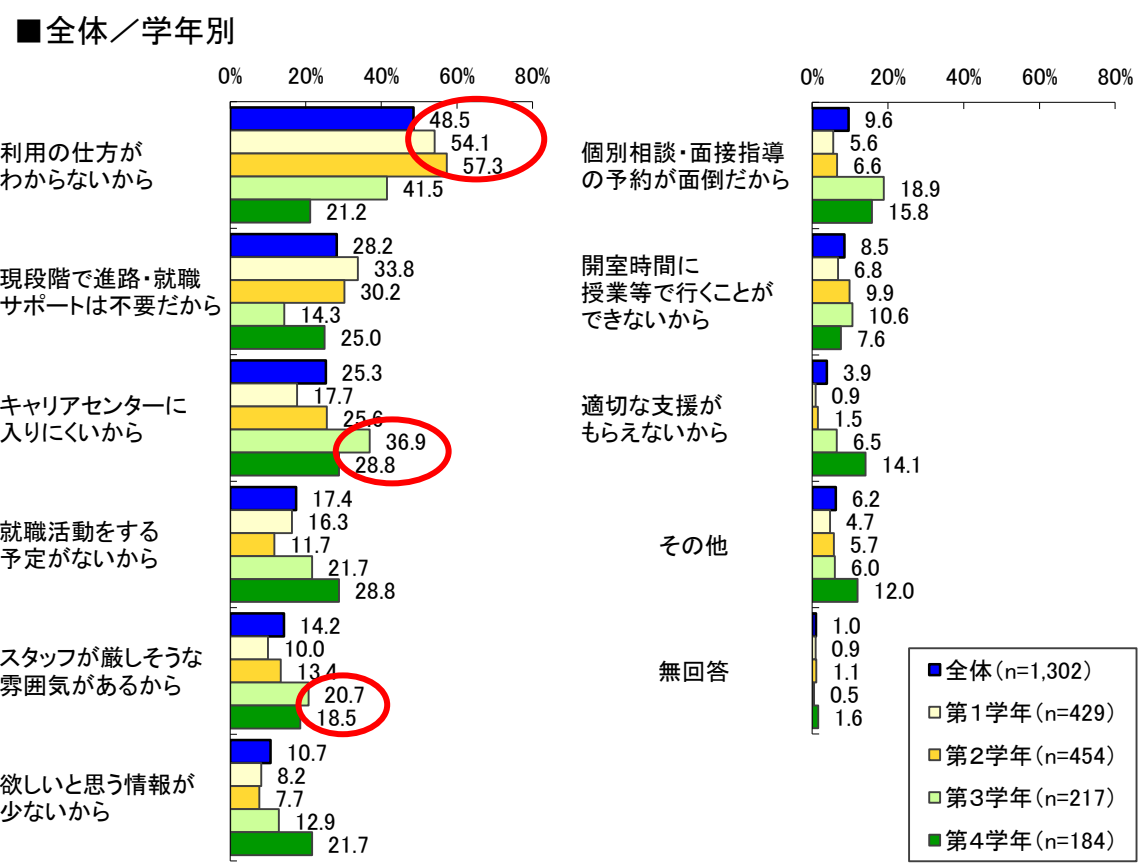
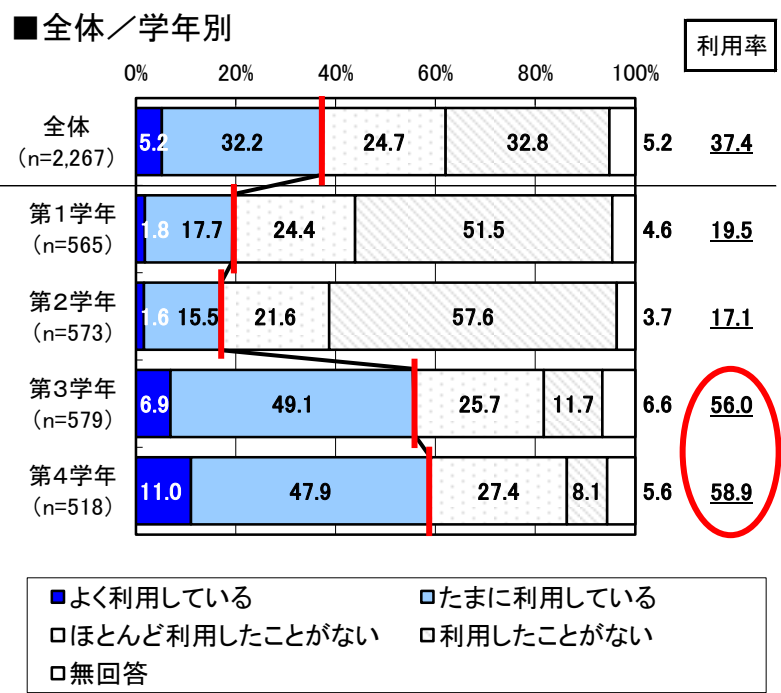
注2 2013年に新しく追加された項目

4-4. 進路・就職サポート体制の評価

- キャリアセンターの利用率は、全体では4割弱。就職活動が始まる第3学年と第4学年では利用率は6割近くに上昇するが、「よく利用している」は1割前後しかみられない。
- キャリアセンターを利用しない理由としては、全体では「利用の仕方がわからないから」が第1位にあげられており、特に第1学年、第2学年で高い。一方、第3学年、第4学年では「キャリアセンターに入りにくい」や「スタッフが厳しそうな雰囲気があるから」が上位にあげられており、キャリアセンターの雰囲気が利用を妨げている可能性がうかがえる。

問. あなたは、キャリアセンターを利用したことがありますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

問. 「3. ほとんど利用したことがない」「4. 利用したことがない」に○をつけた方にお聞きます。
利用しない理由は何ですか。

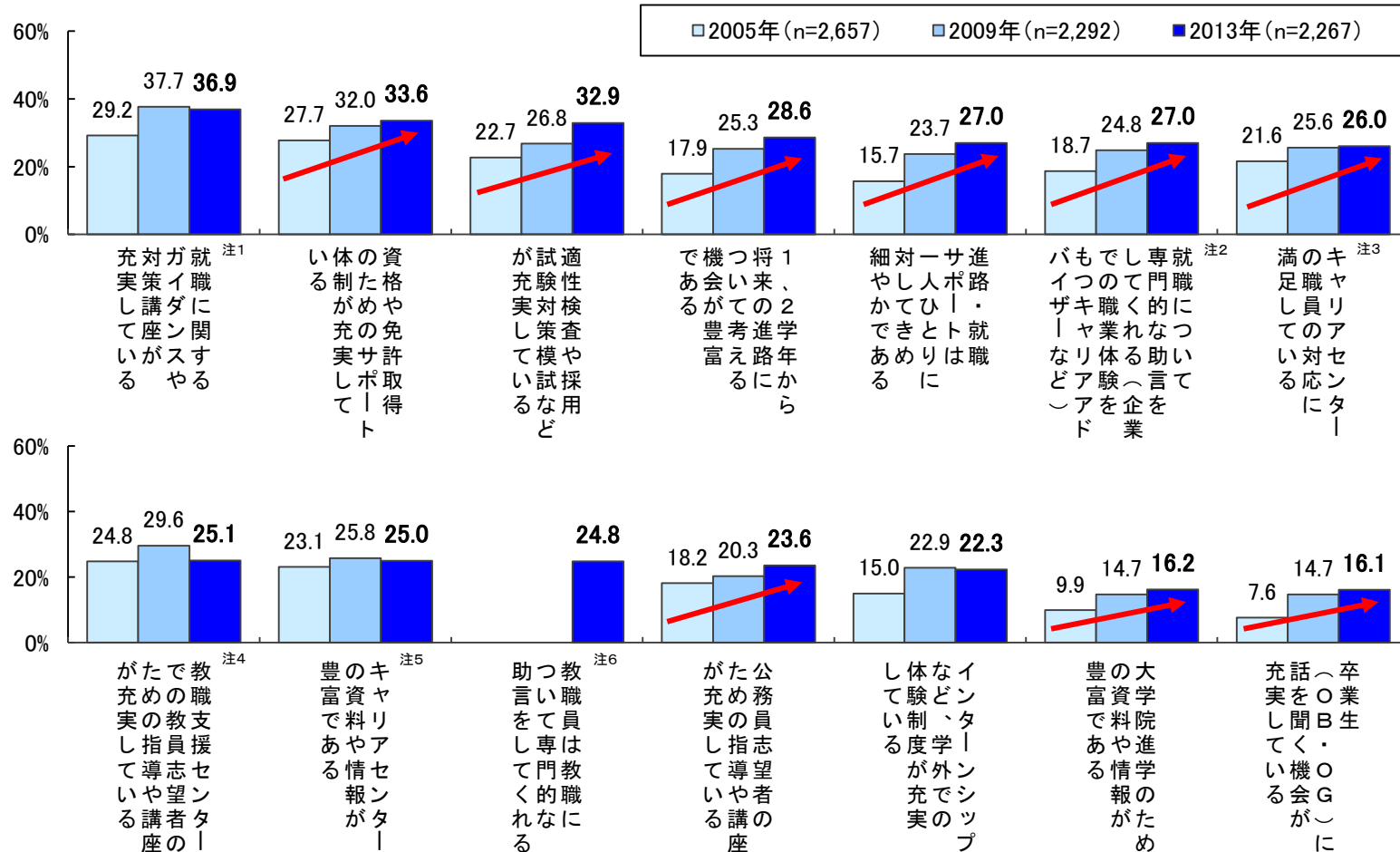


4-4. 進路・就職サポート体制の評価

- 進路・サポート体制の評価は4割を超える項目はなく、全体的に評価は低い。
- ただし、経年の推移をみると、新規項目以外の13項目中9項目で評価が上昇を続けており、進路・就職サポート体制の評価は上昇傾向にあるといえる。

【E 大谷大学の進路・就職サポート体制について】

■ 全体



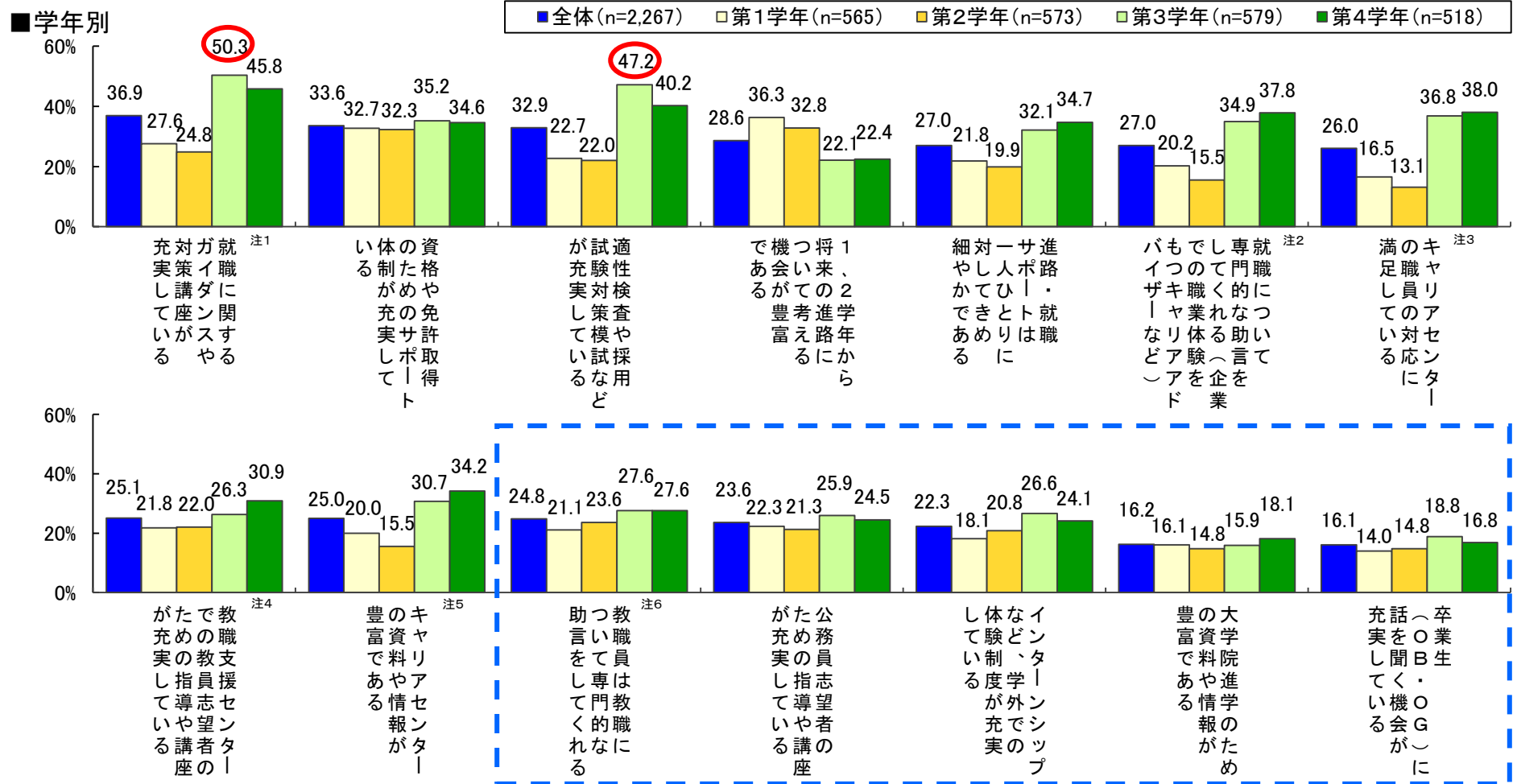
注1 2005年は「就職に関するガイダンスが充実している」
 注2 2005年、2009年は「就職について専門的な助言をしてくれる職員が充実している(企業での職業体験をもつキャリアアドバイザーなど)」
 注3 2005年は「進路就職センターの職員の対応に満足している」
 注4 2005年、2009年は「教員志望者のための指導や講座が充実している」
 注5 2005年は「進路就職センターの資料や情報が豊富である」
 注6 2013年に新しく追加された項目

4-4. 進路・就職サポート体制の評価

■ 進路・就職サポート体制の評価を学年別にみると、就職活動が本格化する第3・4学年からの評価が高い項目が多い。特に「就職に関するガイダンスや対策講座が充実している」は第3学年からの評価が5割を超える。

■ ただし、下位5項目に関しては、どの学年からも3割未満の評価にとどまっている。

【E 大谷大学の進路・就職サポート体制について】

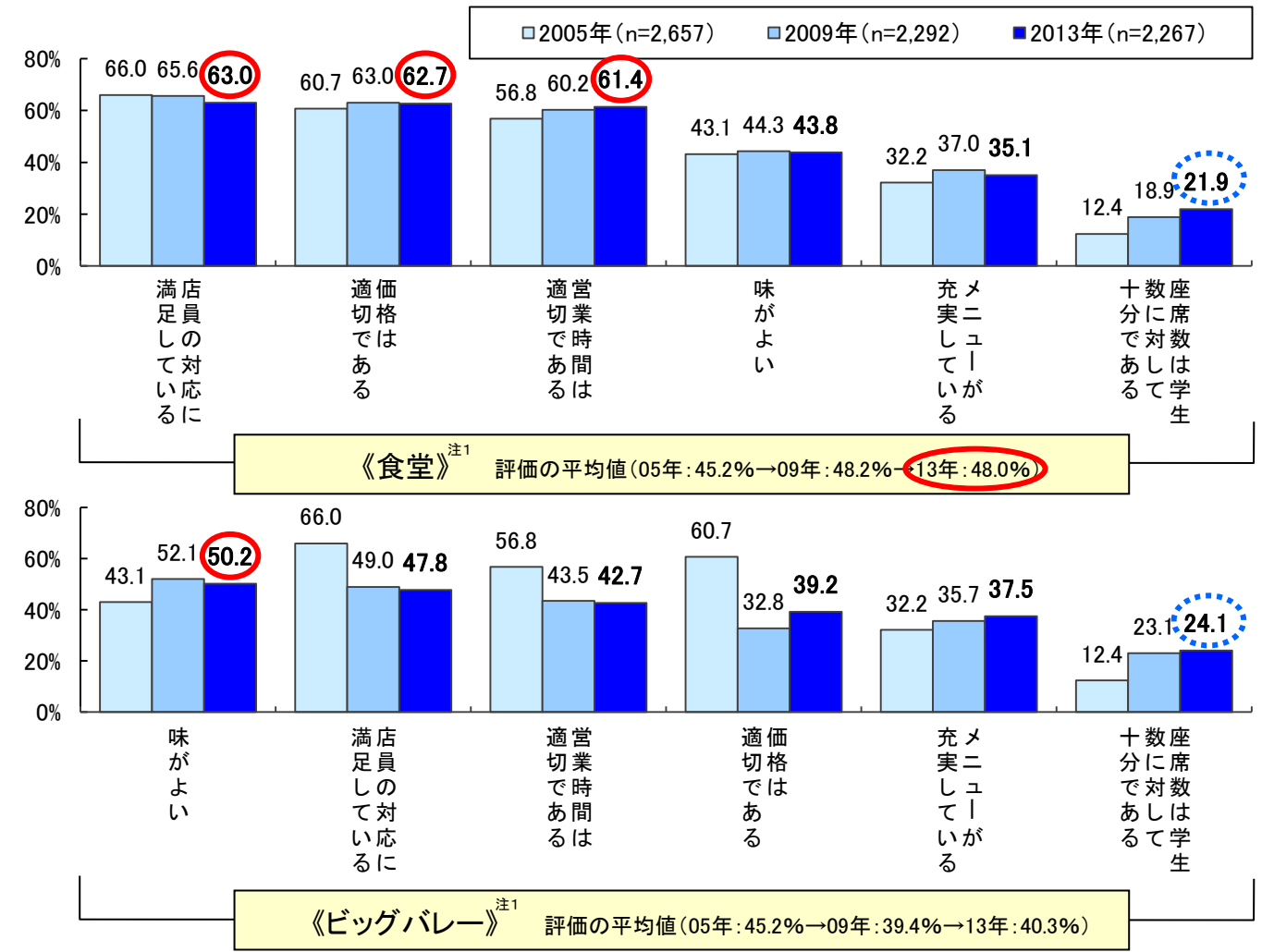


注1 2005年は「就職に関するガイダンスが充実している」
 注2 2005年、2009年は「就職について専門的な助言をしてくれる職員が充実している（企業での職業体験をもつキャリアアドバイザーなど）」
 注3 2005年は「進路就職センターの職員の対応に満足している」
 注4 2005年、2009年は「教員志望者のための指導や講座が充実している」
 注5 2005年は「進路就職センターの資料や情報が豊富である」
 注6 2013年に新しく追加された項目

4-5. 福利厚生施設・設備などの評価

- 各施設ごとの項目別評価の平均値を比較すると、最も評価の高い施設は《学内コンビニエンスストア》(平均60.0%)、2位は《食堂》(平均48.0%)。反対に評価の低い施設は《学内書店》(平均31.7%)。この順位は2005年以降大きな変化はみられない。
- 《食堂》については、「店員の対応」「価格」「営業時間」の評価が6割を超えているが、「座席数」に対する評価は約2割と低い。
- 《ビッグバレー》は「味」に対する評価が比較的高いが、「座席数」に対する評価は《食堂》同様に低い。

■全体

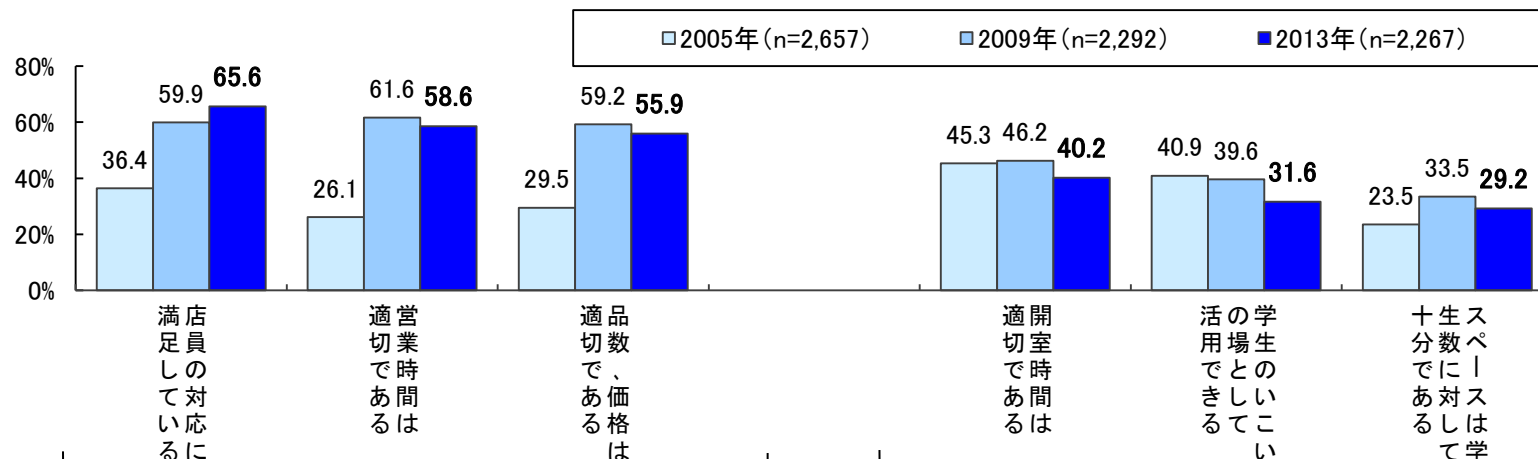


注1 2005年は「食堂・ビッグバレー」を一つの項目として質問した

4-5. 福利厚生施設・設備などの評価

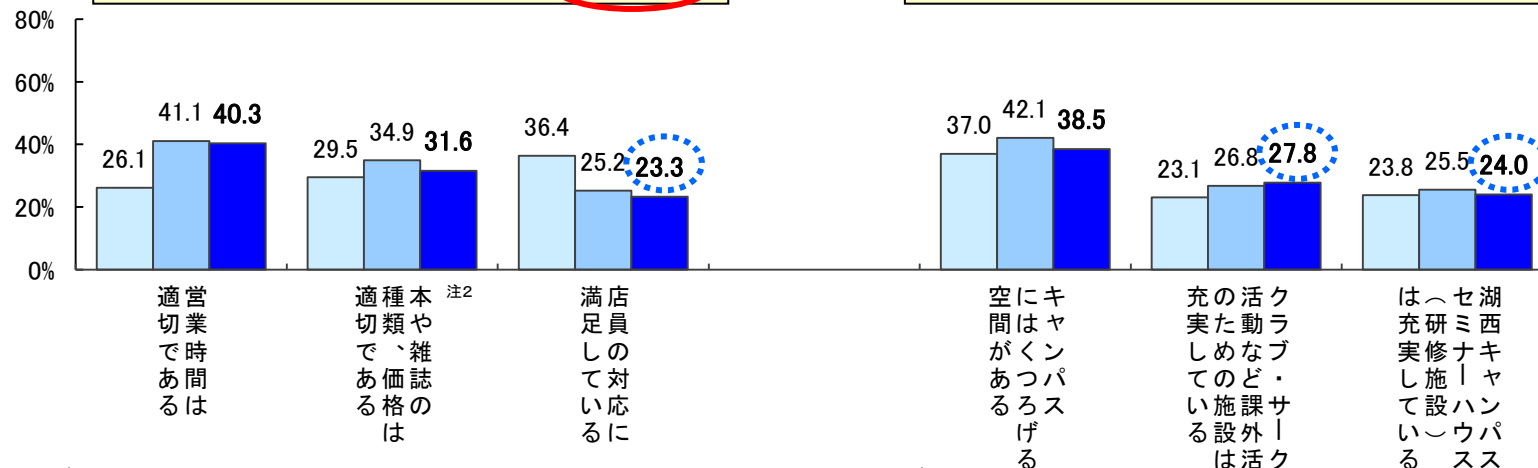
- 《学内書店》においては、「店員の対応」に対する評価が特に低い。
- また、「クラブ・サークル活動など課外活動のための施設は充実している」「湖西キャンパスのセミナーハウスは充実している」も評価は2割台。

■全体



《学内コンビニエンスストア》注1
 評価の平均値 (05年: 30.7% → 09年: 60.2% → 13年: 60.0%)

《談話室1号館1階》
 評価の平均値 (05年: 36.6% → 09年: 39.8% → 13年: 33.7%)



《学内書店》注1
 評価の平均値 (05年: 30.7% → 09年: 33.7% → 13年: 31.7%)

その他

注1 2005年は「購買部・書店」を一つの項目として質問した

注2 2005年は「品数、価格は適切である」

4-6. 教育施設・設備などの評価

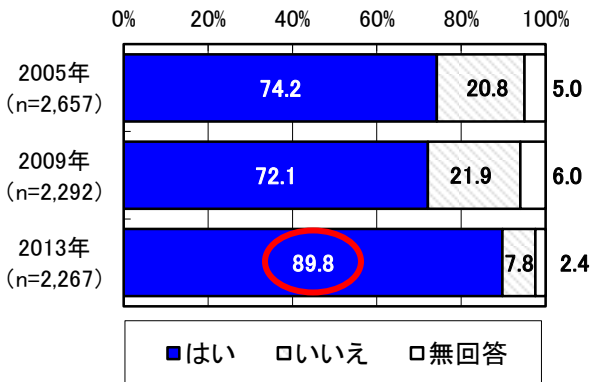
- 《図書館》の利用率は89.8%で、設問文が異なるため参考値としての比較になるが、2005年、2009年より15ポイント以上上昇。
- 利用者の評価をみると、2009年と比べて「図書館員の対応に満足している」はやや低下しているが6割台の評価を得ており、そのほかの項目はすべて評価が上昇している。

《図書館》

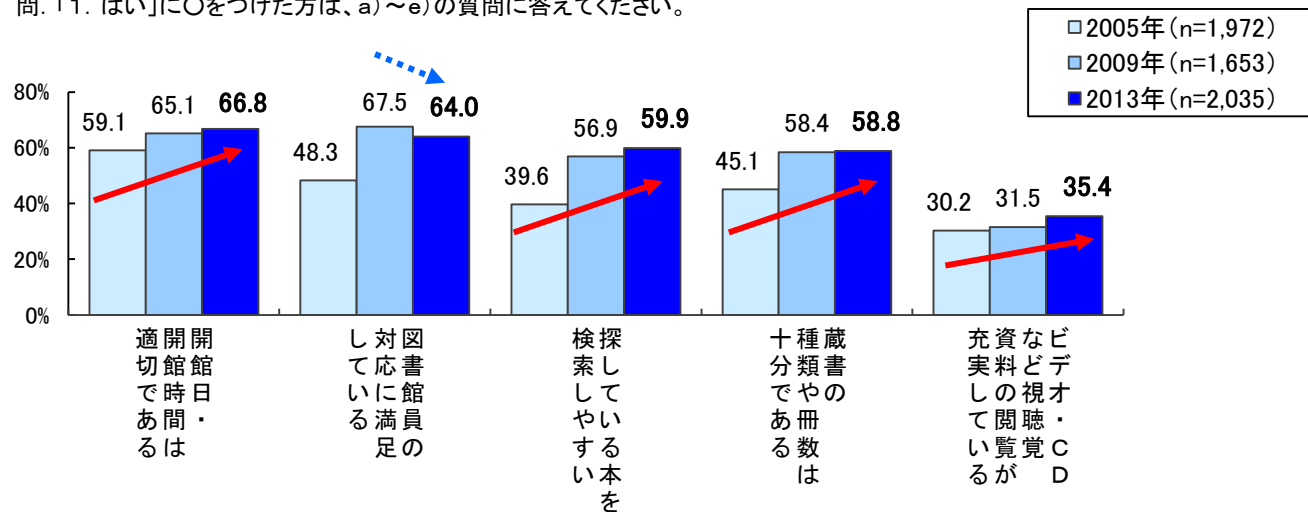
問. あなたは《図書館》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの問に回答してください。

※ 2005年、2009年は「あなたは《図書館》をよく利用しますか。」

■ 全体



問. 「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に教えてください。



問. 「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

図書館を利用しない理由	件数
本を読まない・興味がない	31
行く理由がないから	16
行く機会がない	12
行く必要がない	10
本が好きではない	7
読みたい本がない	6
試験・勉強以外では利用しない	6
建物の場所が離れているから	6
総合研究室や地元の図書館を利用するから	5
行く時間がない	5
行こうと思わない	5

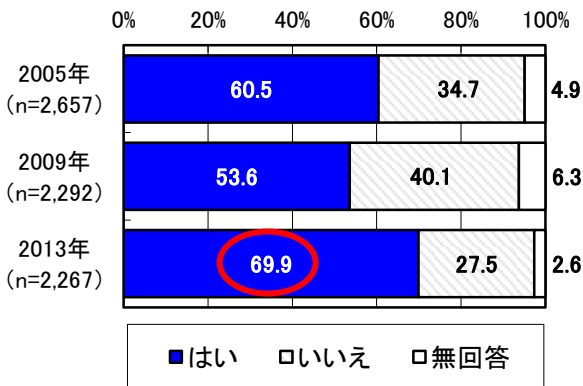
- 《総合研究室》の利用率は69.9%で、設問文が異なるため参考地としての比較になるが、2009年より16.3ポイント上昇。
- 利用者の評価をみると、「利用できるパソコンの台数は十分である」は年々上昇しており、2013年は5割を超えている。一方、総合研究室の設置目的と関連する「学科を超えた交流や学びの機会に役立っている」や『助教』に関連する項目は3割台の評価にとどまる。

《総合研究室》

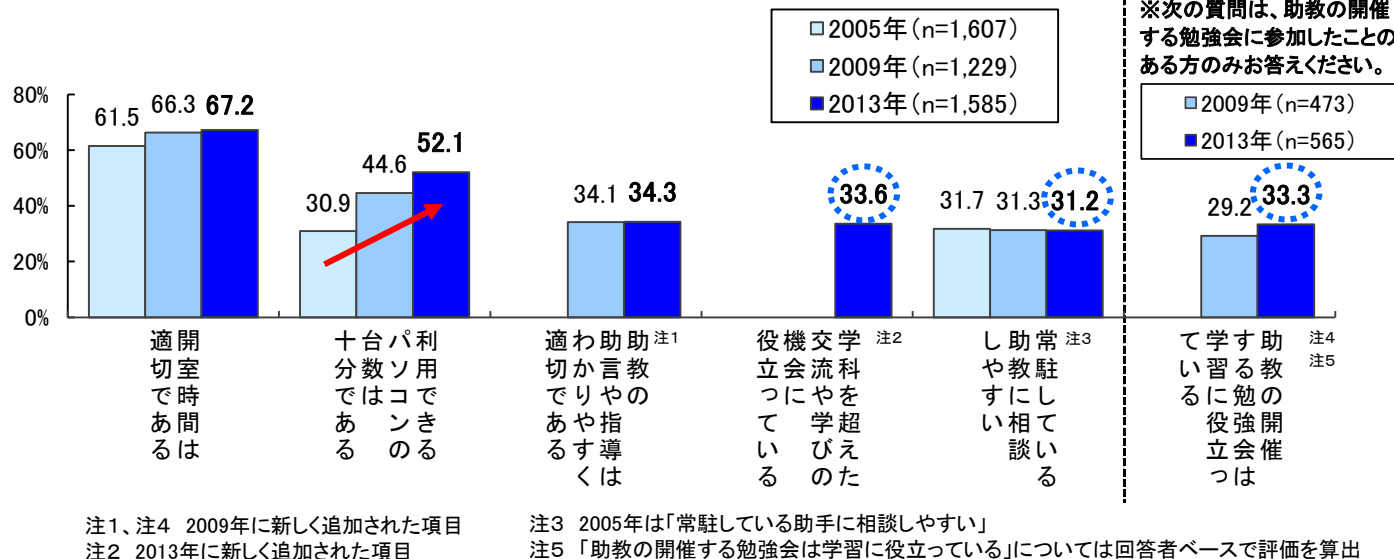
問. あなたは《総合研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

※ 2005年、2009年は「あなたは《総合研究室》をよく利用しますか。」

■ 全体



問. 「1. はい」に○をつけた方は、a)～f)の質問に教えてください。



問. 「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

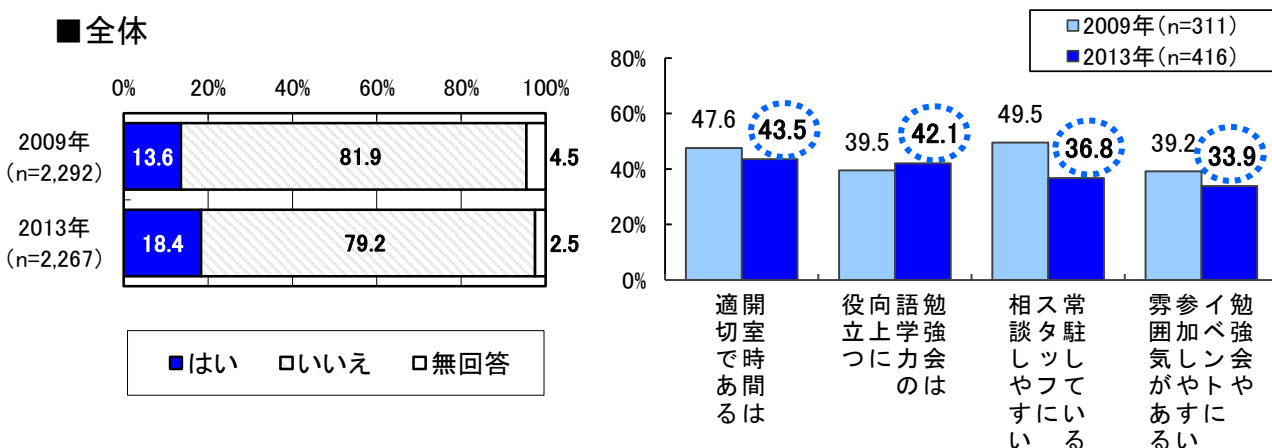
総合研究室を利用しない理由	件数	総合研究室を利用しない理由	件数
行く機会がないから	74	特に理由はない	13
何をやる場所か・利用の仕方がわからない	63	家にパソコンがあるから	12
用事や目的がない	56	施設の場所が遠い	12
3号館や他の施設を利用するから	44	パソコンをあまり使わないから	11
図書館を利用するから	40	雰囲気が悪い	8
行く理由がないから	38	めんどくさい	7
必要がないから	34	興味がない	7
入りづらい・利用しにくい	32	勉強は自分の部屋でするから	6
場所を知らないから	25		

4-6. 教育施設・設備などの評価

- 《GLOBAL SQUARE》の利用率は18.4%であり、利用者の評価も3～4割台。
《GLOBAL SQUARE》を利用しない理由としては、「興味・関心がない」「存在自体知らない・聞いたことがない」という記述が合わせて400件を超える。
- 《教職支援センター》の利用率は37.8%。設問文が異なるため参考値としての比較になるが、2009年と比べると利用率は上昇。また、利用者の評価も上昇しつつあるが、教職支援センターだよりの評価は2009年より7.7ポイント低下。
《教職支援センター》を利用しない理由としては、教職志望ではないという記述が中心。

《GLOBAL SQUARE》 問. あなたは《GLOBAL SQUARE》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。 ※ 2009年は「あなたは《GLOBAL SQUARE》をよく利用しますか。」

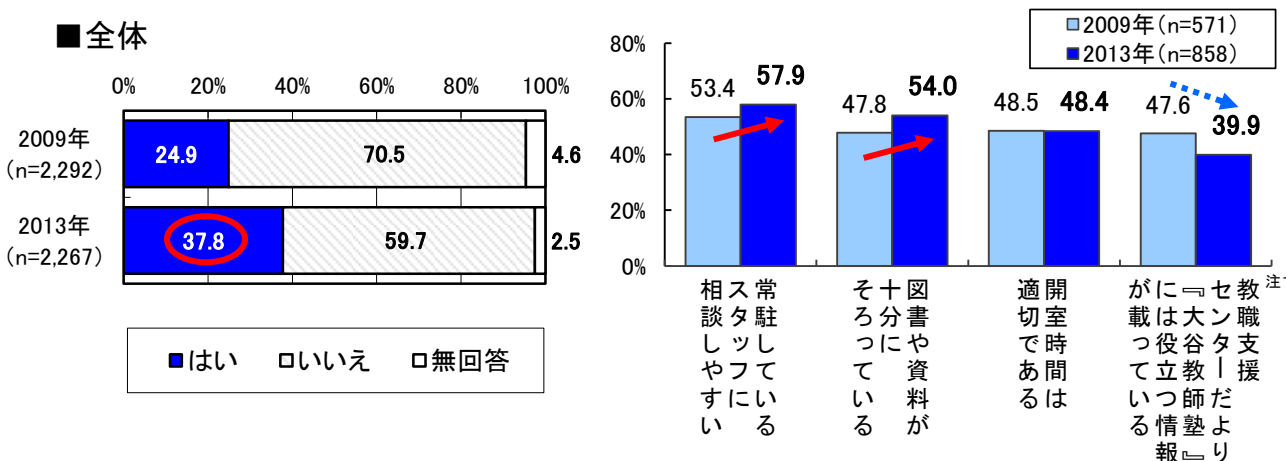
■全体



GLOBAL SQUAREを利用しない理由	件数
興味・関心がない	229
存在自体知らない・聞いたことがない	193
利用する機会がないから	167
利用の仕方がわからない	143
利用する用事や目的がない	110
行きにくい・入りづらい	89
行く必要がないから	80
留学を考えていないから	61
利用する理由がないから	56
利用する時間がない・時間が合わない	50

《教職支援センター》 問. あなたは《教職支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。 ※ 2009年は「あなたは《教職支援センター》をよく利用しますか。」

■全体



教職支援センターを利用しない理由	件数
教職をとっていない・関係ないから	413
存在自体知らない・聞いたことがない	83
利用する必要がないから	78
利用する機会がないから	76
教職に興味・関心がない	75
利用する用事や目的がない	65
利用の仕方がわからない	37
利用する理由がないから	35
特に理由はない	34
利用したことがない・行かないから	24

注1 2009年は「教職センターだよりに役立つ情報が載っている」

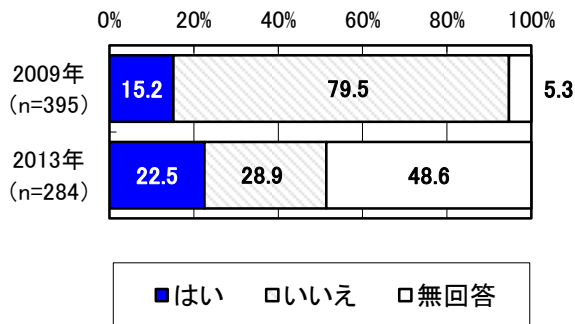
- 社会学科の《実習支援センター》の利用率は22.5%。
 利用者の評価はすべての項目で上昇しており、「常駐しているスタッフに相談しやすい」「開室時間は適切である」は2009年から15ポイント以上上昇し5割を超えている。
 社会学科の学生が《実習支援センター》を利用しない理由としては、「教職をとっていない・実習がないから」「利用する機会・必要がないから」などの理由が多くあげられている。

《実習支援センター》

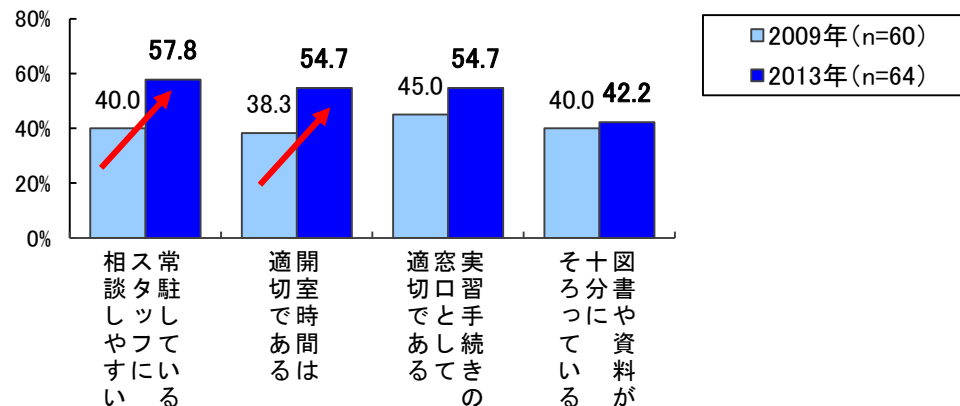
問. 社会学科社会福祉学コースと短期大学部幼児教育保育科の方にお聞きます。
 あなたは《実習支援センター》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

※ 2009年は「あなたは《実習支援センター》をよく利用しますか。」

■ 全体(社会学科のみ)



問. 「1. はい」に○をつけた方は、a)～f)の質問に教えてください。



問. 「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

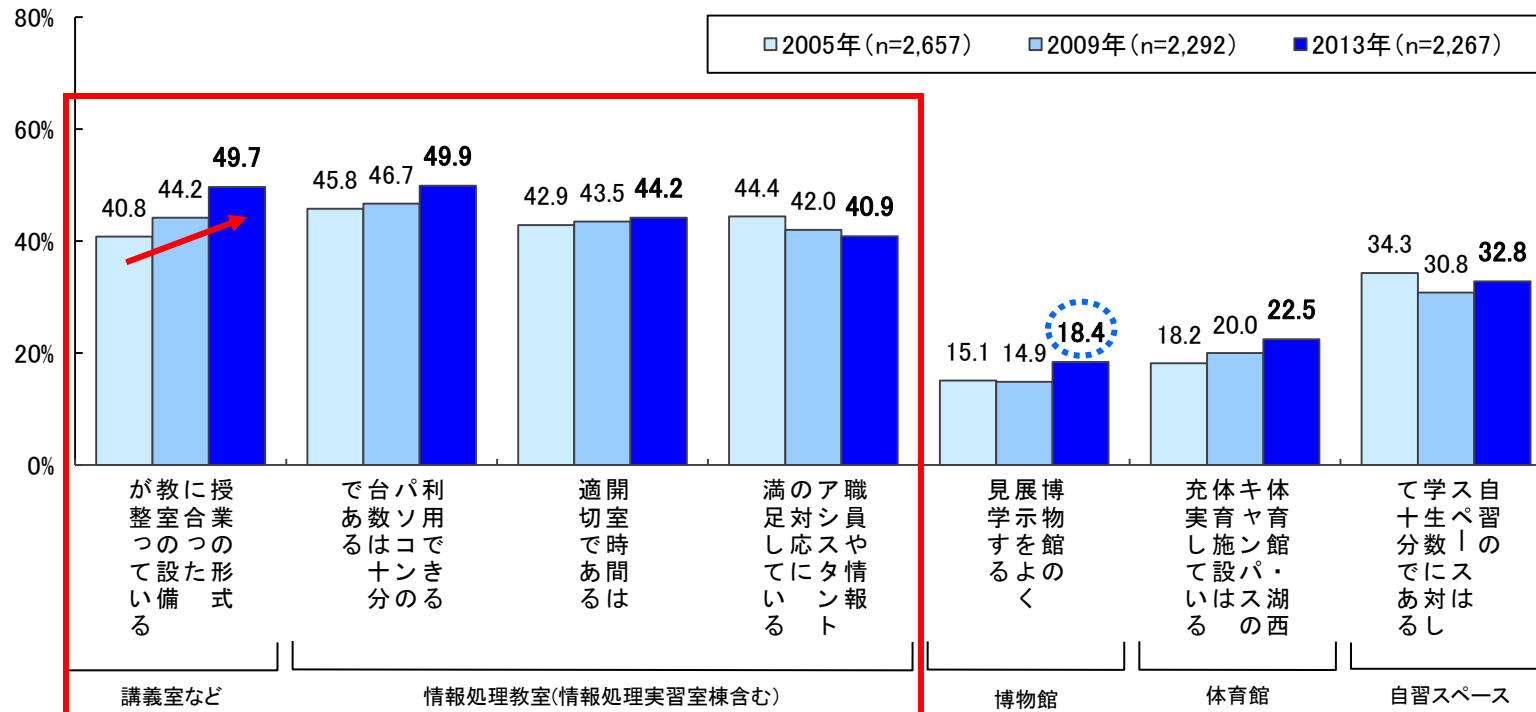
実習支援センターを利用しない理由	件数
教職をとっていない・実習がないから	9
存在自体知らない・聞いたことがない	7
利用する機会がないから	7
利用する必要があるから	7
利用する用事や目的がない	4
利用する理由がないから	4
特に理由はない	3
利用の仕方がわからない	3
わからない	3

4-6. 教育施設・設備などの評価

■ 教育施設・設備の中では、《講義室など》と《情報処理教室(情報処理実習室棟含む)》の評価が比較的高い。一方、《博物館》《体育館》に対する評価は、上昇がみられるものの2割程度にとどまっており、利用者が限定されている可能性がうかがえる。

【G 大谷大学の教育施設・設備などについて】

■全体



4-7. 教育・学生生活のサポート体制の評価

<教育に関するサポート体制>

■ 学生に対する情報提供に関連した項目の評価が上位であり、評価も上昇傾向。一方、教務課の職員やTA制度に対する評価は2割台と低く、2009年と比べても低下している。

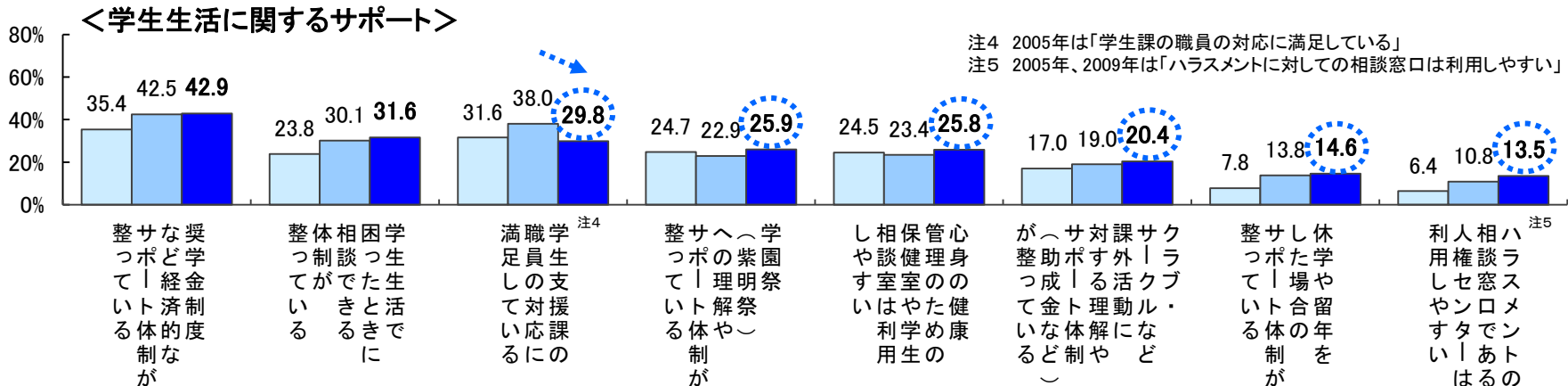
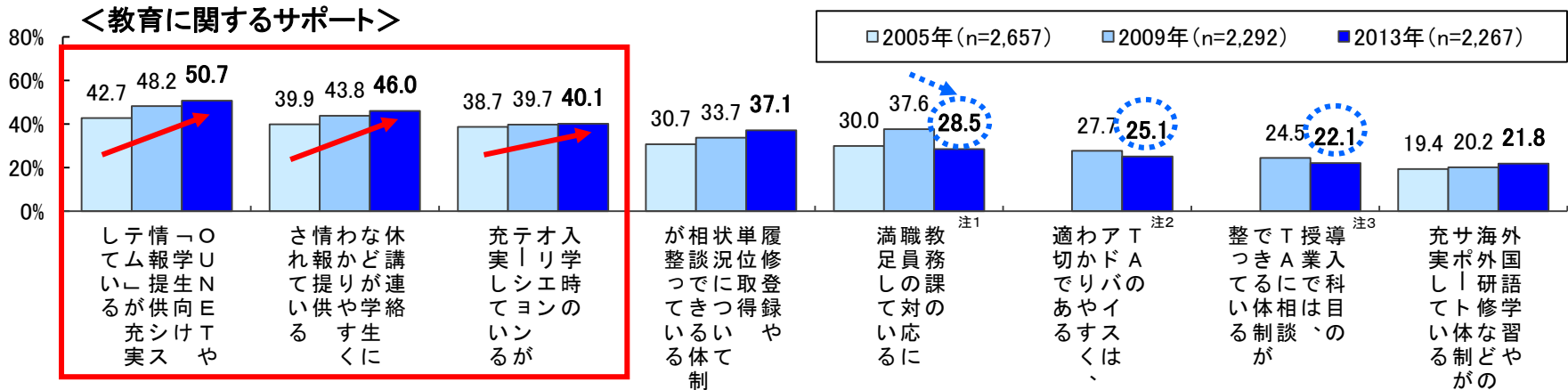
<学生生活に関するサポート体制>

■ 評価が3割に届かない項目が多く、そのうち「学生支援課の職員の対応に満足している」に対する評価は2009年より約8ポイント低下。

【D 大谷大学の教育・学生生活のサポート体制について】

■ 全体

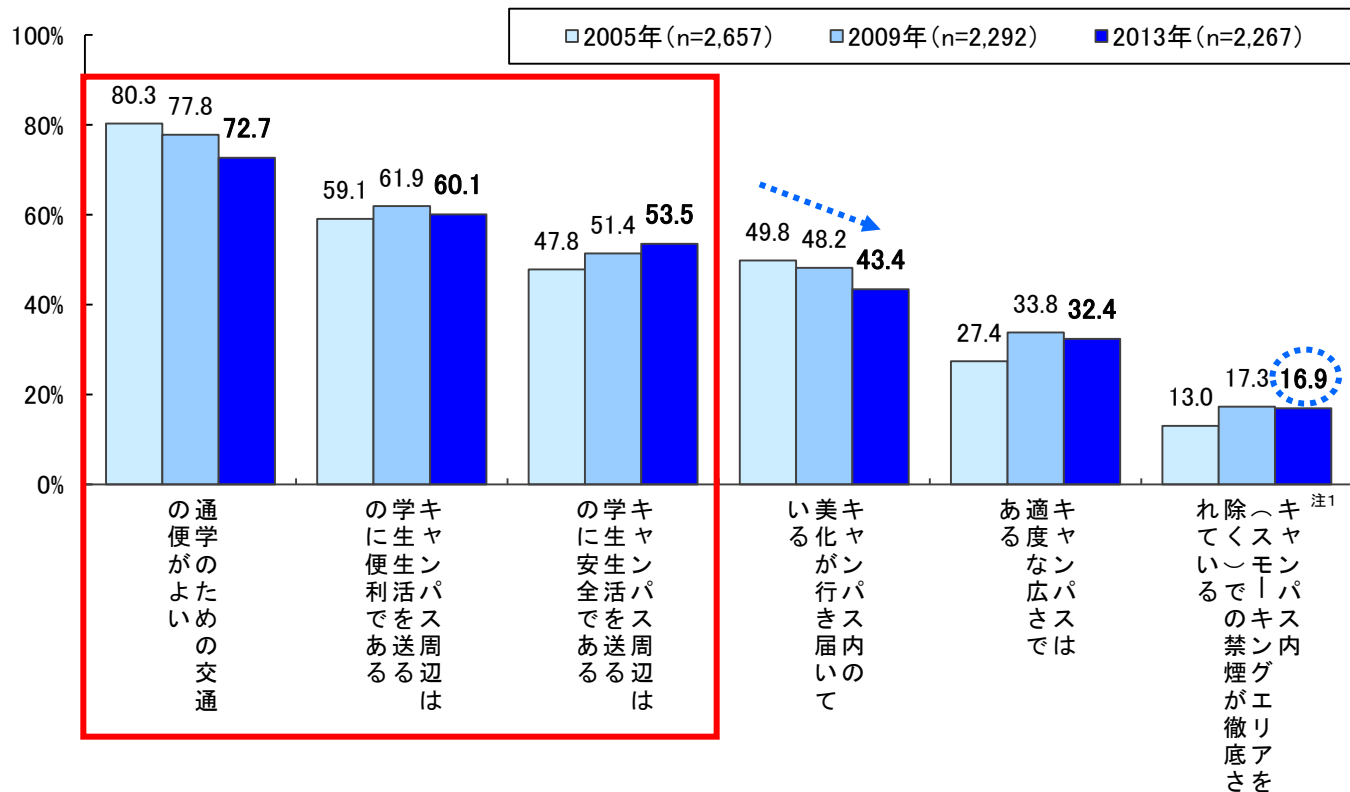
注1 2005年は「教務部の職員の対応に満足している」
注2、注3 2009年に新しく追加された項目



- 「通学のための交通の便がよい」「キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である」「キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である」など、大谷大学への志願理由で上位にあげられていた『大学の立地』と関連する項目の評価が高い。
- 一方、「キャンパス内の美化が行き届いている」の評価は低下傾向が続いており、「キャンパス内(スモークングエリアを除く)での禁煙が徹底されている」に対する評価も1割台と、依然として低い。

【H その他】

■全体



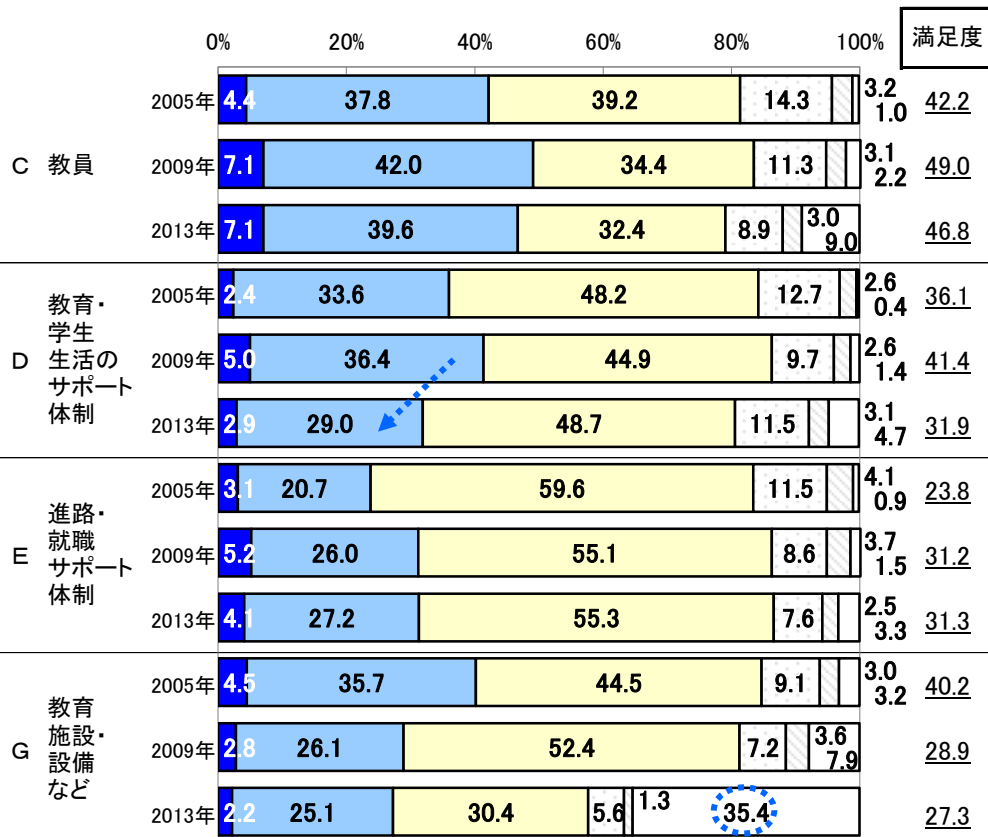
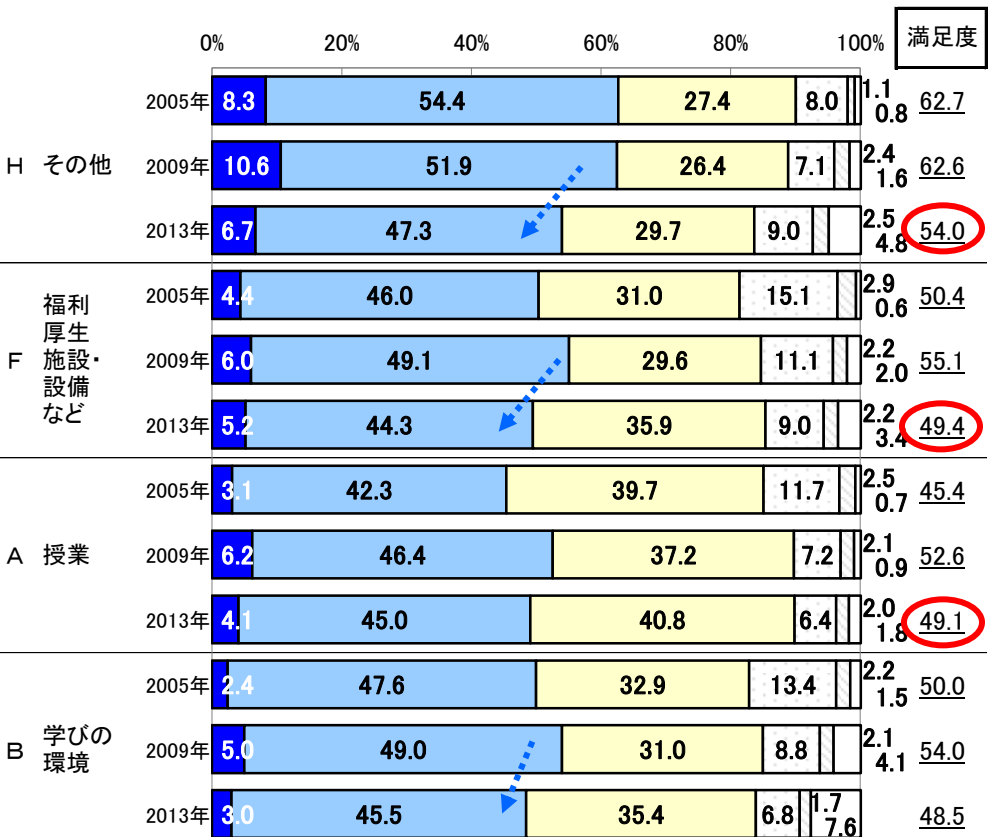
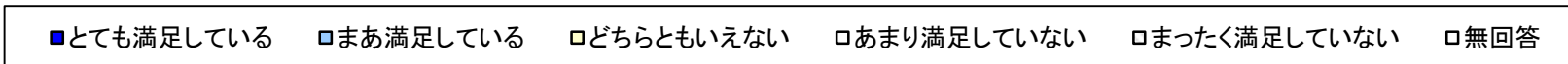
注1 2005年、2009年は「キャンパス内での喫煙マナーがよい」

5. 大谷大学に対する満足度

5-1. 各カテゴリーの満足度

- 満足度上位の3カテゴリーは、「H. その他」「F. 福利厚生施設・設備など」「A. 授業」。
- 「E. 進路・就職サポート体制」以外はすべての項目で2009年より評価が低下。しかし、「まったく満足していない」「あまり満足していない」の割合は2009年と同程度の割合となっており、明確な不満をもつ学生が増えたとはいえない。
- 「G. 教育施設・設備など」については直前の設問が分岐設問(社会学科社会福祉学コースの学生限定の設問)であったことから無回答が大幅に増加したと考えられる。

■ 全体

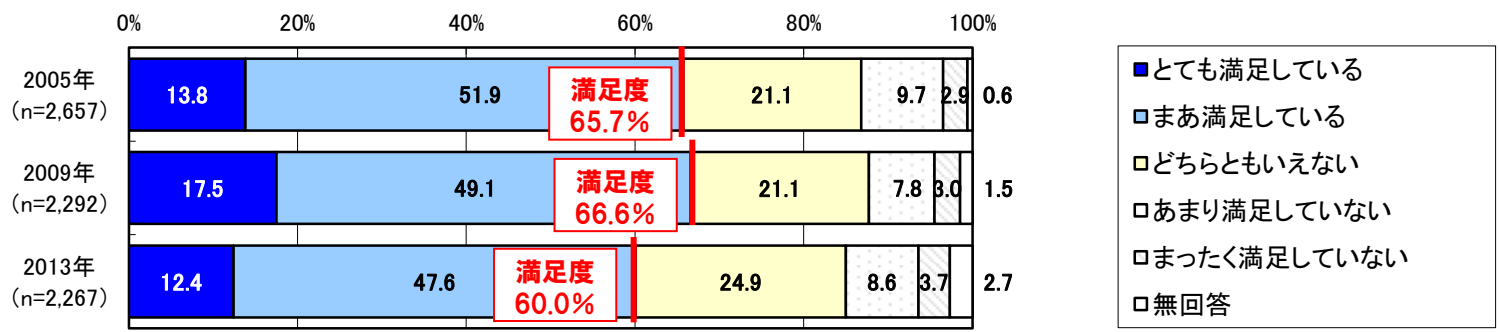


注) 満足度 = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」

- 大谷大学への現在の満足度は60.0%で2009年に比べて6.6ポイント低下。特に「とても満足している」が約5ポイント低下している。
- 学科別にみると、
 - 真宗学科、仏教学科、哲学科、歴史学科、文学科、教育・心理学科
 - : 満足度は6割強～7割弱と、全体を上回る。特に仏教学科では2009年より満足度が5ポイント以上上昇。一方、教育・心理学科では現在の満足度は6割を超えるものの、2009年より10ポイント以上低下している。
 - 社会学科、国際文化学科、人文情報学科
 - : 満足度は全体を下回っており、2009年から10ポイント以上の低下がみられる。特に人文情報学科は47.3%と、満足度が5割を下回る。

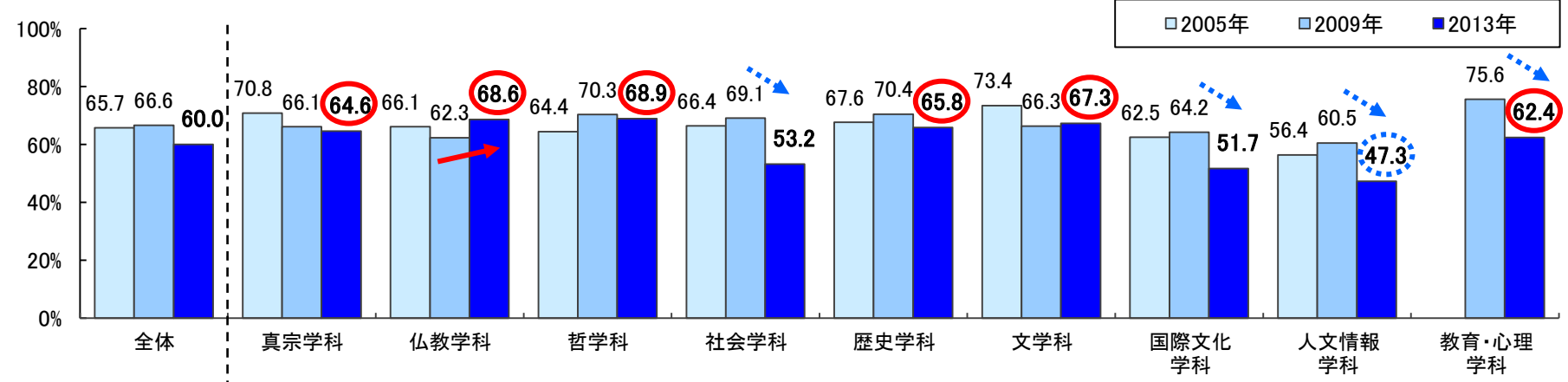
Q12 あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

■全体



注) 満足度 = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」

■学科別 現在の満足度の経年比較



注) グラフ中の数値は各年の「現在の満足度」

5-3. 各カテゴリーの満足度と現在の満足度（学科別）

■現在の満足度が2009年より10ポイント以上低下している社会学科、国際文化学科、人文情報学科、教育・心理学科では、各カテゴリーの満足度においても10ポイント以上の低下がみられるカテゴリーが目立つ。

■学科別

注2

%

	回答者数 (n)			現在の満足度 注1			H その他			F な施福 ど設利 ・厚生 設生 備			A 授業			B 学 びの 環 境			C 教 員			D 体サ学教 制生育 生・ ト活 の			E 体サ進 制ポ路 ・ ト就 職			G 設教 備育 な施 ど設 ・			
	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	
年度	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	
全体	2,657	2,292	2,267	65.7	66.6	60.0	62.7	62.6	54.0	50.4	55.1	49.4	45.4	52.6	49.1	50.0	54.0	48.5	42.2	49.0	46.8	36.1	41.4	31.9	23.8	31.2	31.3	40.2	28.9	27.3	
学科別	真宗学科	325	245	223	70.8	66.1	64.6	55.7	53.5	48.0	47.7	52.2	51.6	52.3	53.5	53.4	49.5	51.0	48.0	52.3	58.0	56.5	33.8	37.6	34.1	14.8	19.2	22.4	42.5	27.3	29.1
	仏教学科	227	183	86	66.1	62.3	68.6	62.1	62.8	43.0	51.5	56.8	39.5	47.6	52.5	43.0	48.0	55.2	44.2	42.7	53.0	40.7	36.1	45.4	30.2	20.7	22.4	25.6	41.4	32.8	22.1
	哲学科	219	209	164	64.4	70.3	68.9	57.5	61.7	56.7	47.5	49.3	50.6	47.5	56.5	61.6	48.4	50.2	58.5	51.6	52.6	54.3	34.2	37.3	26.8	23.7	30.6	14.0	37.0	24.4	25.0
	社会学科	539	395	284	66.4	69.1	53.2	65.7	66.1	50.4	47.5	58.5	42.6	46.2	54.7	41.5	51.8	53.2	40.8	39.9	46.8	33.1	38.4	42.3	30.3	25.8	34.7	32.7	38.8	29.6	22.5
	歴史学科	284	284	357	67.6	70.4	65.8	66.9	63.4	59.4	50.4	52.5	58.3	52.5	60.2	58.8	56.3	61.3	56.0	45.1	53.9	49.6	37.0	37.7	37.8	22.9	31.3	34.2	51.4	33.1	34.2
	文学科	293	264	248	73.4	66.3	67.3	64.8	64.4	61.7	57.7	62.5	62.5	53.6	55.7	51.6	56.7	59.5	52.0	49.8	48.5	50.8	38.2	42.8	32.3	27.6	32.2	35.5	57.3	32.2	31.5
	国際文化学科	403	355	269	62.5	64.2	51.7	68.5	63.7	47.6	52.9	51.8	46.8	37.7	45.9	37.9	52.9	54.6	43.9	37.0	41.1	41.6	41.2	38.6	29.4	26.6	37.5	32.0	36.7	27.0	24.5
	人文情報学科	367	261	273	56.4	60.5	47.3	56.4	60.5	50.2	49.6	56.7	45.1	31.6	39.8	36.3	36.8	44.4	39.6	28.3	40.6	31.9	27.5	44.8	23.4	25.6	28.7	22.0	22.6	19.5	19.8
	教育・心理学科	—	86	330	—	75.6	62.4	—	70.9	59.7	—	54.7	43.0	—	64.0	56.4	—	59.3	52.4	—	62.8	60.3	—	59.3	37.0	—	47.7	47.6	—	46.5	31.5

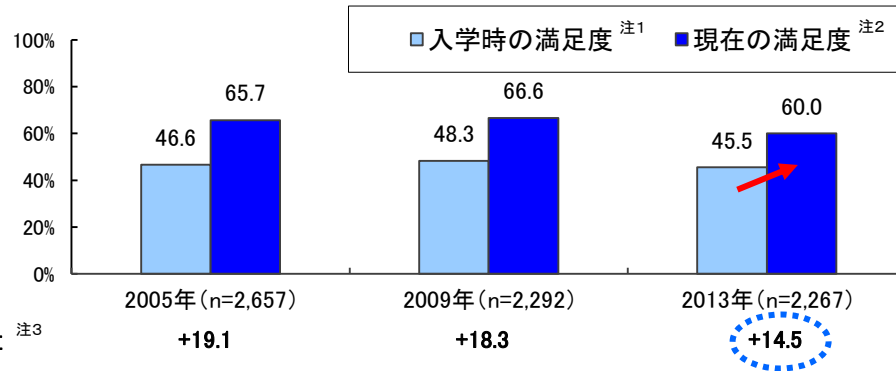
注1 現在の満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」
 注2 A～Hの各カテゴリーの満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

5-4. 入学時の満足度と現在の満足度の比較

- 現在の満足度(60.0%)と、入学時の満足度(45.5%)を比較すると、現在の満足度の方が14.5ポイント高いが、その変化量は過去2ヶ年と比べて小さい。
- 学科別にみても、満足度の変化量は過去2ヶ年と比べて減少している学科が多い。
- 入学時の満足度別に現在の満足度をみると、入学時の満足度が高い学生ほど、現在の満足度も高い傾向は2009年と変わらないが、2013年は入学時に「不満だった」層の満足度がさらに低下しており、入学時の不満感を現在も抱き続けてしまっている学生が増加している可能性がうかがえる。

<入学時の満足度と現在の満足度の比較>

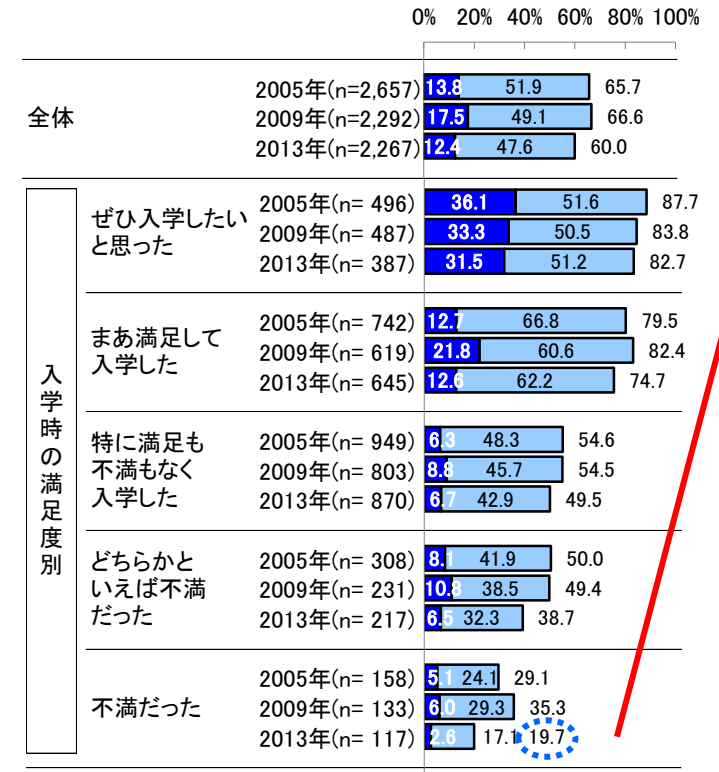
■ 全体



■ 学科別

学科名	満足度の変化量		
	05年	09年	13年
全体	+19.1	+18.3	+14.5
真宗学科	+18.5	+17.5	+8.5
仏教学科	+10.2	+15.9	+27.9
哲学科	+19.7	+16.2	+13.4
社会学科	+22.2	+26.1	+14.1
歴史学科	+18.3	+13.4	+15.7
文学科	+24.3	+17.4	+22.5
国際文化学科	+23.5	+22.8	+19.7
人文情報学科	+11.7	+11.1	+2.6
教育・心理学科	-	+15.1	+10.6

■ 入学時の満足度別 現在の満足度



注1 入学時の満足度=「ぜひ入学したいと思った」+「まあ満足して入学した」
 注2 現在の満足度=「とても満足している」+「まあ満足している」
 注3 満足度の変化量=「現在の満足度」-「入学時の満足度」

【短期大学部編】

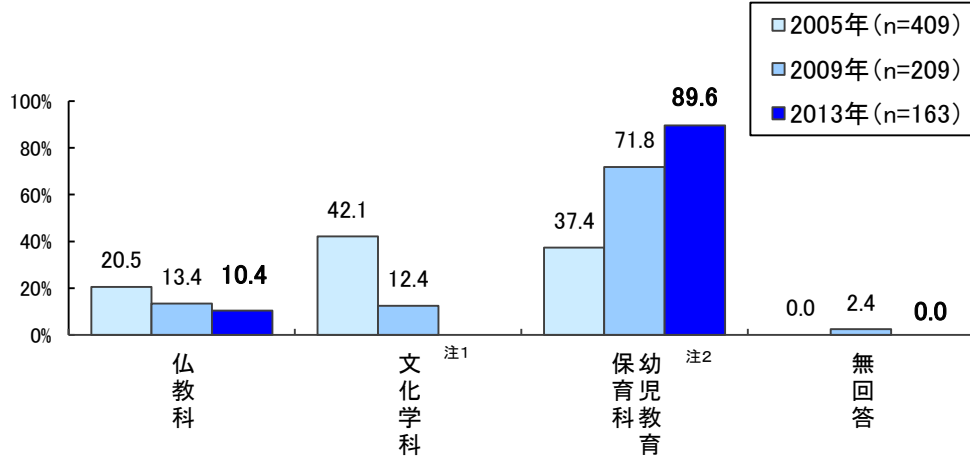
※経年比較の際の注意点

文化学科の募集停止に伴い、2005年、2009年、2013年では回答者の学科別構成比が大きく変化している。このことが、全体結果の変化にも影響していると考えられ、結果の読み取りの際には注意が必要。

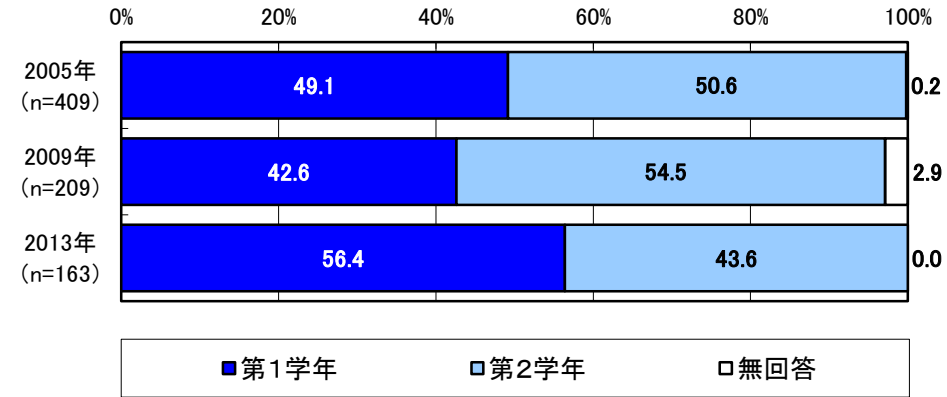
また、2013年度の仏教学科は回答数が少ないため、傾向はあくまで参考値として考える必要がある点にも注意が必要。

● 学科

注1 2009年に募集停止
注2 2005年は「幼児教育科」

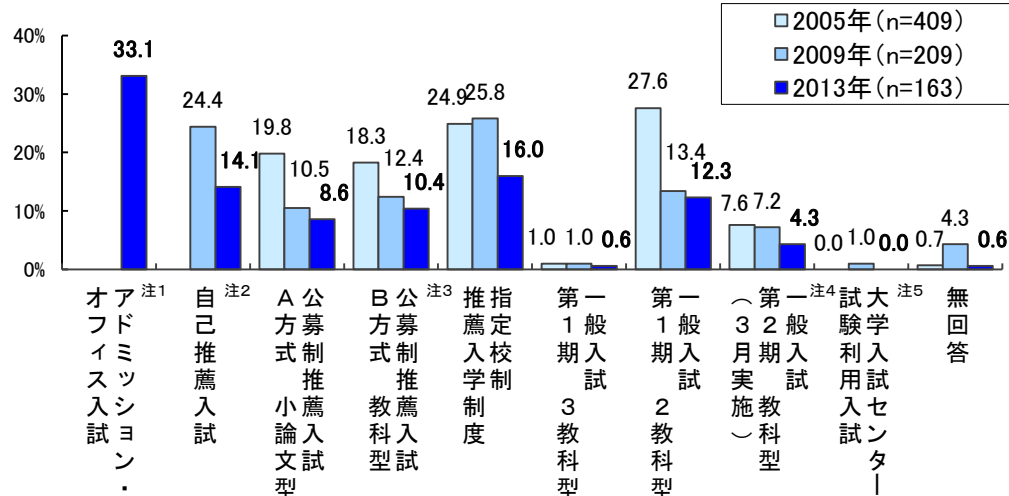


● 学年

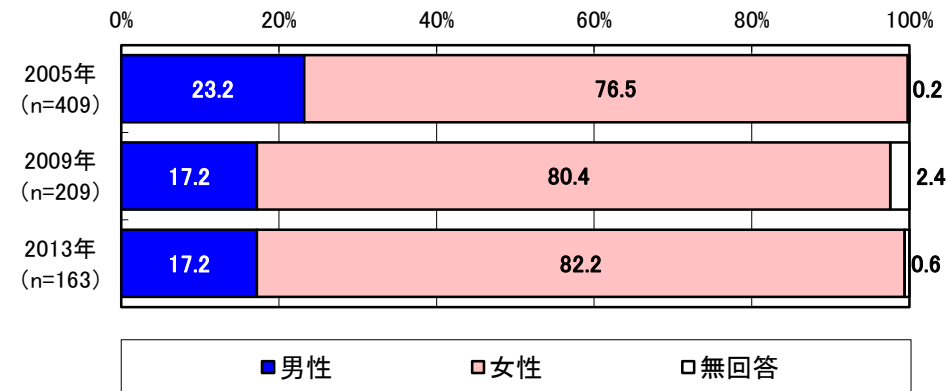


● 入学した入試方式

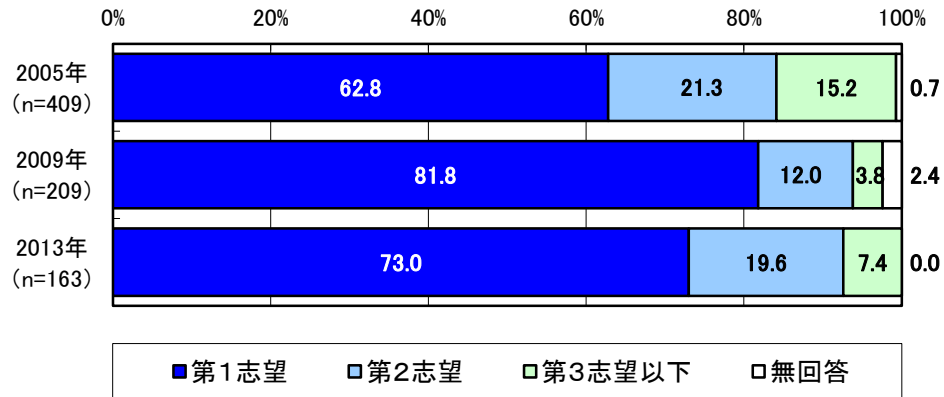
注1 2013年に新しく追加された項目
注2 2009年に新しく追加された項目
注3 2005年、2009年は「公募制推薦入試B方式 1教科型」
注4 2005年、2009年は「一般入試 第2期 1教科型」
注5 2005年、2009年は「一般入試 大学入試センター試験利用入試」



● 性別

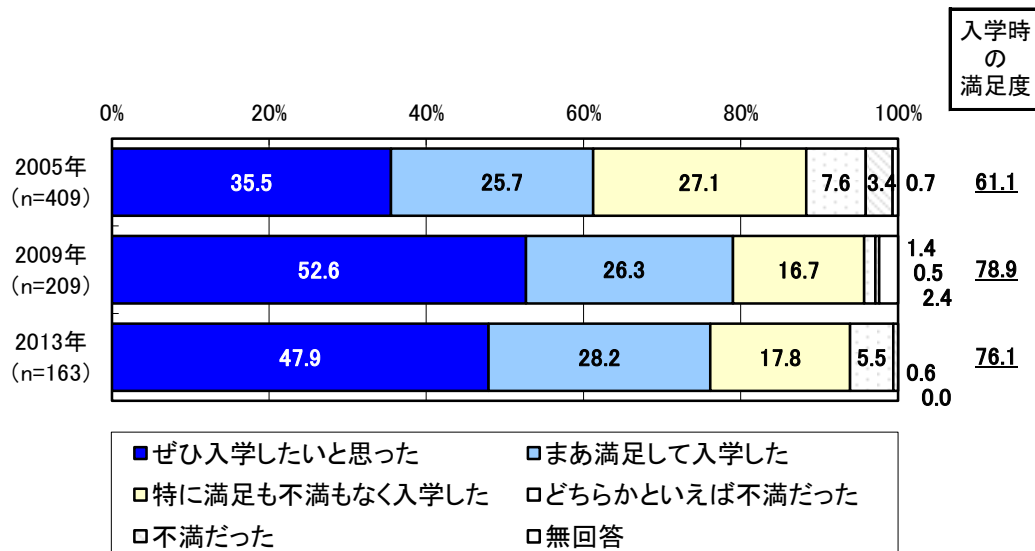


●受験時の志望順位



●入学した時の気持ち

■全体

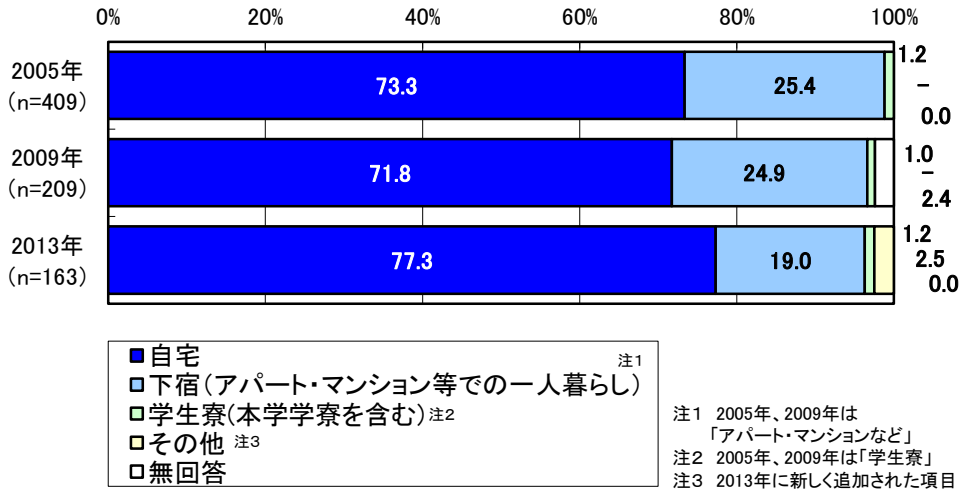


■学科別

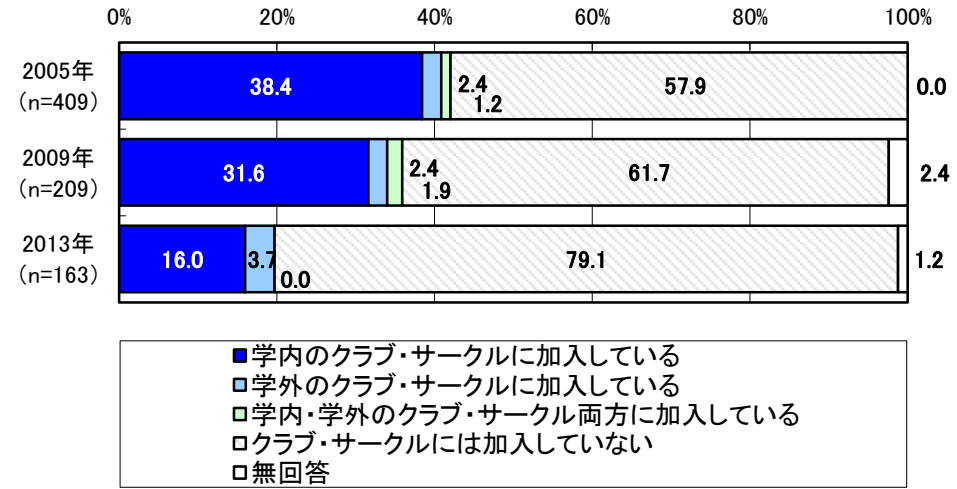
		回答者数 (n)			入学時の満足度 (%)		
		05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体		409	209	163	61.1	78.9	76.1
学科別	仏教科	84	28	17	44.8	78.6	58.8
	幼児教育保育科	153	150	146	85.0	86.7	78.1

■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より5ポイント以上低い
 注) 入学時の満足度 = 「ぜひ入学したいと思った」 + 「まあ満足して入学した」

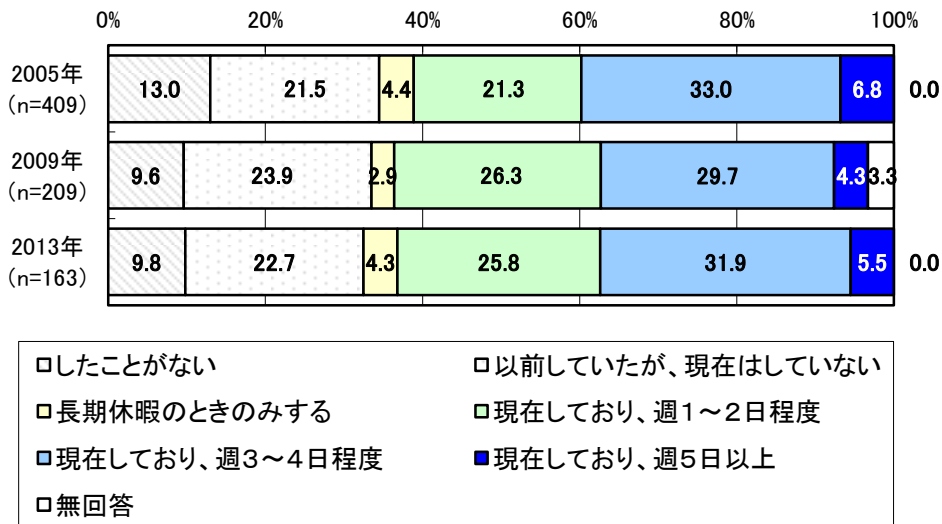
●居住形態



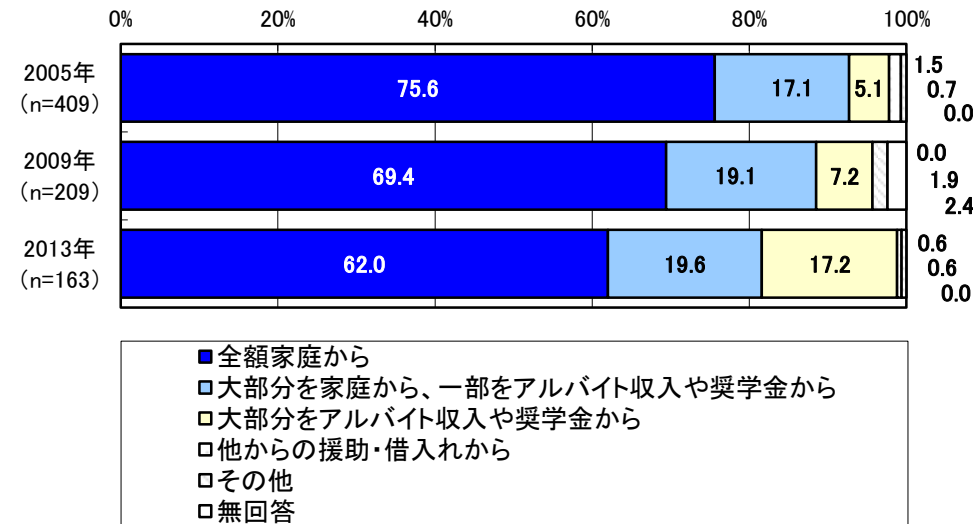
●クラブ・サークル活動参加



●アルバイト経験



●学費の負担者

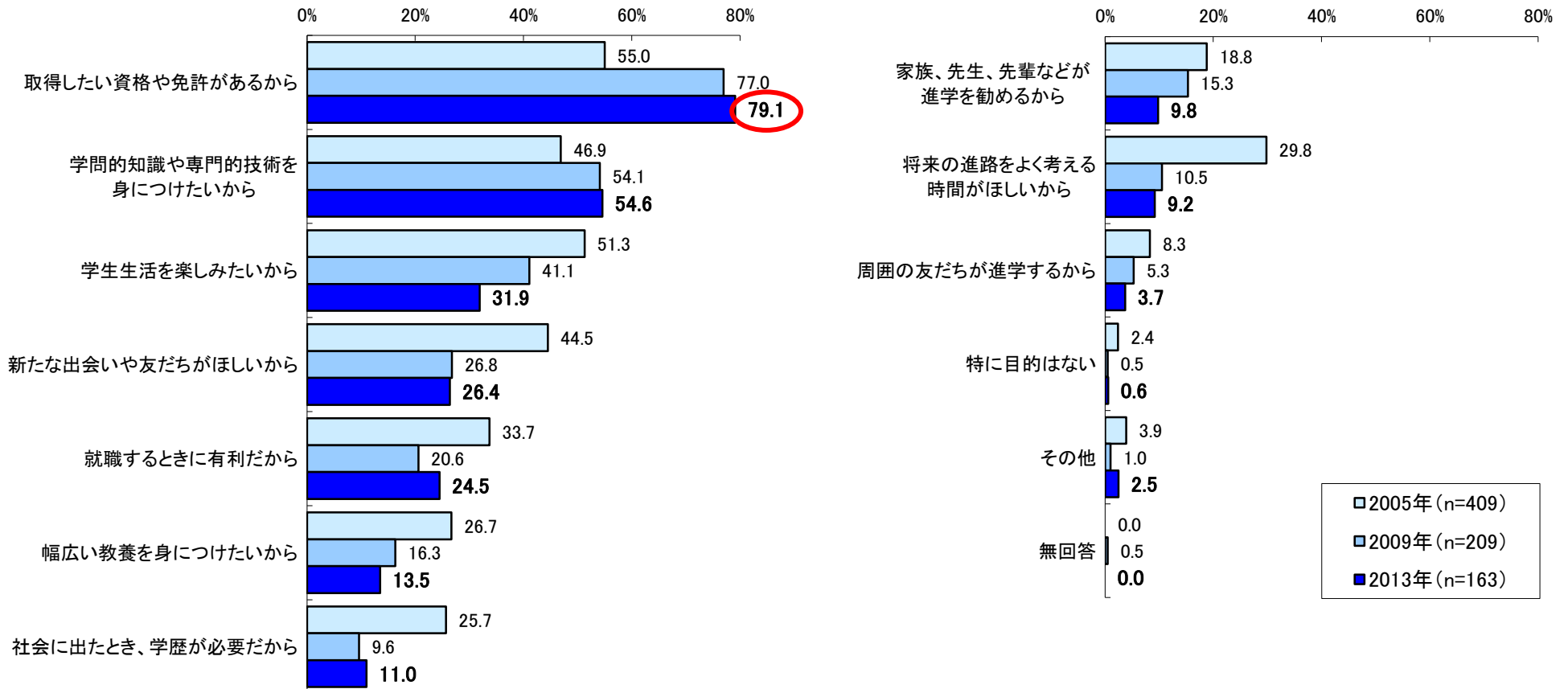


1. 大谷大学短期大学部への進学について

■ 大学進学を選んだ理由としては、「取得したい資格や免許があるから」が約8割と突出して高く、資格・免許の取得を進学目的とする学生が非常に多いことがうかがえる。「学問的知識や専門的技術を身につけたいから」も5割を超え、『資格・免許取得』と『学び』に対する短期大学部生の強い関心がみられる。

Q1 あなたが大学進学を選んだ理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。※ 2005年、2009年は「あなたが大学に進学しようと思った理由は何ですか。」

■全体



1-2. 大谷大学短期大学部への志願理由

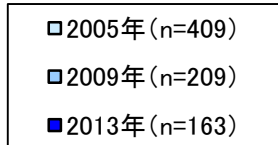
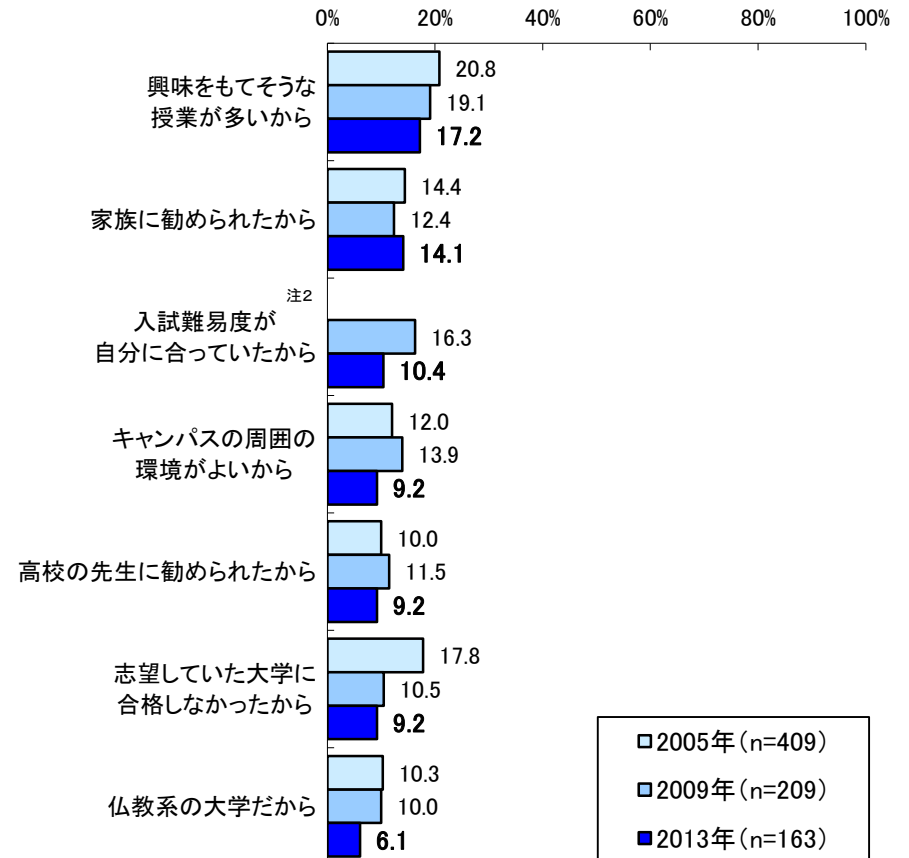
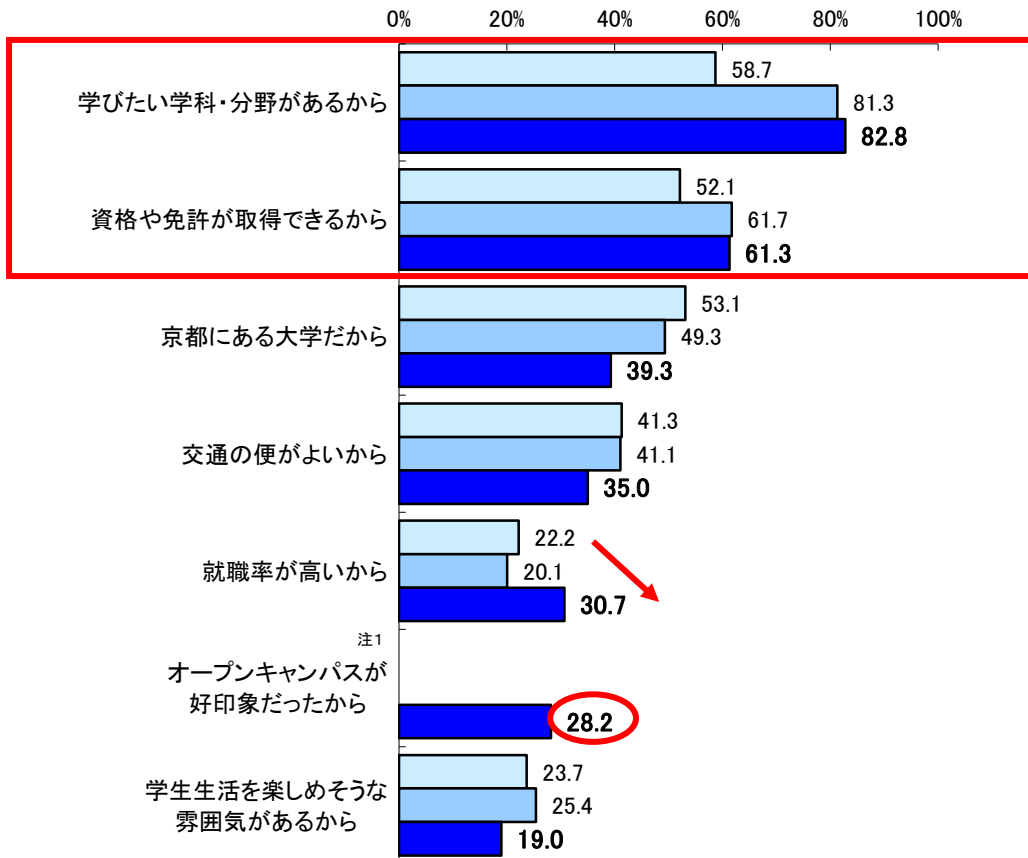
■ 大谷大学への志願理由は、「学びたい学科・分野があるから」「資格や免許が取得できるから」が上位。また、経年変化をみると、「就職率が高いから」が2009年から10.6ポイント上昇している。

→短期大学部生の進学、大学選択においては『学びの内容』とその先にある『資格・免許の取得』『就職』が重視されていると考えられる。

■ 2013年に新しく追加された「オープンキャンパスが好印象だったから」も3割弱が大谷大学志願理由としてあげている。

Q2-1 あなたが大谷大学を志願した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体(上位14項目)



注1 2013年に新しく追加された項目

注2 2009年に新しく追加された項目

1-2. 大谷大学短期大学部への志願理由（学科別）

- 志願理由を学科別にみると、両学科とも同じ項目があげられているが、3位以下に違いがみられる。
 - 仏教科:「家族に勧められたから」「興味をもてそうな授業が多いから」が続く。
 - 幼児教育保育科:「京都にある大学だから」「交通の便がよいから」と『大学の立地』に関する項目が続く。

Q2-1 あなたが大谷大学を志願した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 学科別(上位14項目)

年度	回答者数 (n)			学ぶ・たい分野が			資格や免許が			京都に			交通の便が			就職率が			キャラクターだっすが			学生生活が		
	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体	409	209	163	58.7	81.3	82.8	52.1	61.7	61.3	53.1	49.3	39.3	41.3	41.1	35.0	22.2	20.1	30.7	—	—	28.2	23.7	25.4	19.0
学科別	仏教科	84	28	17	45.2	57.1	64.7	44.0	39.3	58.8	36.9	39.3	17.6	15.5	17.9	17.6	2.4	0.0	5.9	—	—	17.6	17.9	17.6
	幼児教育保育科	153	150	146	90.2	92.7	84.9	88.9	77.3	61.6	52.9	46.7	41.8	60.1	45.3	37.0	55.6	28.0	33.6	—	—	29.5	31.4	26.0

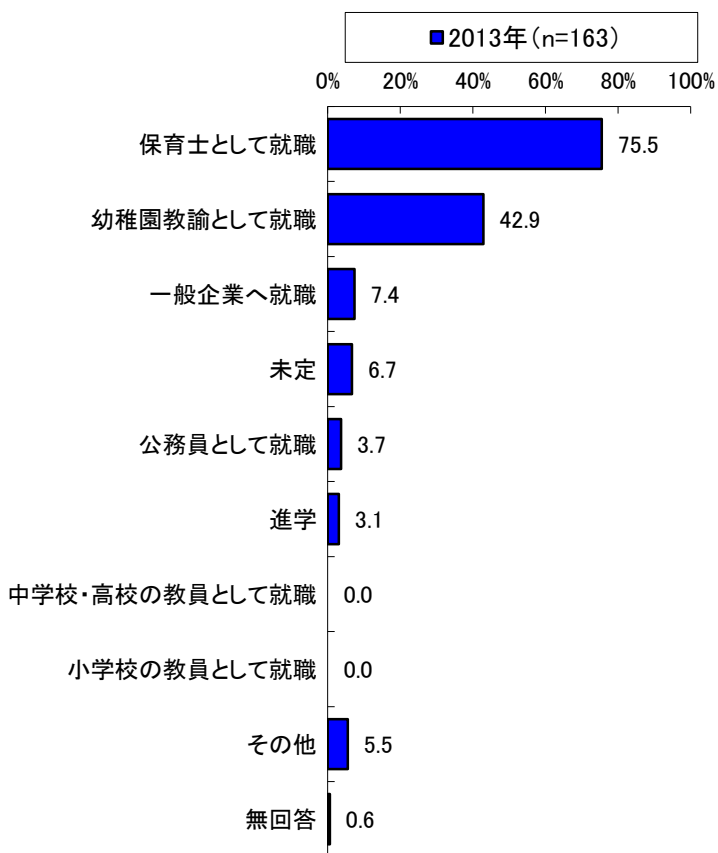
年度	回答者数 (n)			興味をもちたい授業が			家族に勧められた			入学試験が易い			キャンパス環境が			高校の先生に			大学が合っていた			大谷大学だから			
	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	
全体	409	209	163	20.8	19.1	17.2	14.4	12.4	14.1	—	16.3	10.4	12.0	13.9	9.2	10.0	11.5	9.2	17.8	10.5	9.2	10.3	10.0	6.1	
学科別	仏教科	84	28	17	20.2	10.7	29.4	34.5	28.6	35.3	—	7.1	5.9	6.0	10.7	17.6	10.7	7.1	5.9	6.0	3.6	5.9	41.7	67.9	23.5
	幼児教育保育科	153	150	146	26.8	20.0	15.8	7.8	9.3	11.6	—	13.3	11.0	15.0	15.3	8.2	8.5	12.0	9.6	12.4	10.0	9.6	2.0	0.7	4.1

- 全体では、幼児教育保育科の学生が9割を占めるため、「保育士として就職」「幼稚園教諭として就職」といった保育関係の職種への希望が高い。
- 学科別にみた場合、仏教科では「一般企業へ就職」と「未定」がそれぞれ3割強で上位。

Q3 あなたは、大学卒業後、どのような進路に進みたいと考えていますか。以下より現時点で希望する進路の番号すべてに○をつけてください。

■全体

■学科別



		回答者数 (n)	保育士として就職	幼稚園教諭として就職	一般企業へ就職	未定	公務員として就職	進学	中学校・高校の教員として就職	小学校の教員として就職	その他	無回答
全体		163	75.5	42.9	7.4	6.7	3.7	3.1	0.0	0.0	5.5	0.6
学科別	仏教科	17	5.9	5.9	35.3	35.3	5.9	5.9	0.0	0.0	29.4	0.0
	幼児教育保育科	146	83.6	47.3	4.1	3.4	3.4	2.7	0.0	0.0	2.7	0.7

全体より5ポイント以上高い

全体より5ポイント以上低い

2. 建学の理念に対する意識と大学での取り組み

2-1. 建学の理念認知度 / 2-2. 建学の理念を感じるとき

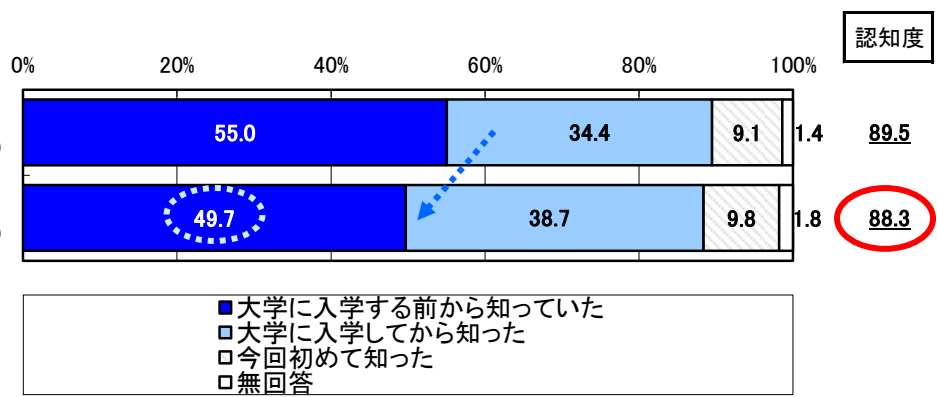
- 建学理念の認知度は、大学入学前と入学後を合わせると約9割。ただし、「大学に入学する前から知っていた」は2009年から5.3ポイント低下。
- 建学の理念を感じる機会は、『人間学』や『仏教と人間』の授業が最も高く、『授業』関連の項目が上位にあげられている。2009年と同様に学生の多くは『授業』を通じて建学の理念に触れているものと考えられる。

大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係(自分との関係、他者との関係)を重視した教育を行い、仏教ないし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。これについて、以下の設問に答えてください。

Q11-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

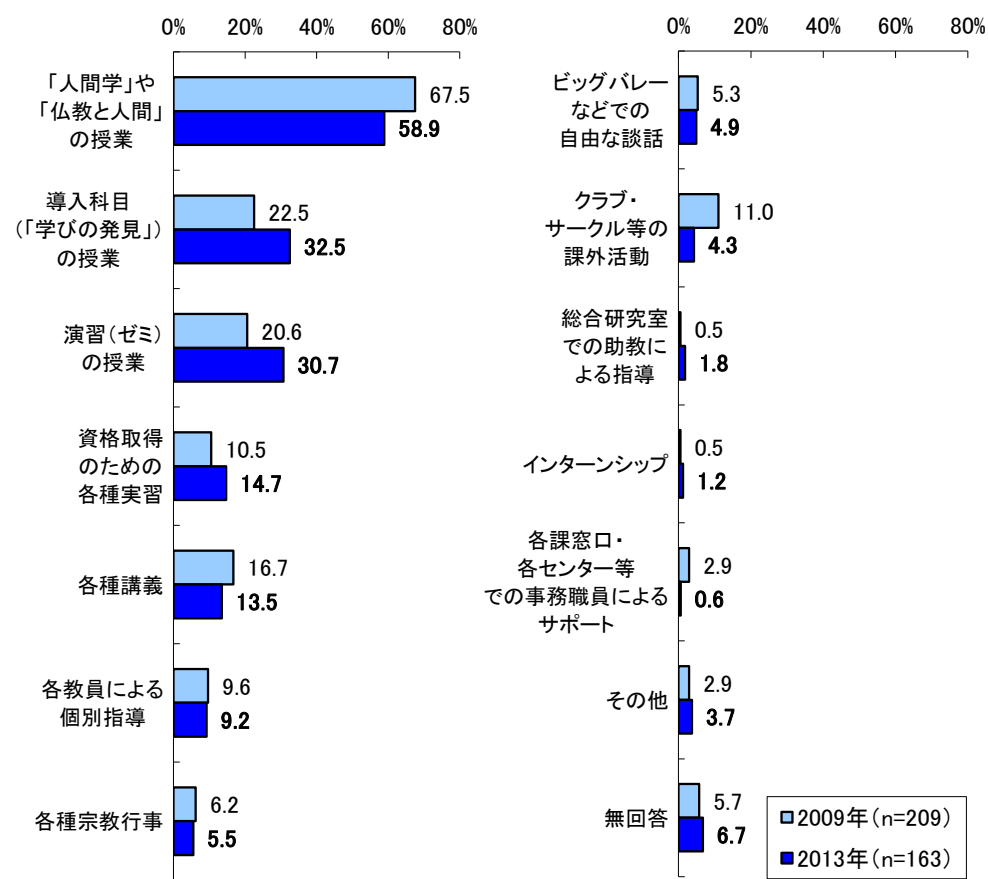
Q11-2 あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じるがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 全体



注) 認知度 = 「大学に入学する前から知っていた」 + 「大学に入学してから知った」

■ 学科別

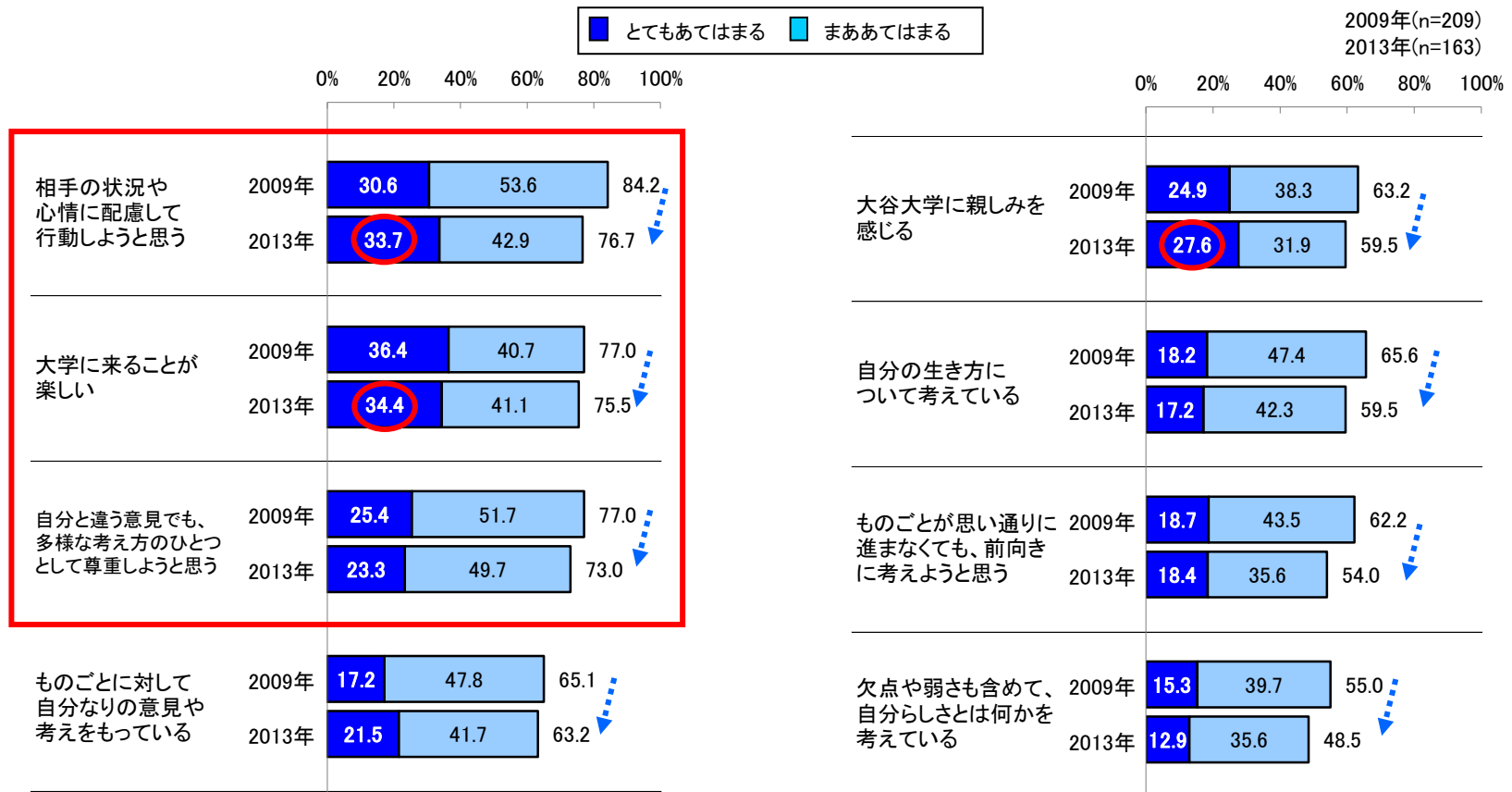


2-3. 入学後の自己認識・評価

- 入学後の自己認識・評価としては、「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」「大学に来ることが楽しい」「自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う」の3項目で7割を超える高い評価。
また、「大学に来ることが楽しい」「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」「大谷大学に親しみを感じる」では、「とてもあてはまる」という強い肯定的評価が3割前後みられる。
- しかし、2009年と比較すると、すべての項目で評価が低下している。

Q5 大谷大学に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■全体



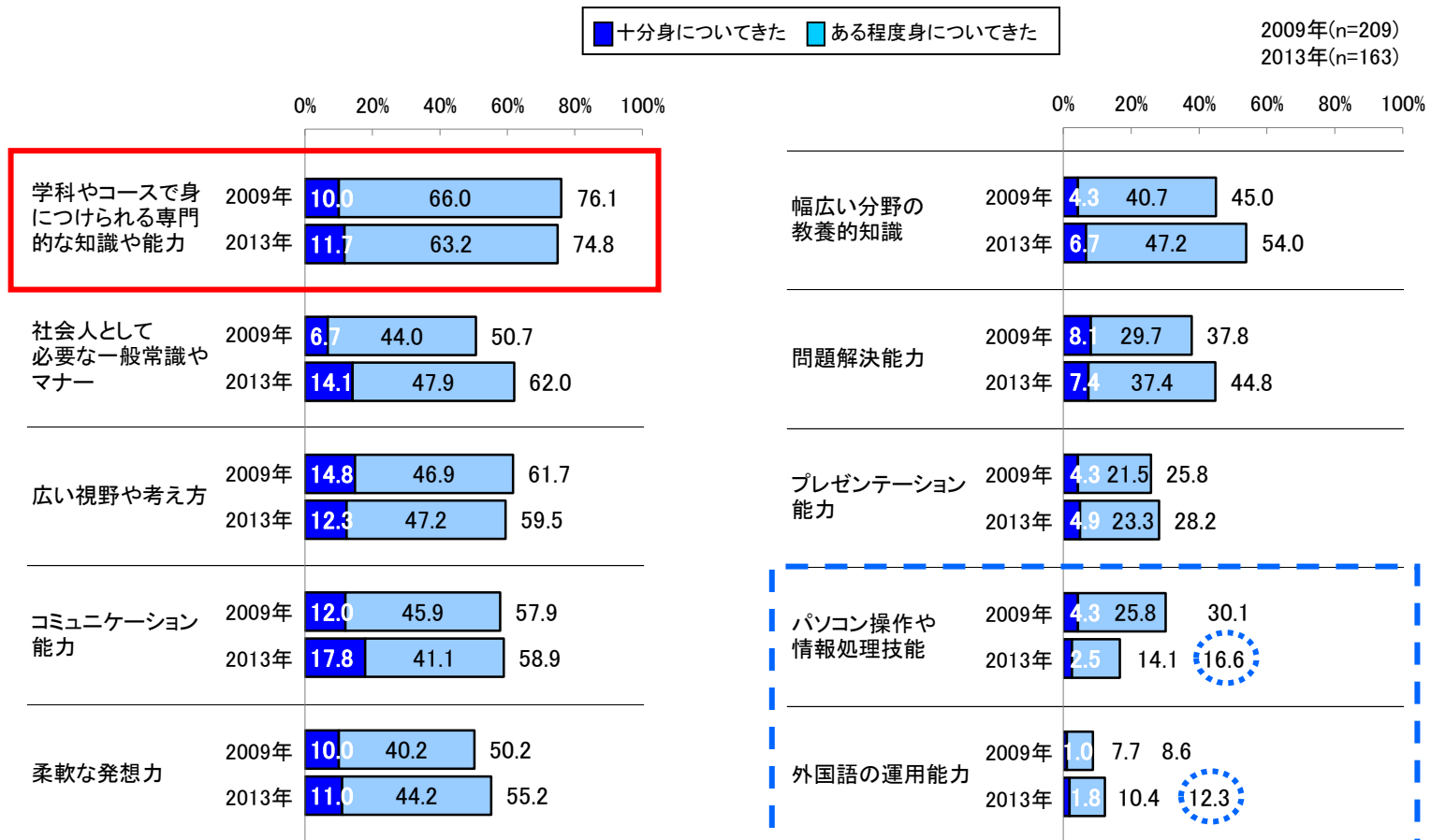
注) グラフの右側に記載されている数値は各項目に対する「評価」を示す
 評価 = 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」

2-4. 身についた能力や知識・技能

- 入学後に身についた能力や知識・技能としては「学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力」が最も高く、受験・入学の段階での『学びの内容』や『資格・免許の取得』に対する高い関心・意欲が在学中の取り組みや意識にも影響していると考えられる。
- 一方、「パソコン操作や情報処理能力」「外国語の運用能力」については肯定的評価が1割台と低く、多くの学生にとって修得感が低い状況がみられる。

Q4 あなたは、以下の能力や知識・技能について、大谷大学に入学してからこれまでの間にどの程度身についてきたと思いますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■全体



注) グラフの右側に記載されている数値は各項目の「身についた」を示す
 身についた = 「十分身についてきた」 + 「ある程度身についてきた」

3. 大谷大学での学業について

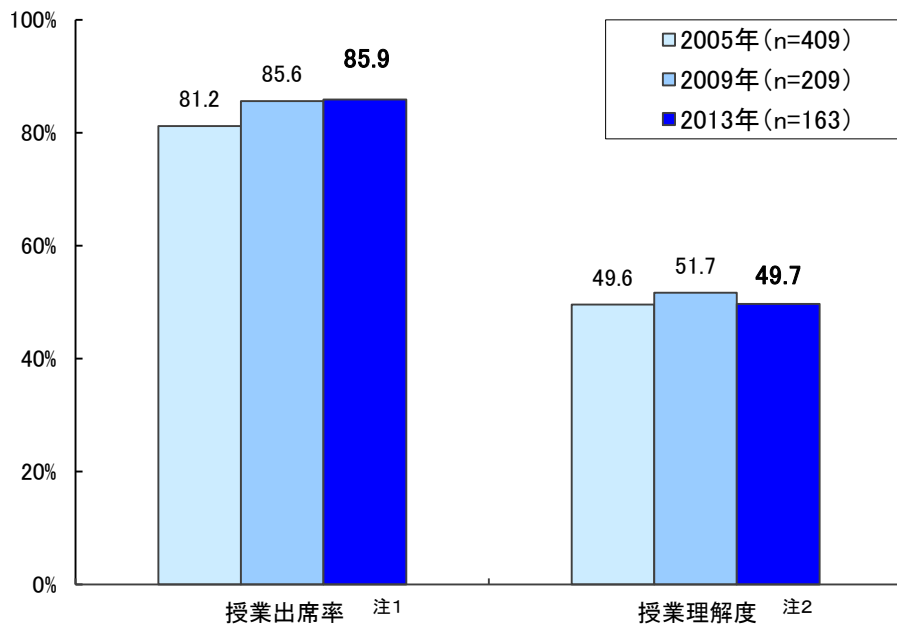
3-1. 授業出席率と授業理解度

- 授業出席率は8割を上回るが、授業理解度は約5割、授業出席率、授業理解度とも経年による変化はほとんどみられない。
- 学科別に授業出席率と授業理解度をみると、
 - 仏教科: 授業出席率、授業理解度ともに2009年より上昇。
 - 幼児教育保育科: 授業出席率、授業理解度ともに2009年より低下。

Q6 今年度のあなたの授業への平均出席率は何の程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

Q8 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 全体



注1 授業出席率=「ほとんど出席している」+「8~9割程度出席している」

注2 授業理解度=「ほぼすべての授業が理解できる」+「だいたいの授業は理解できる」

■ 学科別

		回答者数 (n)			授業出席率			授業理解度		
		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
年度		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体		409	209	163	81.2	85.6	85.9	49.6	51.7	49.7
学科別	仏教科	84	28	17	66.7	64.3	70.6	34.5	32.1	47.1
	幼児教育保育科	153	150	146	93.5	93.3	87.7	55.6	54.0	50.0

■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上低い

3-2. 授業を欠席する理由

■ 授業出席率が高水準を保っていることから、ほとんどの項目で数値は低下。

特に、「出席をとらないから」「授業内容に物足りなさを感じるから」「担当教員に不満があるから」「授業内容が理解できないから」などで2005年からの低下幅が比較的大きく、『授業内容』や『教員』に対する不満を理由に授業を欠席することは減少している様子がうかがえる。

■ 学科別にみると、幼児教育保育科では「出席をとらないから」が2009年と比べて15ポイント程度低下。

Q7 あなたが、健康状態以外で授業を欠席する理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体／学科別

		(n)			合生活わ ない か ら			重付友 視き人 す合の るか を			と出 ら 席 な い か ら			感物授 じ足業 るり内 かな容 らさ に を			重ア 視ル すバ イ ト を		
年度		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体		409	209	163	29.6	27.3	27.0	12.0	10.5	8.6	33.3	21.5	8.6	17.8	10.0	8.0	7.8	6.7	5.5
学科別	仏教科	84	28	17	36.9	46.4	29.4	10.7	7.1	5.9	19.0	14.3	5.9	9.5	10.7	11.8	6.0	0.0	5.9
	幼児教育保育科	153	150	146	23.5	24.7	26.7	9.2	12.0	8.9	39.9	24.0	8.9	17.0	8.7	7.5	4.6	6.0	5.5

		(n)			か理授 ら解業 で内 き容 な が い			か不担 ら満 が 教 員 に			かな霧ク らじ困ラ め気ス な に の			かをサク ら重ーラ 視ク す ル ・ 活 動			か機授 ら会業 が 少 発 言 の		
年度		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体		409	209	163	11.7	5.3	4.9	13.0	7.2	4.9	2.2	3.8	3.7	7.6	7.2	2.5	0.5	1.0	0.6
学科別	仏教科	84	28	17	15.5	3.6	5.9	11.9	14.3	5.9	1.2	10.7	5.9	13.1	10.7	11.8	1.2	3.6	0.0
	幼児教育保育科	153	150	146	7.8	5.3	4.8	9.8	4.0	4.8	0.0	2.7	3.4	3.3	6.7	1.4	0.0	0.0	0.7

■ 全体より5ポイント以上高い

■ 全体より5ポイント以上低い

3-3. 授業が理解できない理由

- 授業が理解できない理由としては「自分の意欲が不足しているから」が最も高く、僅差で「自分の予習や準備が不足しているから」が続く。「授業内容に興味を持たないから」は2009年から約14ポイント低下し第3位に後退。授業を理解できない理由を、授業自体ではなく、自己の『意欲』や『勉強』の不足が原因ととらえている様子が見える。
- 学科別に授業が理解できない理由をみると、仏教科では、「自分の予習や準備が不足しているから」が最も高いが、「授業内容が専門的すぎるから」が5割弱で第2位にあげられている。

Q9 あなたが受講している授業を理解できない場合、その理由は何だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 全体／学科別

		回答者数 (n)			か不 自 足 し の 意 欲 が			し準 自 て備 い が の 不 予 習 や			な興 授 業 内 容 に 興 味 が 持 て な い			す専 授 業 的 内 容 が 高 校 で 履 修 し な い		
年度		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体		409	209	163	48.4	48.3	42.3	28.9	28.2	39.3	49.6	41.1	27.0	30.6	30.6	25.8
学科別	仏教科	84	28	17	53.6	57.1	29.4	40.5	50.0	52.9	29.8	21.4	23.5	39.3	35.7	47.1
	幼児教育保育科	153	150	146	44.4	50.0	43.8	25.5	26.7	37.7	42.5	41.3	27.4	28.8	28.0	23.3
		回答者数 (n)			な助 教 員 の 指 導 が 不 十分			速授 業 の 進 み が 遅 い			多単 履 修 位 数 が 多 い			必科 履 修 の 遅 い		
年度		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体		409	209	163	26.4	21.5	15.3	10.0	12.0	12.3	10.5	8.1	11.7	8.6	7.7	10.4
学科別	仏教科	84	28	17	17.9	14.3	5.9	13.1	3.6	11.8	6.0	3.6	5.9	10.7	14.3	11.8
	幼児教育保育科	153	150	146	25.5	23.3	16.4	5.9	12.7	12.3	17.0	10.7	12.3	7.2	6.7	10.3

■ 全体より5ポイント以上高い

■ 全体より5ポイント以上低い

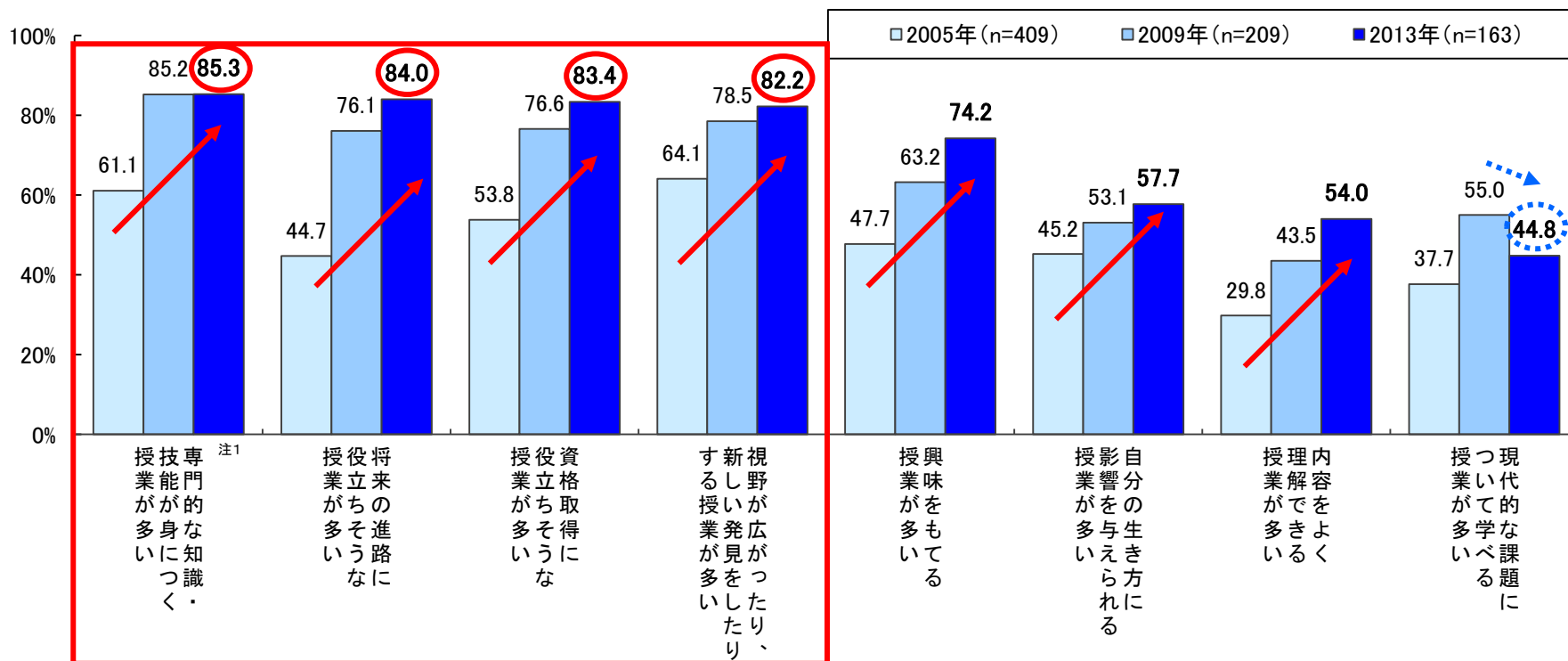
4. 各カテゴリーに対する評価

- 授業に関する8項目の中では、「専門的な知識が身につく授業が多い」が85.3%で最も高い。また「将来の進路に役立ちそうな授業が多い」「将来の進路に役立ちそうな授業が多い」「資格取得に役立ちそうな授業が多い」「視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い」の評価も8割を超えており、授業に対する評価は全体的に高い。
- 経年変化をみると、ほとんどの項目で評価が上昇しており、授業に対する評価は上昇傾向にあるといえる。ただし「現代的な課題について学べる授業が多い」は2009年より評価が低下し、唯一5割を切る。

Q10 大谷大学について、以下の項目に関して5段階で評価してください。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つにQをつけてください。

【A 大谷大学での授業について】

■全体



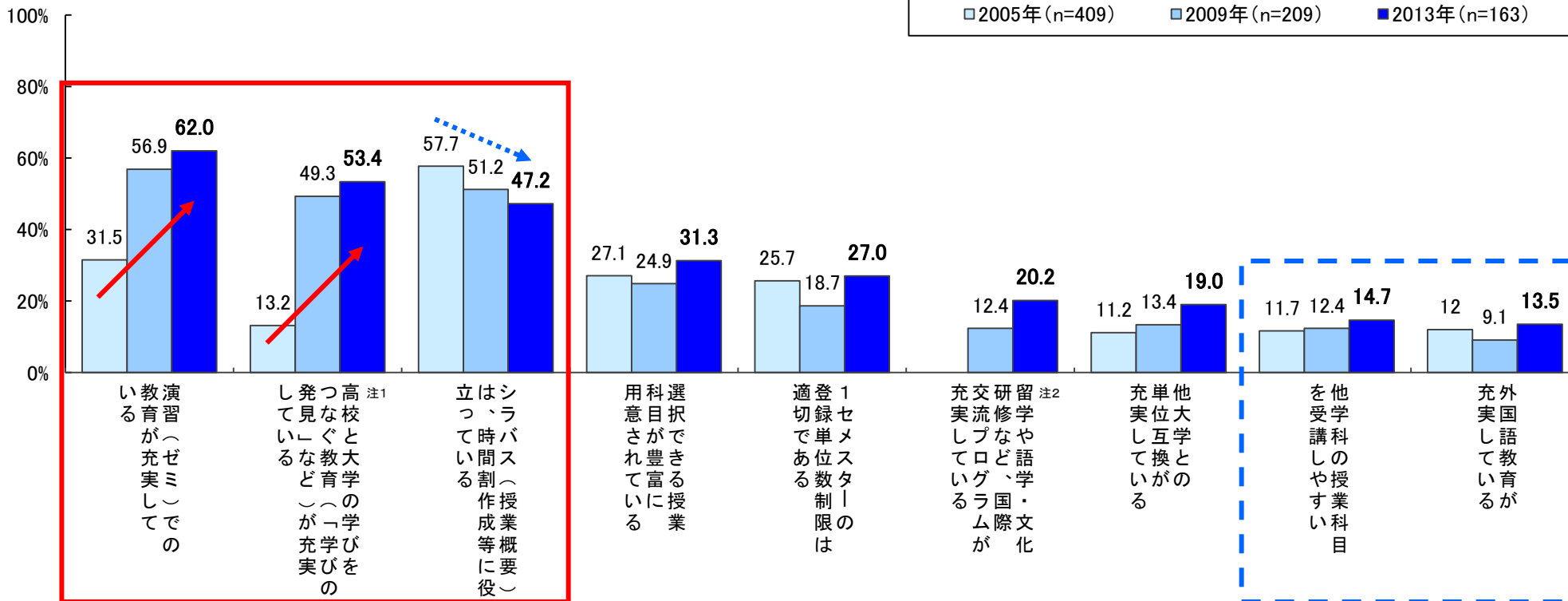
注) グラフの数値は各評価項目に対する「評価」を示す
 評価 = 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」
 Q10は以下同様

注1 2005年、2009年は「専門的な知識が身につく授業が多い」

- 学びの環境に関する評価では、「演習(ゼミ)での教育が充実している」「高校と大学の学びをつなぐ教育(「学びの発見」など)が充実している」「シラバス(授業概要)は、時間割作成等に役立っている」の3項目が上位。この3項目以外の6項目では評価は3割以下で、特に「他学科の授業科目を受講しやすい」「外国語教育が充実している」は1割強にとどまる。
- 経年の推移をみると、上位2項目をはじめ、概ね評価は上昇傾向にあるが、3位の「シラバス(授業概要)は、時間割作成等に役立っている」の評価は低下しており、その結果2013年の評価は5割に満たない。

【B 大谷大学での学びの環境について】

■全体



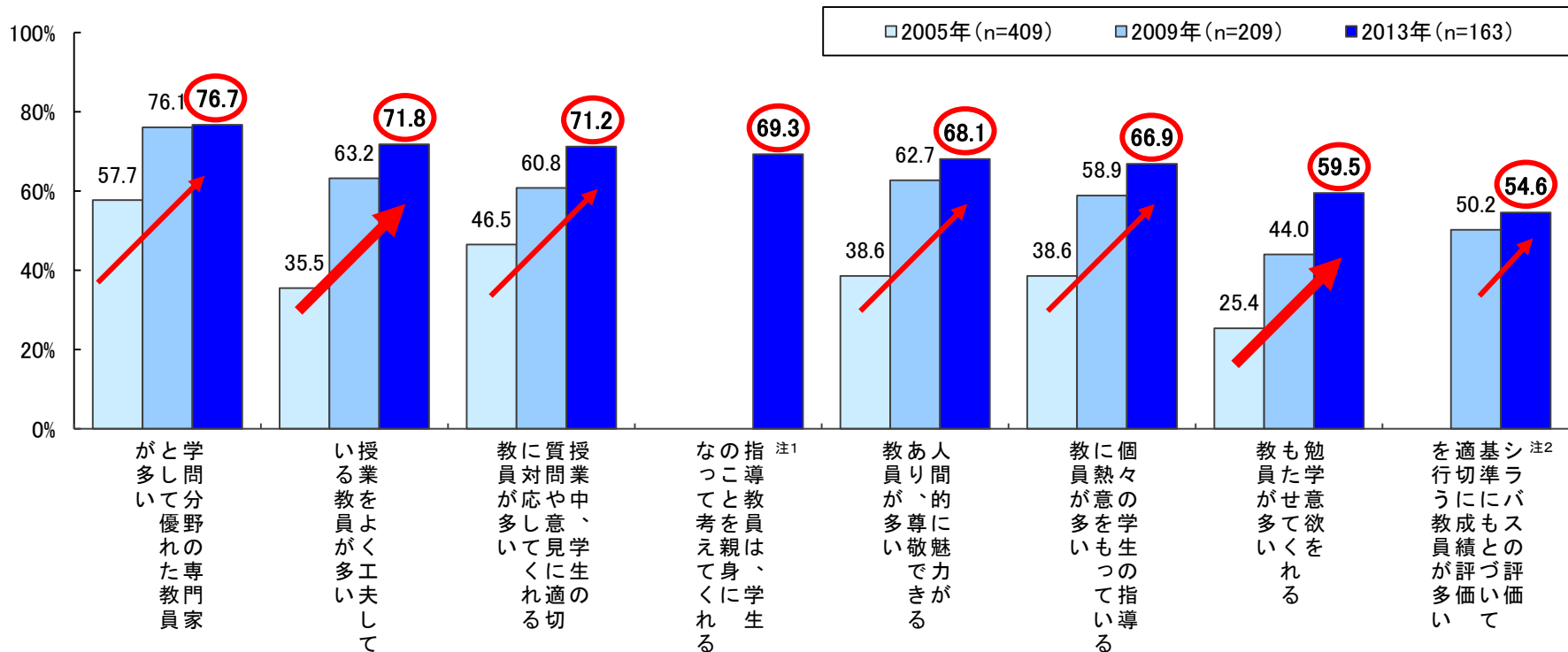
注1 2005年は「高校の勉強と大学の学びをスムーズにつなぐ教育が充実している」

注2 2009年に新しく追加された項目

- 教員に関する8項目の中では、第1位の「学問分野の専門家として優れた教員が多い」を筆頭に、すべての項目で評価が5割を超え、教員に対する評価は全体的に高いといえる。
- 経年の推移をみても、すべての項目で評価は上昇。特に「授業をよく工夫している教員が多い」「勉学意欲をもたせてくれる教員が多い」に対する評価は2005年と比べ倍増しており、教員に対する評価は大きく上昇していると考えられる。

【C 大谷大学の教員について】

■全体



注1 2013年に新しく追加された項目

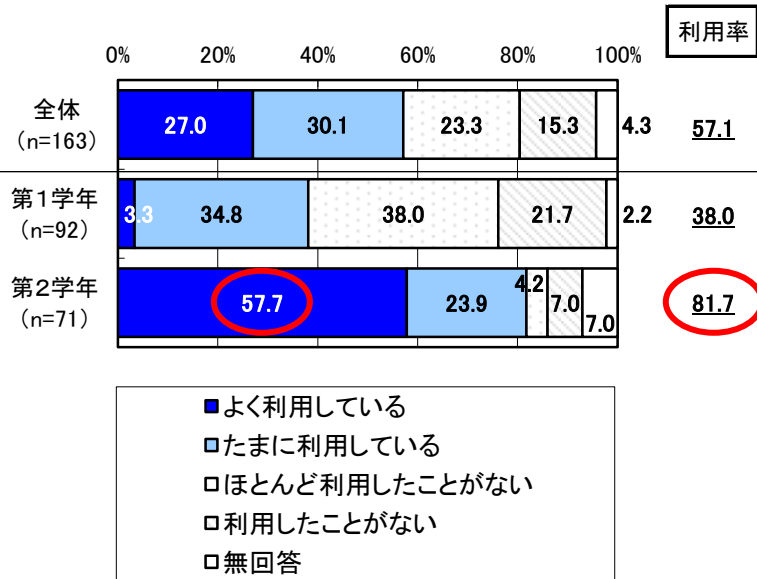
注2 2009年に新しく追加された項目

4-4. 進路・就職サポート体制の評価

- キャリアセンターの利用率は6割弱だが、学年別にみると、第2学年では利用率は8割を超えており、「よく利用している」が6割近くを占める。
- 利用しない理由としては、半数近くが「利用の仕方がわからないから」と回答しており、特に第1学年でその傾向が強い。早い段階からキャリアセンターの存在や利用方法について十分に周知させることが必要と考えられる。

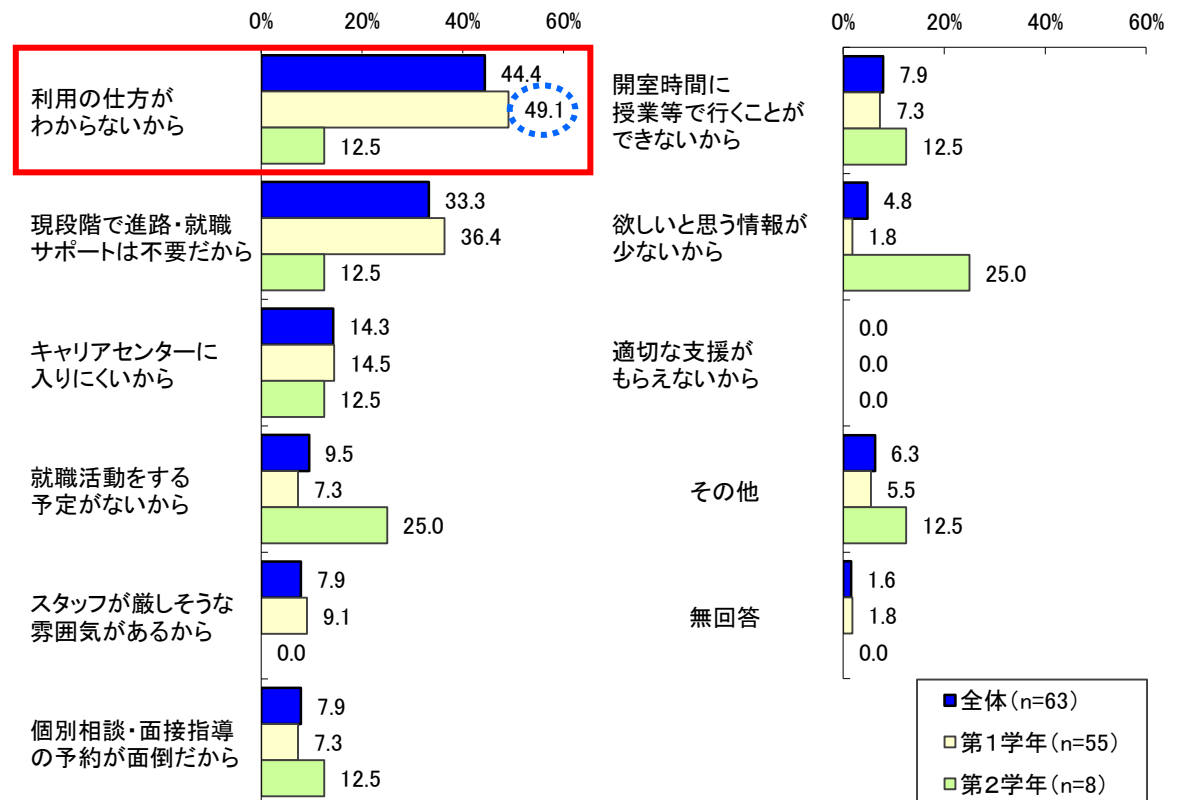
問. あなたは、キャリアセンターを利用したことがありますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 全体／学年別



問. 「3. ほとんど利用したことがない」「4. 利用したことがない」に○をつけた方にお聞きます。
利用しない理由は何ですか。

■ 全体／学年別

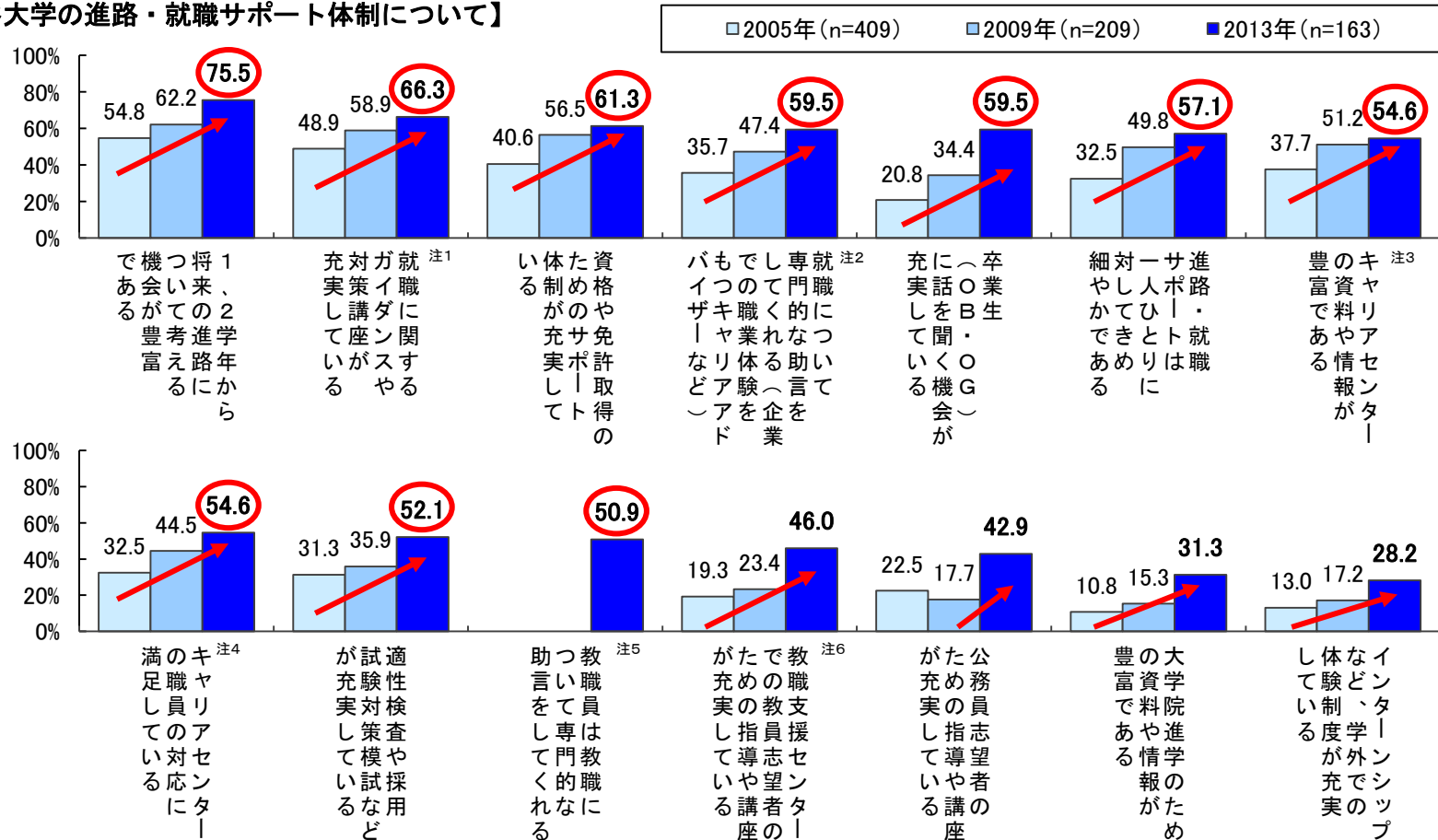


4-4. 進路・就職サポート体制の評価

- 進路・就職サポート体制について、最も評価の高かった項目は「1、2学年から将来の進路について考える機会が豊富である」(75.5%)。次いで「就職に関するガイダンスや対策講座が充実している」「資格や免許取得のためのサポート体制が充実している」の評価が6割を超えるなど、14項目中10項目で評価が5割を超える。
- 経年の推移をみても、すべての項目で評価は上昇しており、進路・就職サポート体制に対する評価は上昇傾向にあるといえる。

【E 大谷大学の進路・就職サポート体制について】

■ 全体



注1 2005年は「就職に関するガイダンスが充実している」

注2 2005年、2009年は「就職について専門的な助言をしてくれる職員が充実している(企業での職業体験をもつキャリアアドバイザーなど)」

注3 2005年は「進路就職センターの資料や情報が豊富である」

注4 2005年は「進路就職センターの職員の対応に満足している」

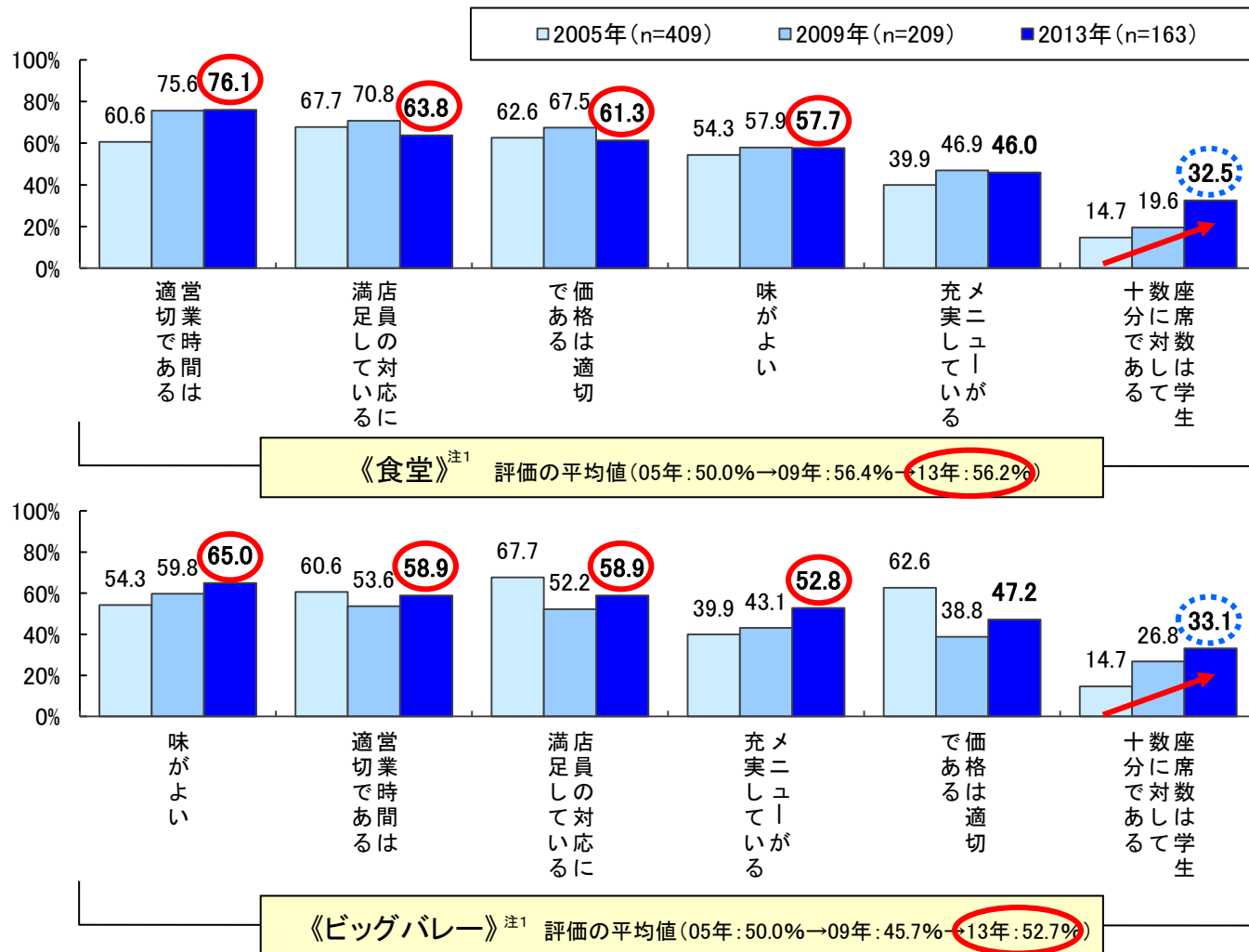
注5 2013年に新しく追加された項目

注6 2005年、2009年は「教員志望者のための指導や講座が充実している」

4-5. 福利厚生施設・設備などの評価

- 学生の福利厚生を目的とした施設・設備について評価の平均値を比較すると、第1位は《学内コンビニエンスストア》(平均68.9%)、第2位は《食堂》(平均56.2%)、第3位は《ビッグバレー》(52.7%)。反対に評価の低い施設は《談話室1号館1階》(30.9%)。
- 《食堂》《ビッグバレー》とも、ほとんどの項目で評価が5割を超えるが、「座席数」に対する評価は上昇がみられるとはいえ、依然として3割台と低い。

■全体

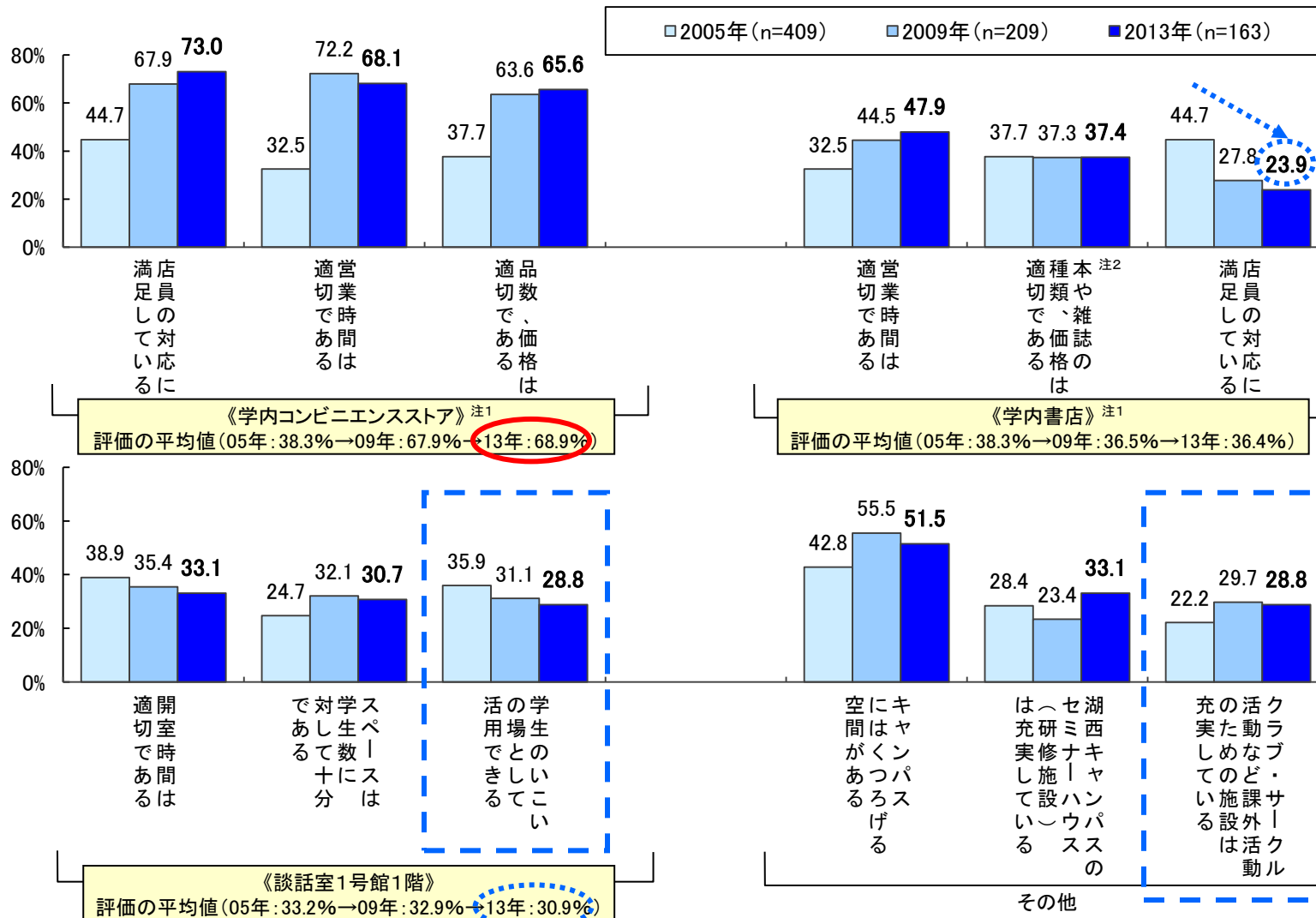


注1 2005年は「食堂・ビッグバレー」を一つの項目として質問した

4-5. 福利厚生施設・設備などの評価

- 《学内書店》については、「店員の対応」に対する評価が特に低く、評価は低下が続いている。
- 《談話室1号館1階》では「学生のいこいの場として活用できる」、《その他》では、「クラブ・サークル活動など課外活動のための施設は充実している」の評価が3割に届かず、低い。

■全体



4-6. 教育施設・設備などの評価

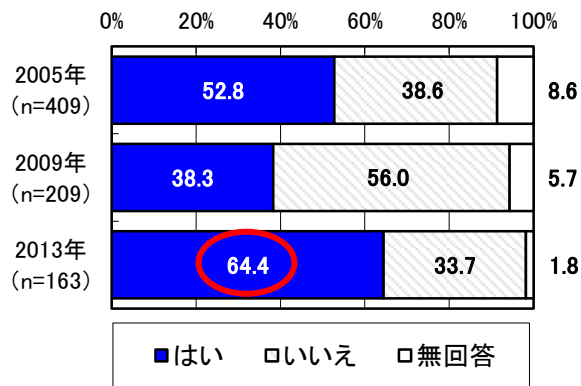
- 《図書館》の利用率は64.4%。設問文が異なるため参考値としての比較になるが、2009年と比べ26.1ポイント上昇。しかし、利用者の評価はすべての項目で2009年より低下。
- 図書館を利用しない理由としては、「行く機会や用事がない」などのほかに、「読みたい本や幼児教育の本が少ない」といった蔵書に対する不満もあげられている。

《図書館》

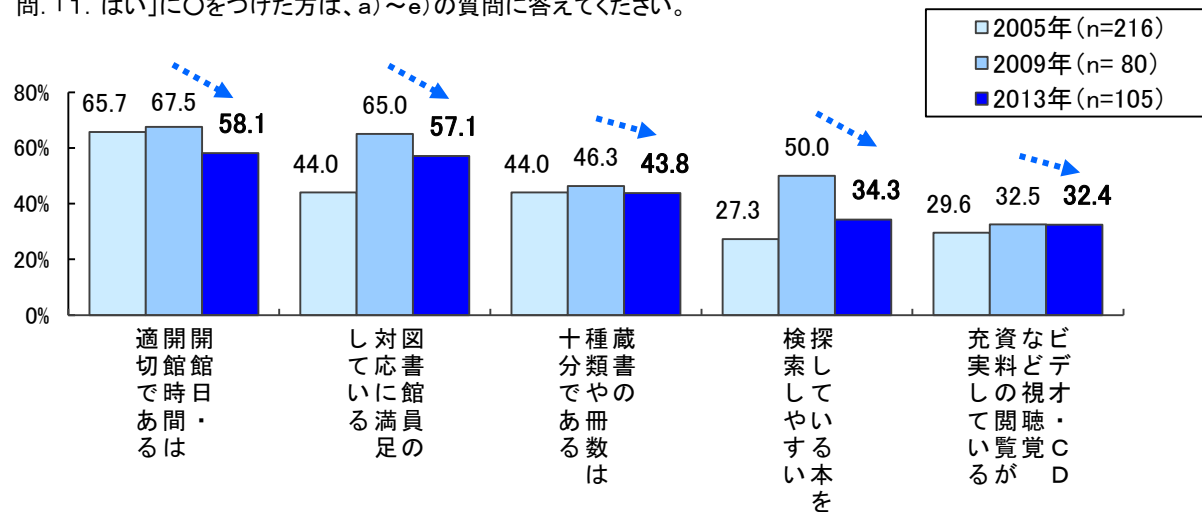
問. あなたは《図書館》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの問に回答してください。

※ 2005年、2009年は「あなたは《図書館》をよく利用しますか。」

■ 全体



問. 「1. はい」に○をつけた方は、a)~e)の質問に教えてください。



問. 「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

図書館を利用しない理由	件数
行く機会がないから	9
行く用事がないから	6
必要がない	6
一般研究室を利用するから	4
読みたい本が少ない	3
幼児教育の本が少ない	3
時間がない	2
試験・勉強以外では利用しない	2
地域の図書館を利用しているから	2

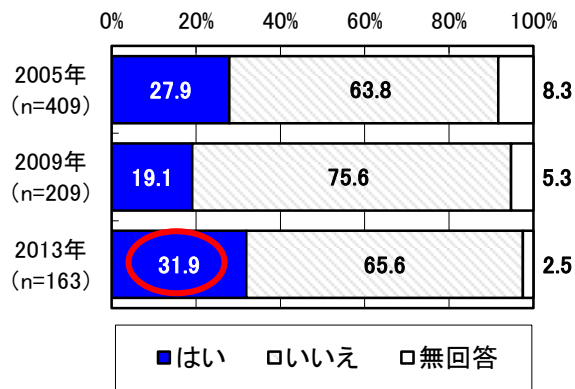
- 《総合研究室》の利用率は31.9%。利用者の評価はいずれも5割前後だが、「開室時間は適切である」は2009年より18.7ポイント評価が低下。
- 利用しない理由としては、「場所・存在自体知らない」「何をやる場所か知らない」といった回答が多く、短期大学の学生には総合研究室の存在はあまり認知されていない様子。

《総合研究室》

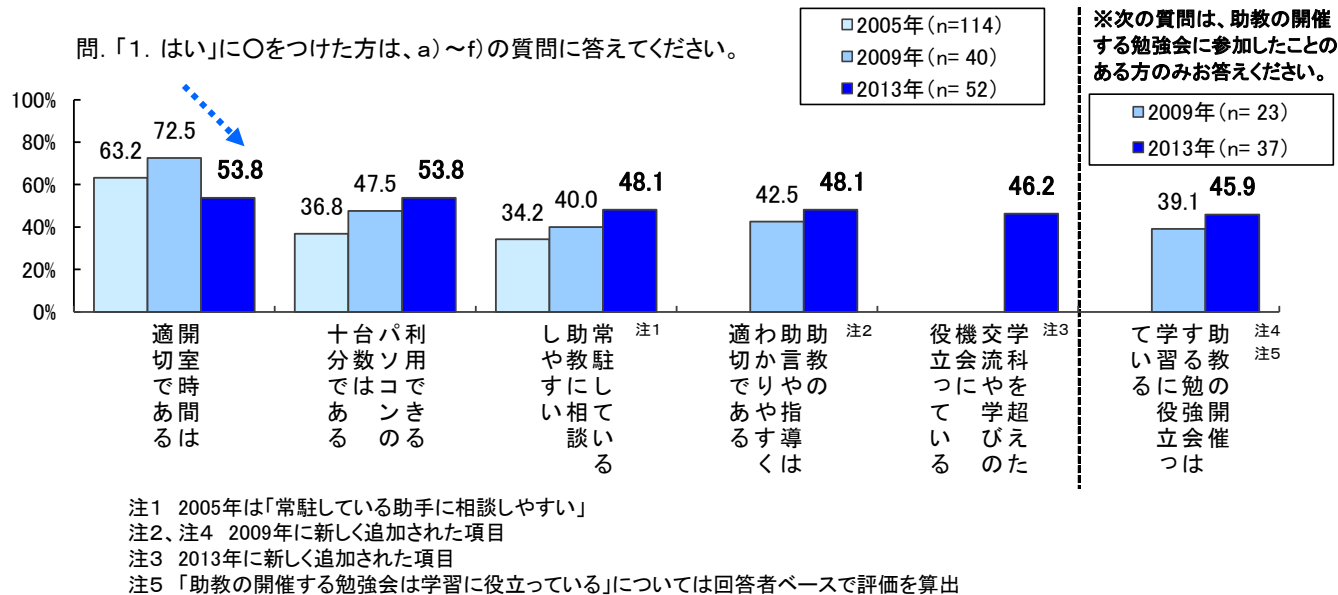
問. あなたは《総合研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの問に回答してください。

※ 2005年、2009年は「あなたは《総合研究室》をよく利用しますか。」

■ 全体



問. 「1. はい」に○をつけた方は、a)～f)の質問に教えてください。



問. 「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

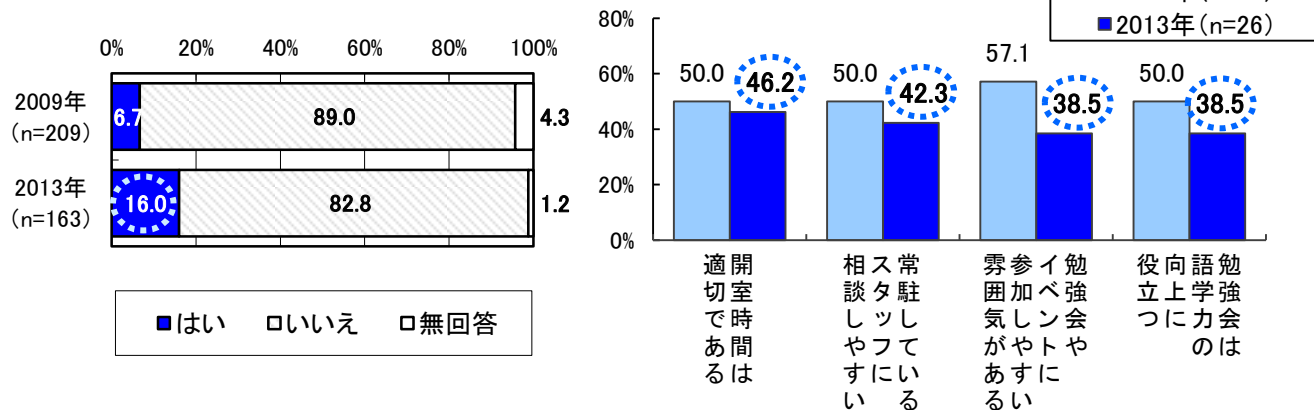
総合研究室を利用しない理由	件数
場所を知らないから	16
存在自体知らない	14
行く機会がないから	10
必要がないから	10
利用しない	8
一般研究室などを利用するから	3
特に理由はない	2
何をやる場所か知らないから	2
用事や目的がない	2

- 《GLOBAL SQUARE》の利用率は1割台で、利用者の評価も4割前後と低下傾向。利用しない理由としては「場所や存在自体知らない」「何に使うかわからない」という回答が多く、《GLOBAL SQUARE》の存在や施設の目的・活動内容などを知らない学生が多いものと推察される。
- 《教職支援センター》の利用率は21.5%。利用者の評価は各項目も6割前後と、比較的高い。利用しない理由は、「存在自体知らない・何に使うかわからない」が多数あげられている。

《GLOBAL SQUARE》

問. あなたは《GLOBAL SQUARE》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。※ 2009年は「あなたは《GLOBAL SQUARE》をよく利用しますか。」

■全体



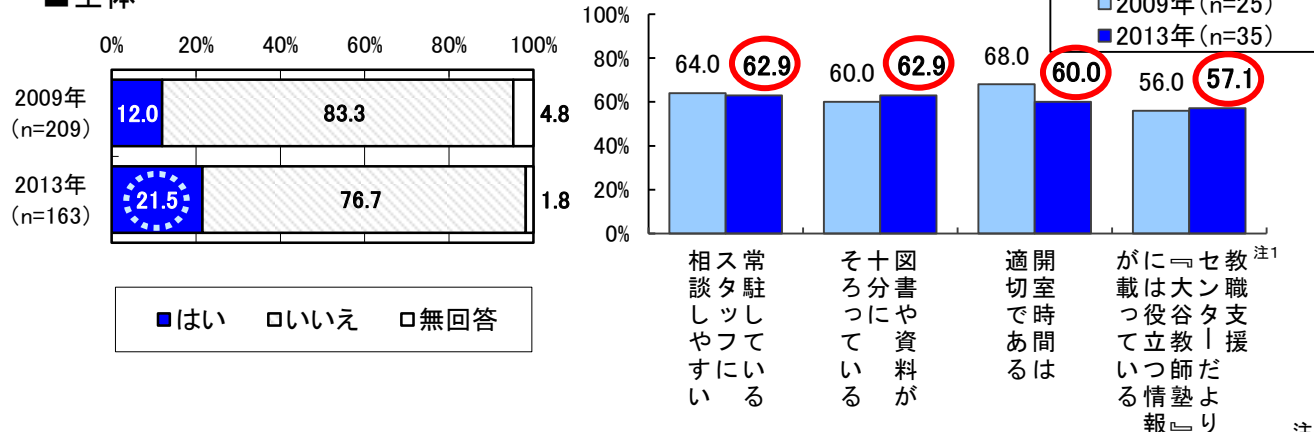
GLOBAL SQUAREを利用しない理由	件数
存在自体知らない・何に使うかわからない	37
場所を知らないから	10
行く機会がないから	8
利用したことがない・行かないから	7
必要がないから	5
利用する時間がない	3
興味・関心がない	3
特に理由はない	2

《教職支援センター》

問. あなたは《教職支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

※ 2009年は「あなたは《教職支援センター》をよく利用しますか。」

■全体



教職支援センターを利用しない理由	件数
存在自体知らない・何に使うかわからない	28
利用したことがない・行かないから	8
必要がないから	6
行く機会がないから	5
関係がないから	5
特に理由はない	2
行く用事や目的がないから	2

注1 2009年は「教職センターだよりには役立つ情報が載っている」

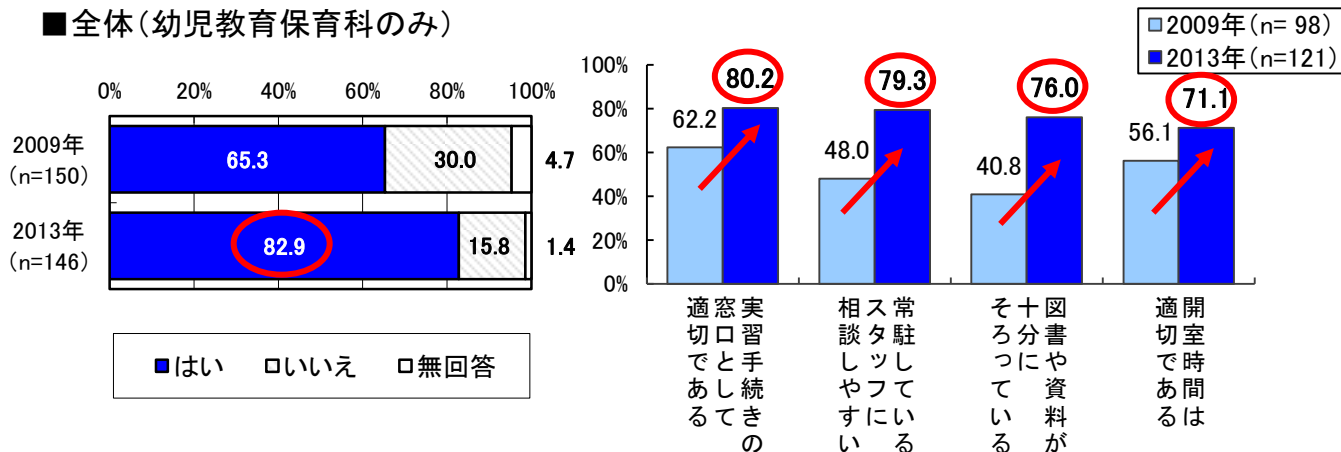
4-6. 教育施設・設備などの評価

- 幼児教育保育科の《実習支援センター》の利用率は高く8割を超える。利用者の評価も7～8割と高く、2009年より大きく評価は上昇。
- 《一般研究室》の利用率は9割を上回り、ほとんどの学生に利用されている。利用者の評価も高く、「常駐している助教や室員に相談しやすい」は約9割にのぼる。

《実習支援センター》 問. 社会学科社会福祉学コースと短期大学部幼児教育保育科の方にお聞きます。
あなたは《実習支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

※ 2009年は「あなたは《実習支援センター》をよく利用しますか。」

■全体(幼児教育保育科のみ)

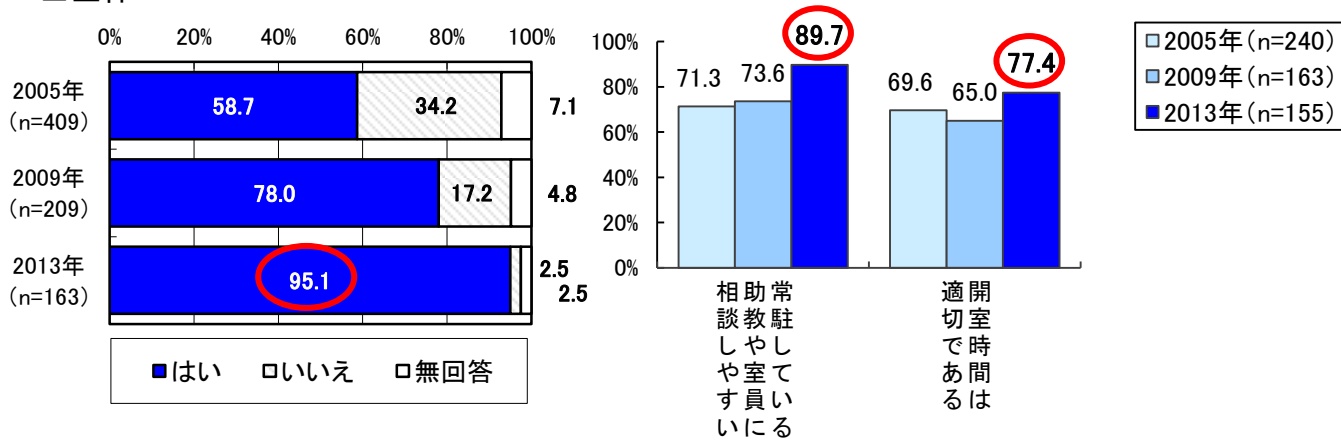


実習支援センターを利用しない理由	件数
行く機会がないから	4
利用したことがない・行かないから	2

《一般研究室》 問. あなたは、短期大学部の《一般研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

※ 2009年は「あなたは《一般研究室》をよく利用しますか。」

■全体

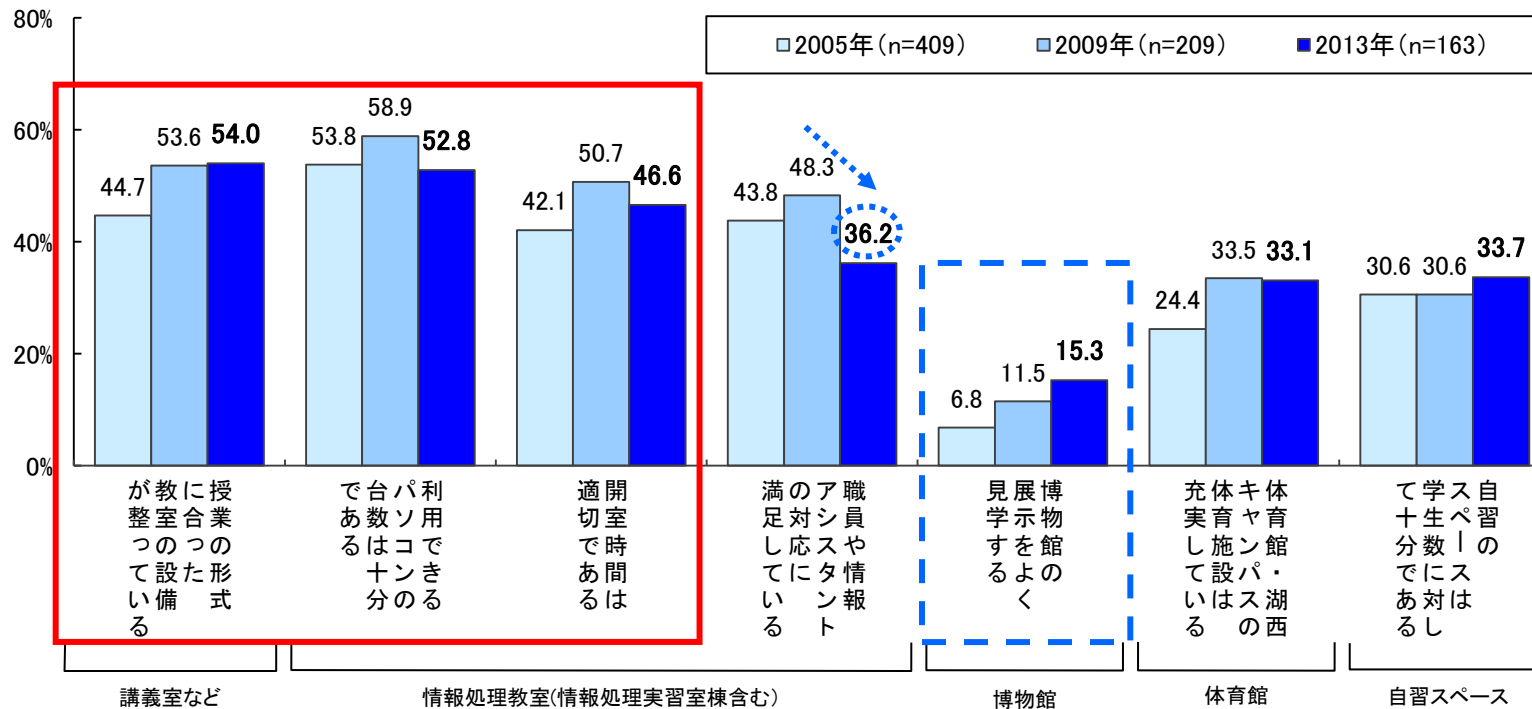


一般研究室を利用しない理由	件数
特に理由はない	1

- 教育施設・設備の中では、《講義室など》と《情報処理教室(情報処理実習室棟含む)》の評価が5割前後で比較的高い。ただし、《情報処理教室(情報処理実習室棟含む)》の「職員や情報アシスタントの対応に満足している」に対する評価は3割台と、2009年と比べて大きく低下している。
- 一方、《博物館》の評価は、上昇しているとはいえ1割台で低く、利用者が限定されていると考えられる。

【G 大谷大学の教育施設・設備などについて】

■全体



4-7. 教育・学生生活のサポート体制の評価

<教育に関するサポート体制>

- 学生に対する情報提供・相談体制に関連した項目が5割前後で上位にあげられる。一方、『TA』に関する項目は1割台の評価。
- 経年の推移をみると、概ね評価は2009年から上昇または横ばい傾向。

<学生生活に関するサポート体制>

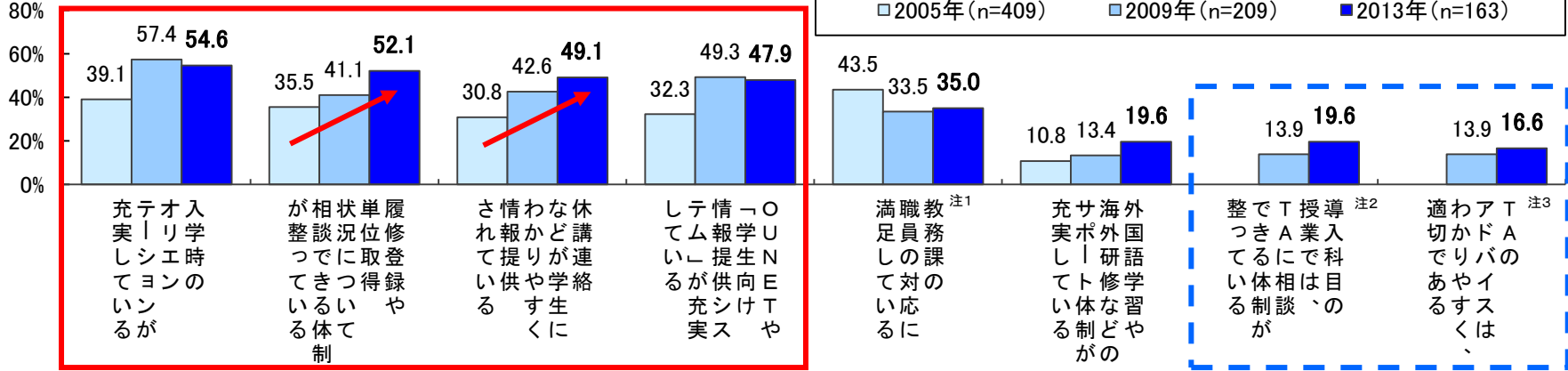
- 評価が上昇傾向にある項目が多いが、それでもすべての項目で評価が5割を下回り、評価は全体的に低い。これらのサポートの存在自体が学生に十分に認知されていない可能性が考えられる。

【D 大谷大学の教育・学生生活のサポート体制について】

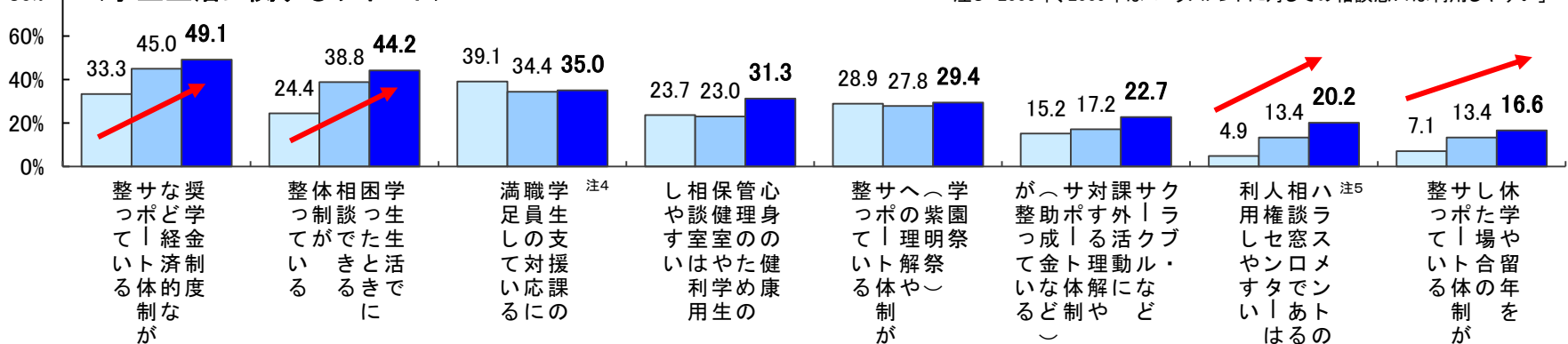
注1 2005年は「教務部の職員の対応に満足している」
 注2、注3 2009年に文学部生からの評価を目的として新しく追加された項目であるが、短期大学部ではTA制度は実施されていないため参考として記載

■ 全体

<教育に関するサポート>



<学生生活に関するサポート>

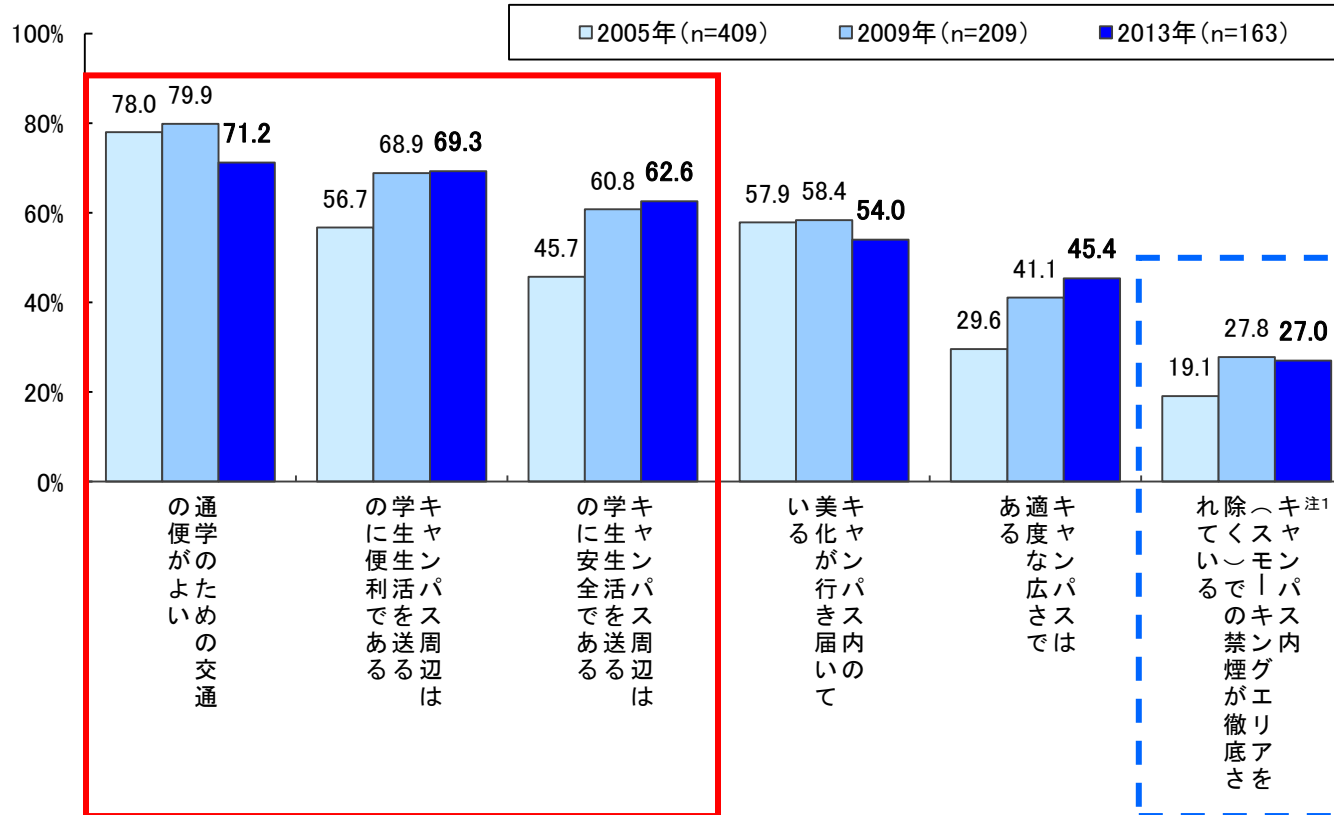


注4 2005年は「学生課の職員の対応に満足している」
 注5 2005年、2009年は「ハラスメントに対する相談窓口は利用しやすい」

- 最も評価の高い項目は「通学のための交通の便がよい」で、次いで「キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である」「キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である」と『大学の立地』に関連する項目の評価が高い。
- 「キャンパス内(スモキングエリアを除く)での禁煙が徹底されている」の評価は2割台と、依然として低い。

【H その他】

■ 全体



注1 2005年、2009年は「キャンパス内での喫煙マナーがよい」

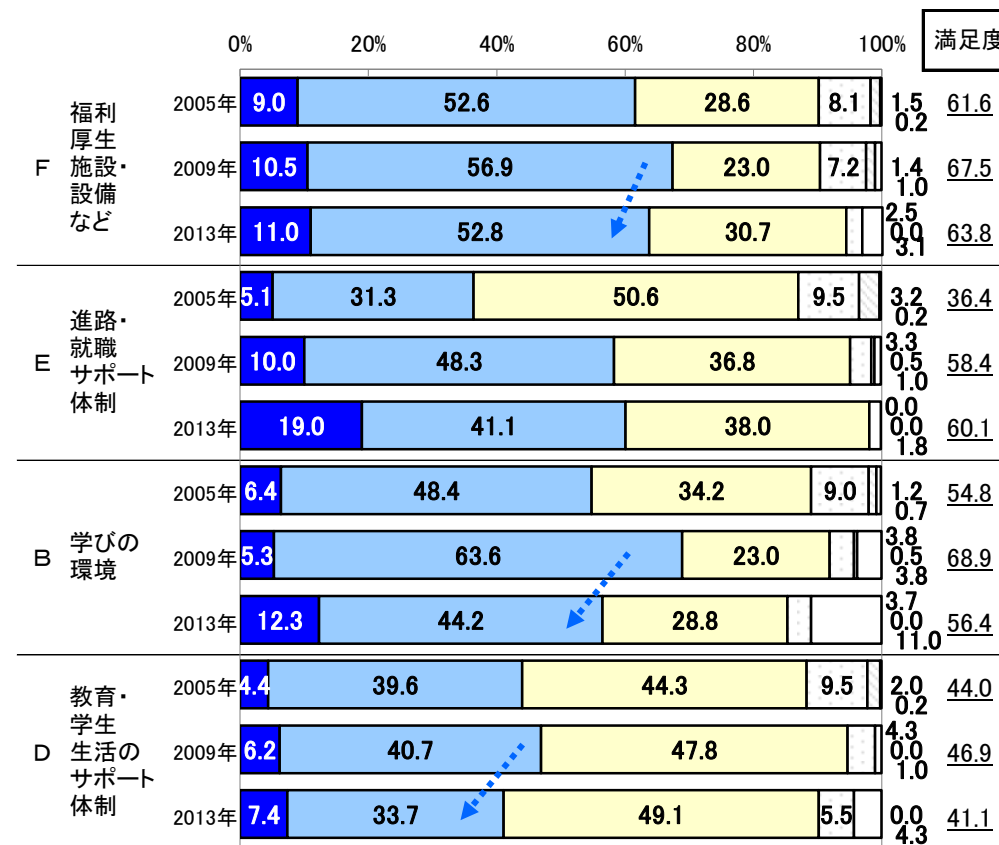
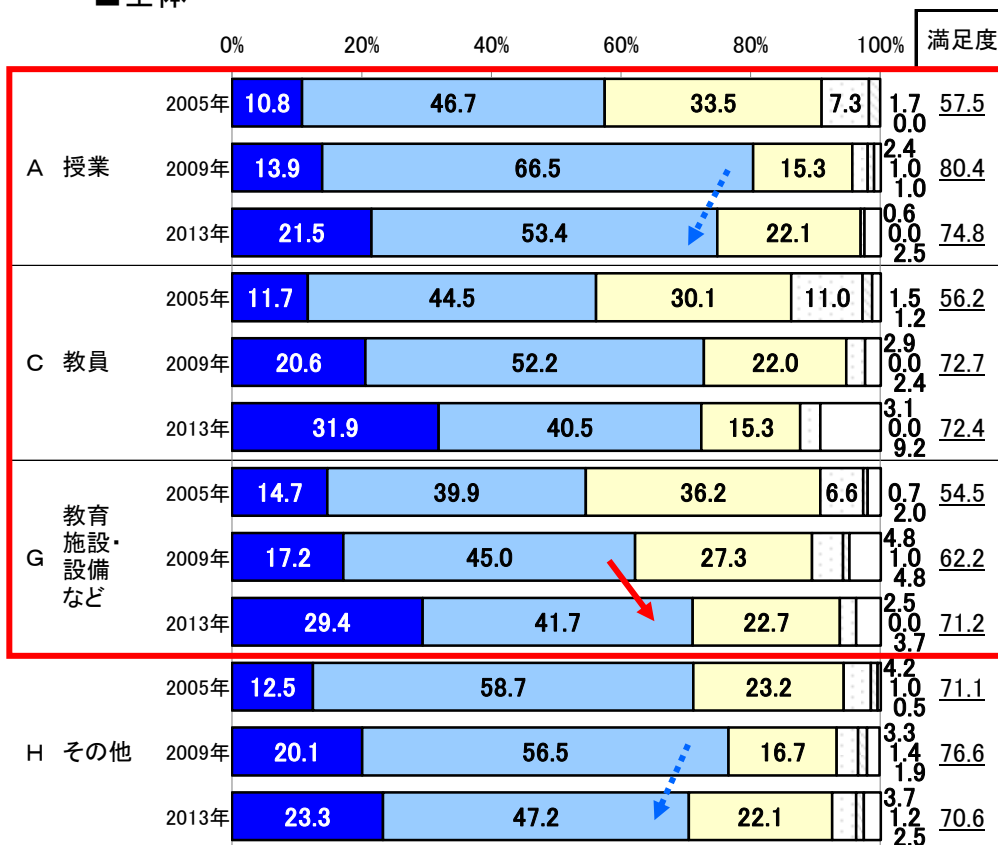
5. 大谷大学に対する満足度

5-1. 各カテゴリーの満足度

- ほとんどのカテゴリーで満足度は5割を上回り、特に上位3項目の「A. 授業」「C. 教員」「G. 教育施設・設備など」では7割を超える。
- しかし経年の推移をみると、「G. 教育施設・設備など」の満足度が2009年より9.0ポイント上昇している以外は、横ばいあるいはやや低下傾向。特に項目間の評価差が大きかった「B. 学びの環境」では満足度は10ポイント以上低下している。

■ とても満足している □ まあ満足している □ どちらともいえない □ あまり満足していない □ まったく満足していない □ 無回答

■ 全体



注) 満足度 = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」

5-1. 各カテゴリーの満足度（学科別）

■ 学科別にみると

- 仏教科「E. 進路・就職サポート体制」の満足度が4割台と、全体と比べて20ポイント程度低い。
- 幼児教育保育科：2009年と比べて満足度が低下したカテゴリーが多く、特に「B. 学びの環境」「D. 教育・学生生活のサポート体制」では10ポイント前後の低下がみられる。

■ 学科別

		回答者数 (n)			A			C			G			H		
					授業			教員			設備な施設			その他		
年度		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体		409	209	163	57.5	80.4	74.8	56.2	72.7	72.4	54.5	62.2	71.2	71.1	76.6	70.6
学科別	仏教科	84	28	17	60.7	78.6	64.7	71.4	78.6	64.7	60.7	67.9	76.5	59.5	75.0	76.5
	幼児教育保育科	153	150	146	75.2	84.7	76.0	77.8	76.7	73.3	72.5	66.0	70.5	83.0	76.7	69.9

		回答者数 (n)			F			E			B			D		
					な施設福 ど設利 ・厚 設生 備			体サ進 制ホ ト就 職			学 び の 環 境			体サ学教 制ホ生 生 ト活 の		
年度		05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年	05年	09年	13年
全体		409	209	163	61.6	67.5	63.8	36.4	58.4	60.1	54.8	68.9	56.4	44.0	46.9	41.1
学科別	仏教科	84	28	17	45.2	60.7	64.7	17.9	25.0	41.2	46.4	64.3	52.9	33.3	35.7	41.2
	幼児教育保育科	153	150	146	71.2	71.3	63.7	45.1	64.7	62.3	69.3	72.0	56.8	54.9	50.0	41.1

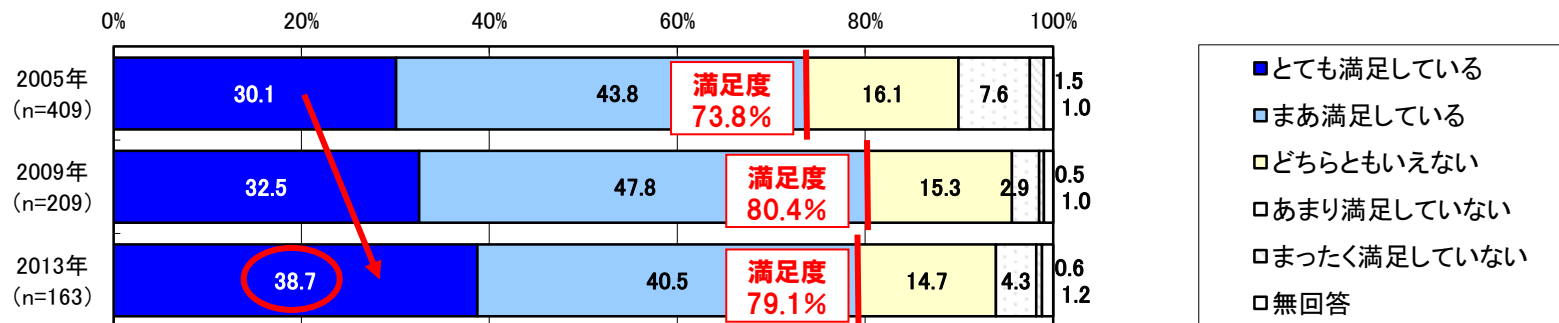
注) グラフ中の数値は各カテゴリーに対する「満足度」を示す
 満足度 = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」
■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上低い

5-2. 現在の満足度

- 大谷大学に対する現在の満足度は79.1%で、2009年からほぼ横ばいで推移しているが、「とても満足している」の割合は少しずつ上昇を続けており、2013年は4割近くにのぼる。
- 学科別にみると、仏教科、幼児教育保育科ともに現在の満足度は7割を超えるが、幼児教育保育科では2005年から比較すると、やや低下傾向がうかがえる。

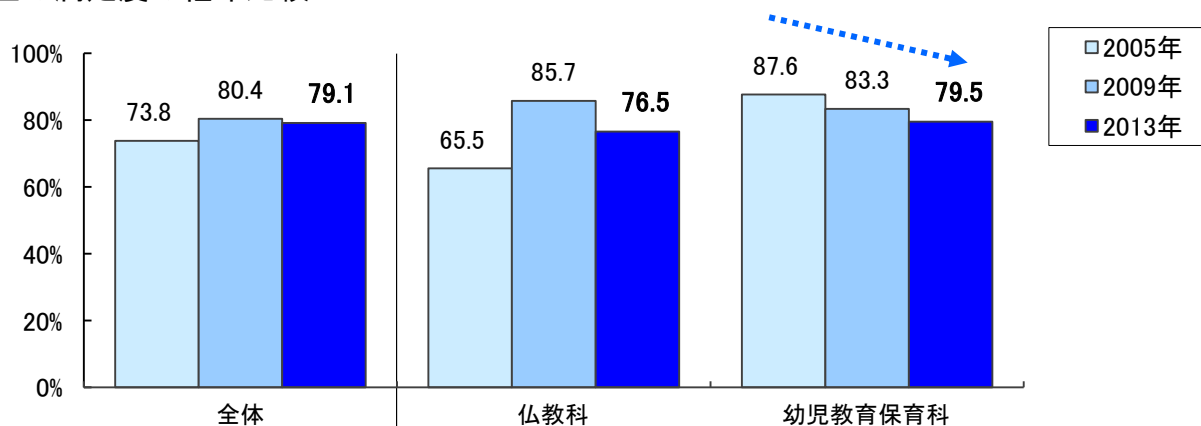
Q12 あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

■ 全体



注) 満足度 = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」

■ 学科別 現在の満足度の経年比較



注) グラフ中の数値は各年の「現在の満足度」

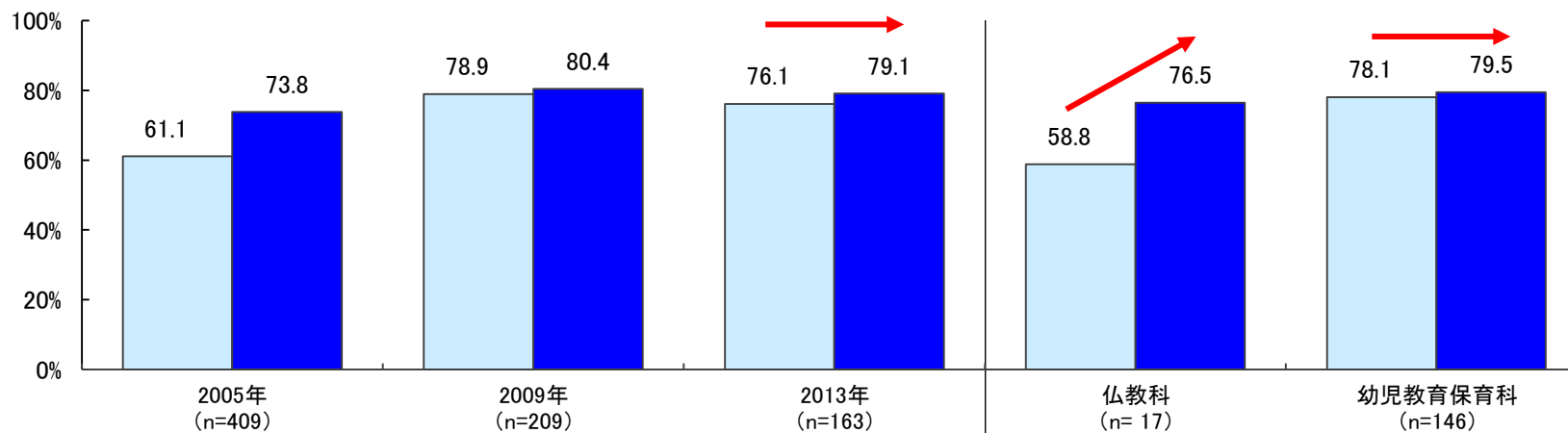
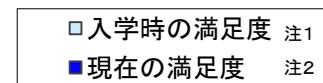
5-3. 入学時の満足度と現在の満足度の比較

- 入学時の満足度と現在の満足度にはほとんど差がなく、入学時の高い期待がおのまま現在の高い満足度につながっていると考えられる。
- 学科別にみると、
 - 仏教科: 満足度の変化量は17.7ポイントと大きく、入学時に比べ、現在の満足度が向上しているものと推察される。
 - 幼児教育保育科: 入学時の満足度と現在の満足度のどちらも8割弱と高い水準で推移しており、ほとんど差はみられない。

入学時の満足度と現在の満足度の比較

■ 全体

■ 学科別(2013年)



満足度の変化量^{注3} +12.7

+1.5

+3.0

+17.7

+1.4

注1 入学時の満足度＝「ぜひ入学したいと思った」＋「まあ満足して入学した」

注2 現在の満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

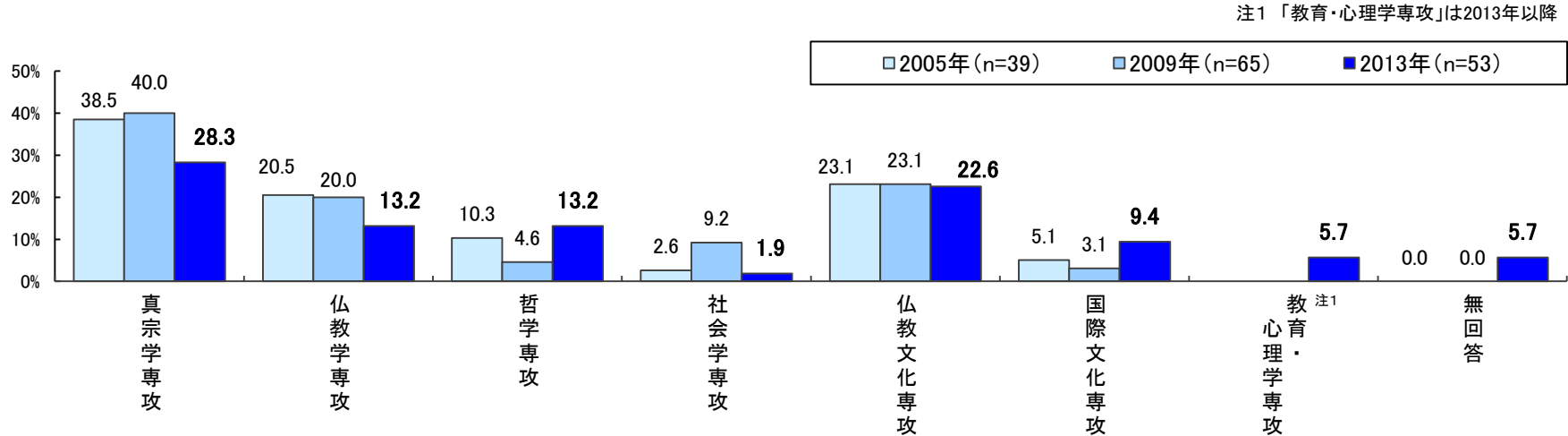
注3 満足度の変化量＝「現在の満足度」－「入学時の満足度」

【 大 学 院 編 】

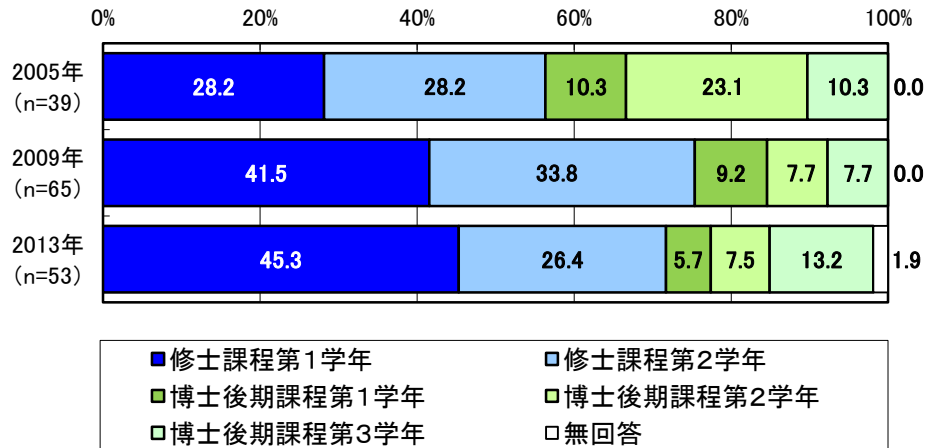
※経年比較の際の注意点

大学院編は例年回答者数自体が少なく、また、回答者の所属研究科・専攻、学年、出身大学等の構成比も年度によって大きな差がみられる。このことが全体結果の変化にも影響していると考えられ、2005年、2009年からの全体数値の変化の読み取りの際には、注意が必要。

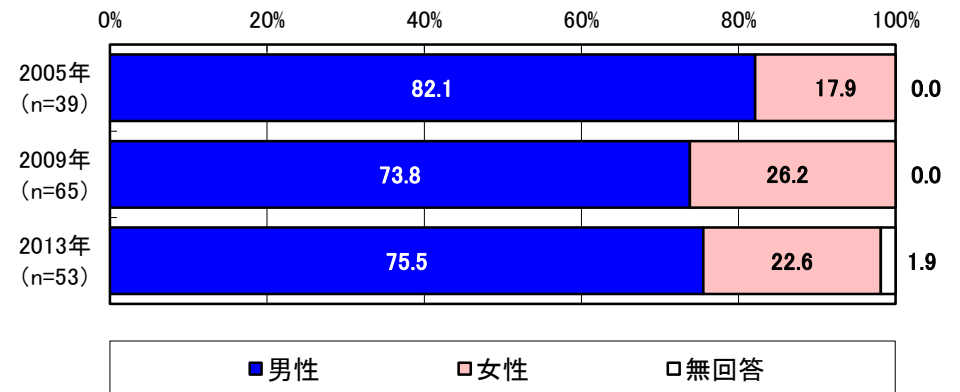
●所属研究科・専攻



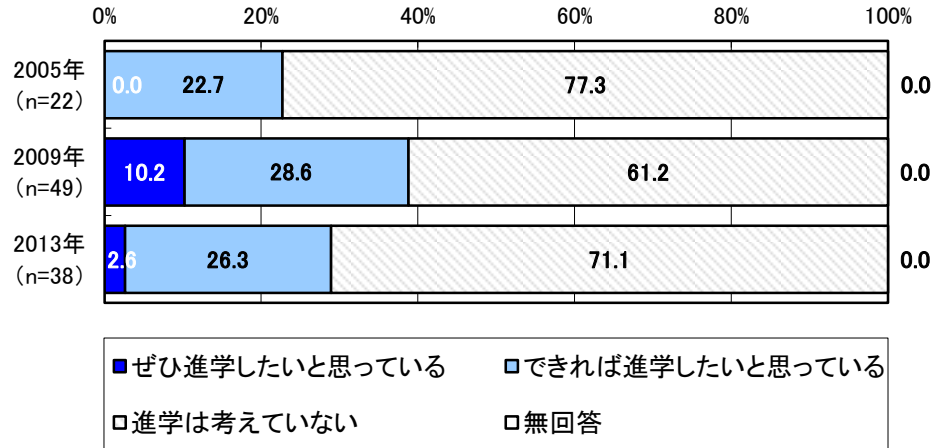
●学年



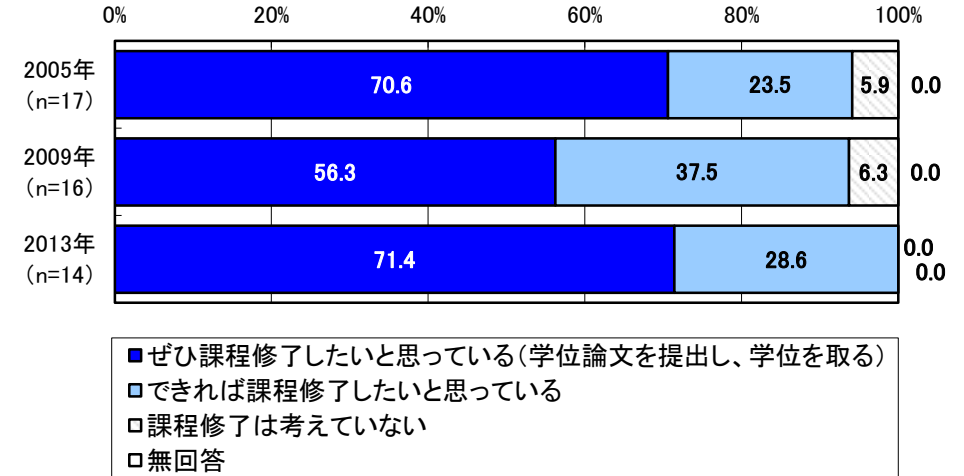
●性別



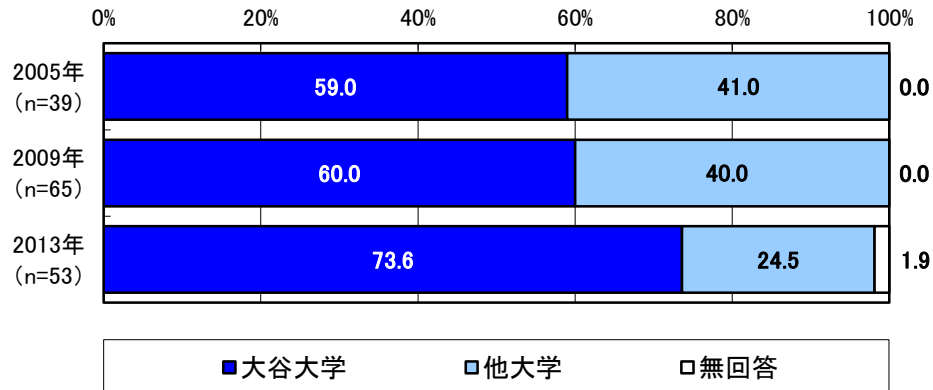
●博士後期課程進学について（修士課程の方のみ回答）



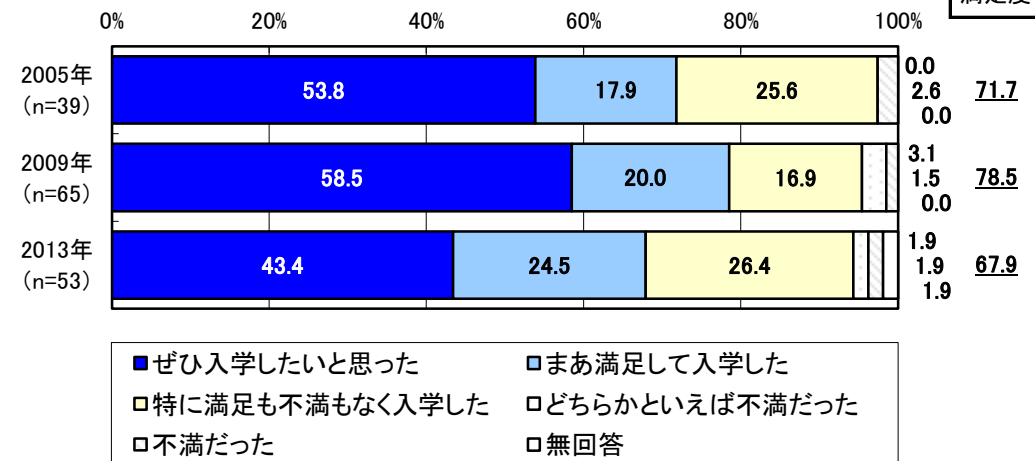
●課程修了について（博士後期課程の方のみ回答）



●出身大学



●入学した時の気持ち



注) 入学時の満足度 = 「ぜひ入学したいと思った」 + 「まあ満足して入学した」

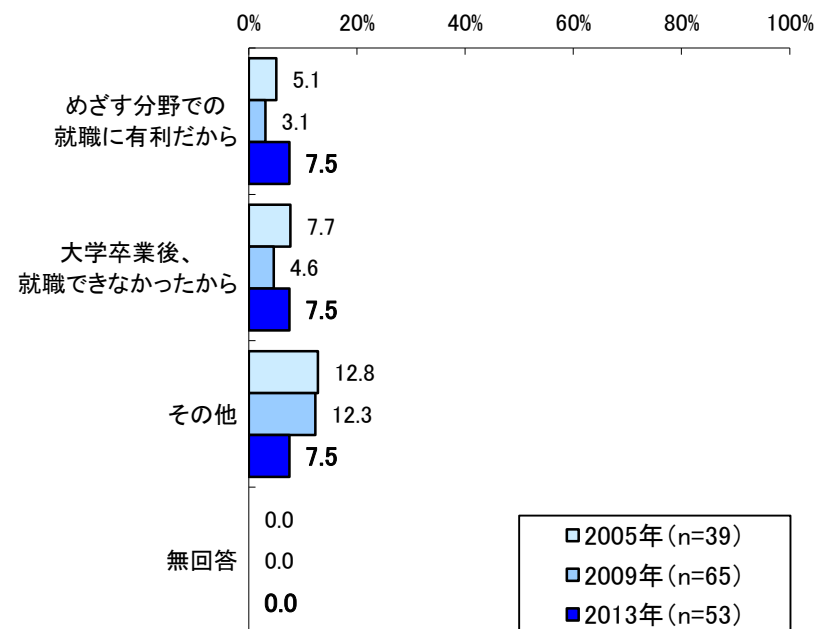
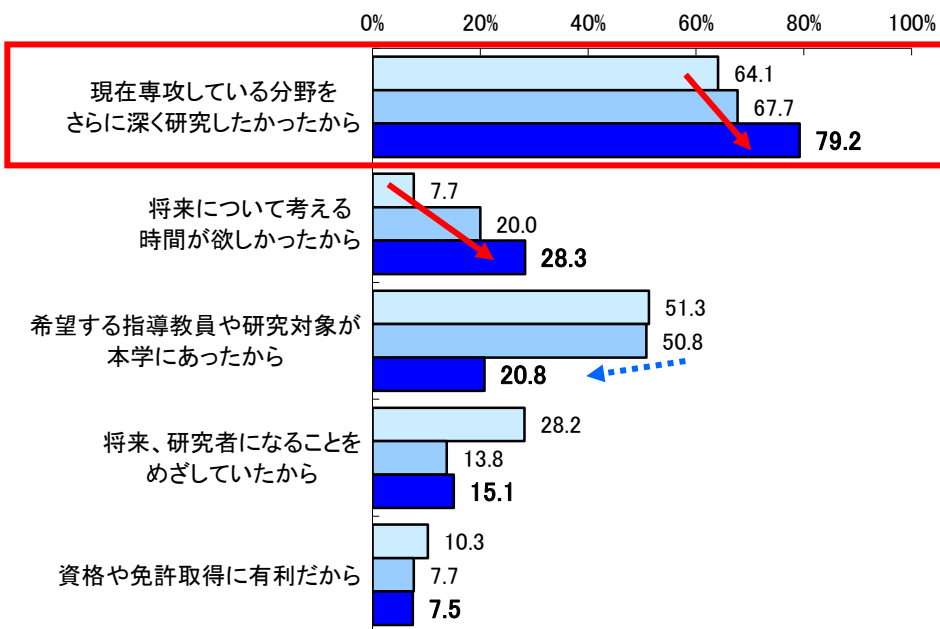
1. 大谷大学大学院への進学について

1. 大谷大学大学院への進学理由

- 大谷大学大学院への進学動機は、「現在専攻している分野をさらに深く研究したかったから」が約8割と『研究の深化』が大きな割合を占め、その傾向は年々強まっている。
- しかし一方で、「希望する指導教員や研究対象が本学にあったから」は過去2ヶ年と比べて大幅に低下し、反対に「将来について考える時間が欲しかったから」が上昇するなど、『研究の深化』以外の進学動機にはやや変化がみられる。
→指導教員や研究対象にまでこだわりを持って入学する学生が減少している可能性。

Q1 あなたが大谷大学大学院に進学しようと思った理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体



2. 大学院での取り組みと建学の理念に対する意識

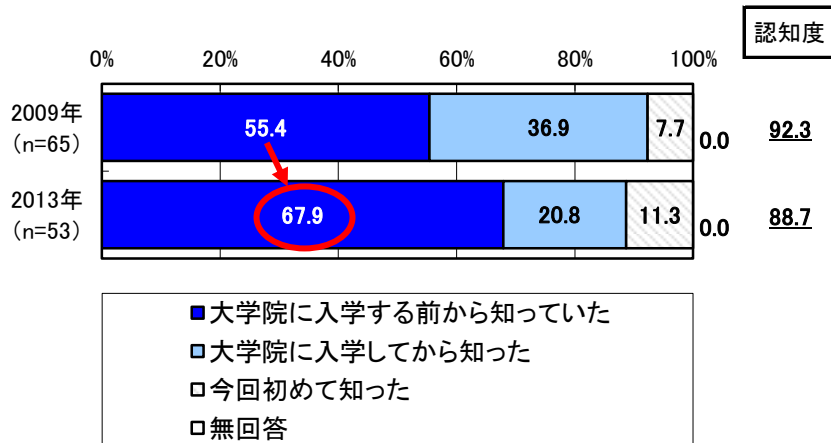
- 大学院生の建学の理念認知度は入学前と入学後を合わせると約9割にのぼり、ほとんどの大学院生に認知されている。
- 大谷大学出身の大学院生の割合が増加した影響か、入学前からの建学の理念の認知度が上昇している。
- 建学の理念を感じる機会は「各種宗教行事」「演習(ゼミ)の授業」「各教員による個別指導」が上位にあげられるが、2009年と比べると、多くの項目が低下しており、大学院での学びの中で建学の理念と意識する機会が減少している可能性も考えられる。

大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係(自分との関係、他者との関係)を重視した教育を行い、仏教ないし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。これについて、以下の設問に教えてください。

Q6-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

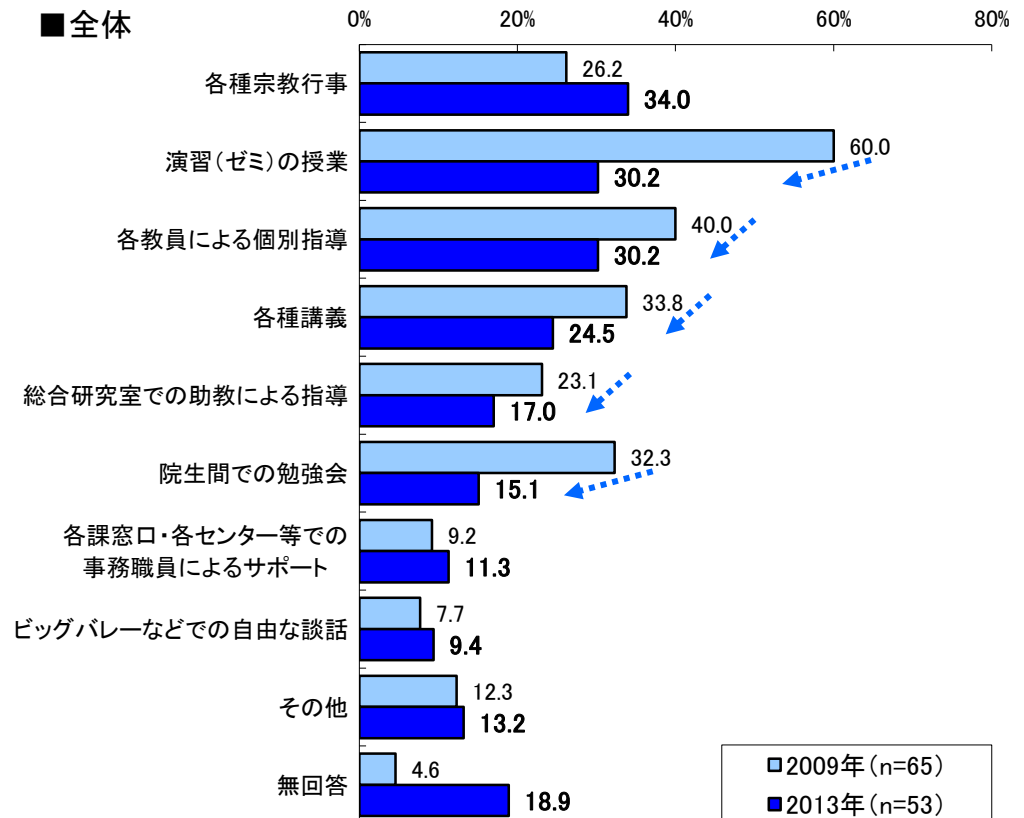
Q6-2 あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じるがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 全体



注) 認知度 = 「大学院に入学する前から知っていた」 + 「大学院に入学してから知った」

■ 全体

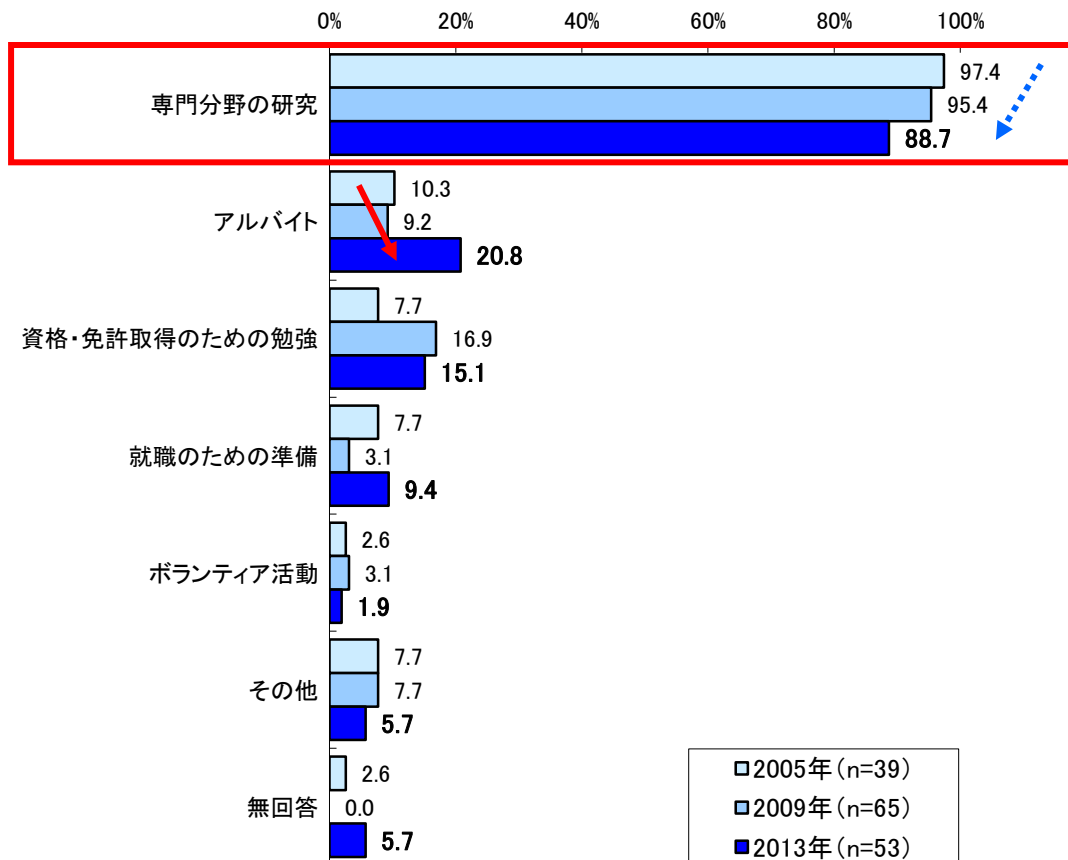


2-3. 大学院で取り組んでいること

- 大学院で意欲的に取り組んでいることとしては、9割近くの大学院生が「専門分野の研究」をあげており、自らの進学動機である専門分野の研究に積極的に取り組んでいる様子がうかがえる。
- ただ、3ヶ年の推移をみると、「専門分野の研究」は低下傾向にあり、その一方で「アルバイト」は2009年から倍増している。

Q2 あなたが、大谷大学大学院で意欲的に取り組んでいることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体

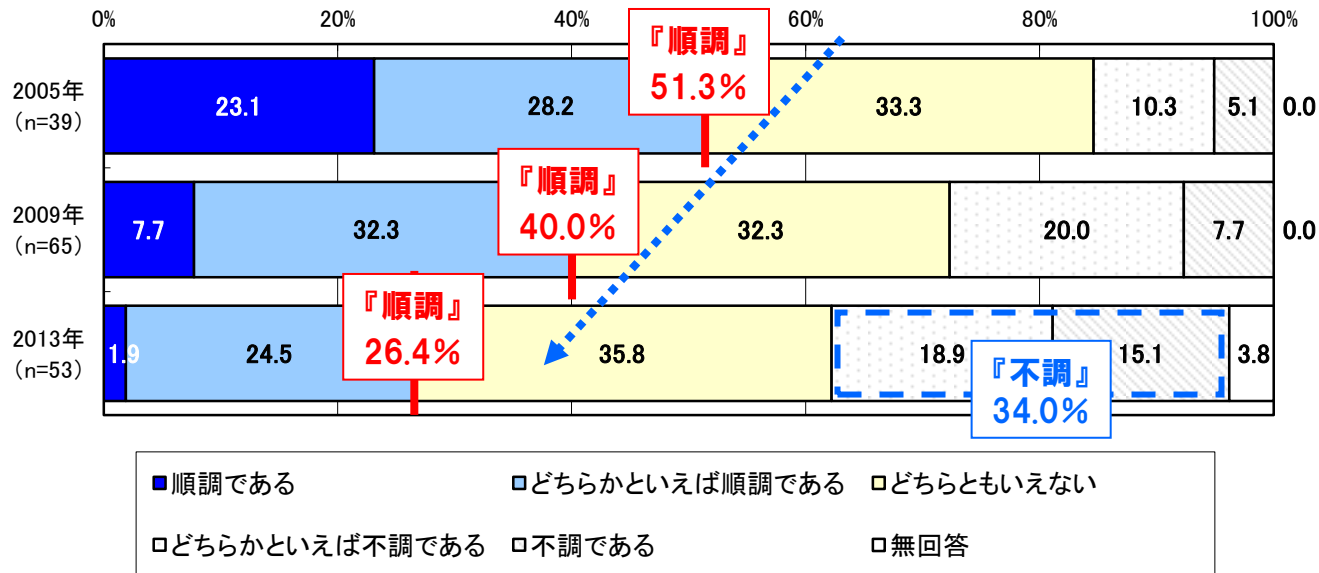


■ 専門研究の進行状況については、『順調』(「順調である」+「どちらかといえば順調である」と考える大学院生は2割台まで減少。反対に、『不調』(「不調である」+「どちらかといえば不調である」)(34.0%)と考える大学院生の割合は増加し、3割を超える。

→最大の大学院進学理由である専門研究に対して、何らかの困難さを感じている大学院生が多いと推察され、研究の順調な進行を支えるためのサポートの重要性が増していると考えられる。

Q3 あなたが、現在取り組んでいる専門研究の進行状況はどの程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

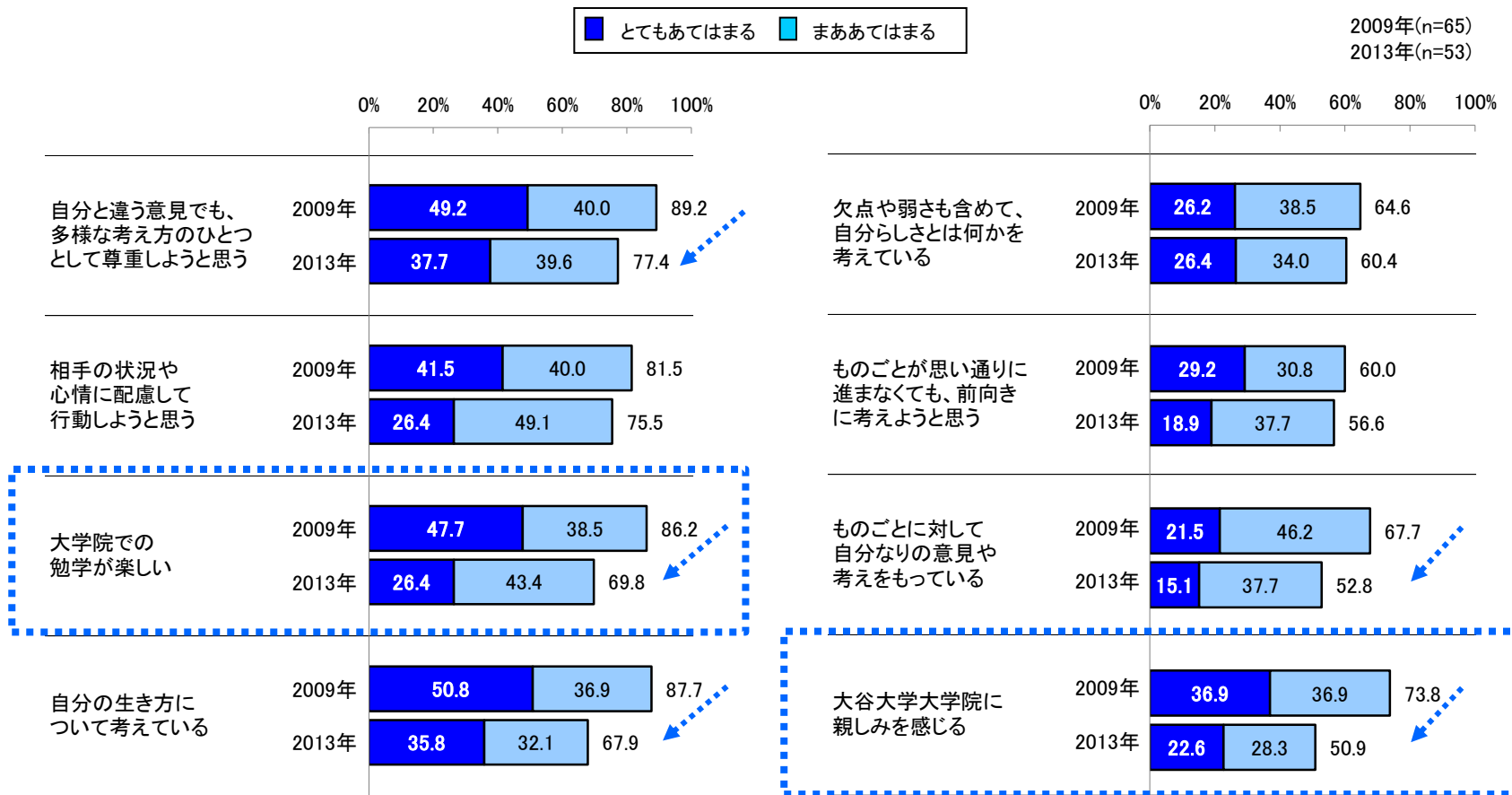
■全体



- すべての項目において、肯定的評価が5割を超えるが、2009年と比べると10ポイント以上評価が低下した項目が多い。
- また、専門研究の進行を不調と感じる大学院生の増加が影響してか、「大学院での勉学が難しい」や「大谷大学大学院に親しみを感じる」に対する評価も大幅に低下している。

Q4 大谷大学大学院に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。
それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■全体



注) グラフの右側に記載されている数値は各項目に対する「評価」を示す
評価＝「とてもあてはまる」＋「まああてはまる」

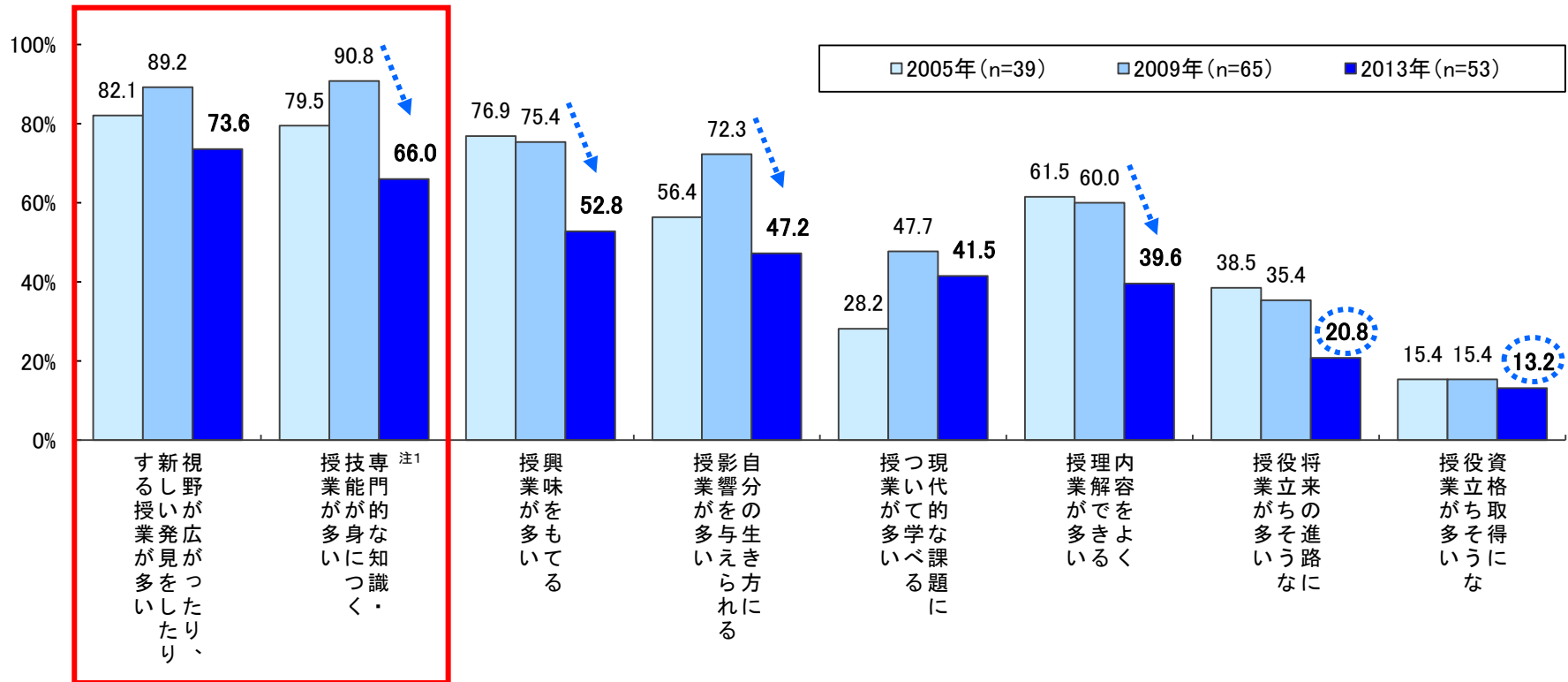
3. 各カテゴリーに対する評価

- 授業に関する8項目の中では「視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い」「専門的な知識が身につく授業が多い」に対する評価が比較的高い。
- しかし、2009年と比べると、すべての項目で評価が低下しており、特に「専門的な知識が身につく授業が多い」「興味をもてる授業が多い」「自分の生き方に影響を与えられる授業が多い」「内容をよく理解できる授業が多い」は20ポイント以上低下している。また、将来の進路や資格取得に関連する項目の評価は1～2割と、依然として低い。

Q5 大谷大学大学院について、以下の項目に関して5段階で評価してください。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つにQをつけてください。

【A 授業について】

■全体



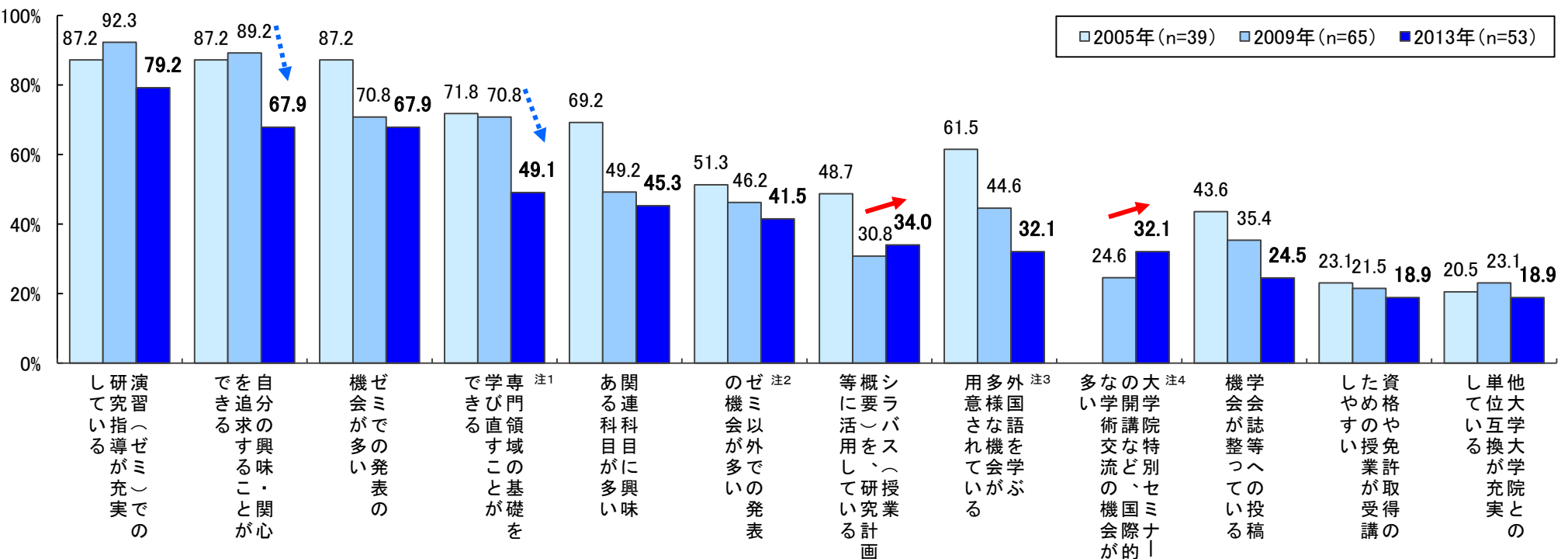
注) グラフの数値は各評価項目に対する「評価」を示す
 評価 = 「とてもあてはまる」 + 「まああてはまる」
 Q5は以下同様。

注1 2005年、2009年は「専門的な知識が身につく授業が多い」

- 学びの環境に関しては、「演習(ゼミ)での研究指導が充実している」をトップに上位3項目は評価が7割前後と高い。一方、12項目中9項目で満足度が5割以下となっており、項目間で評価に差が表れている。
- 経年の推移をみると、2005年と比べるとすべての項目で評価は低下し、特に「外国語を学ぶ多様な機会が用意されている」「関連科目に興味ある科目が多い」「専門領域の基礎を学び直すことができる」は20ポイント以上低下。2009年と比べて上昇しているのは「シラバス(授業概要)を、研究計画等に活用している」「大学院特別セミナーの開講など、国際的な学術交流の機会が多い」の2項目のみ。

【B 学びの環境について】

■全体



注1 2005年は「専門領域の基礎を学び直すことができる」

注2 2005年は「ゼミ以外の発表の機会が多い」

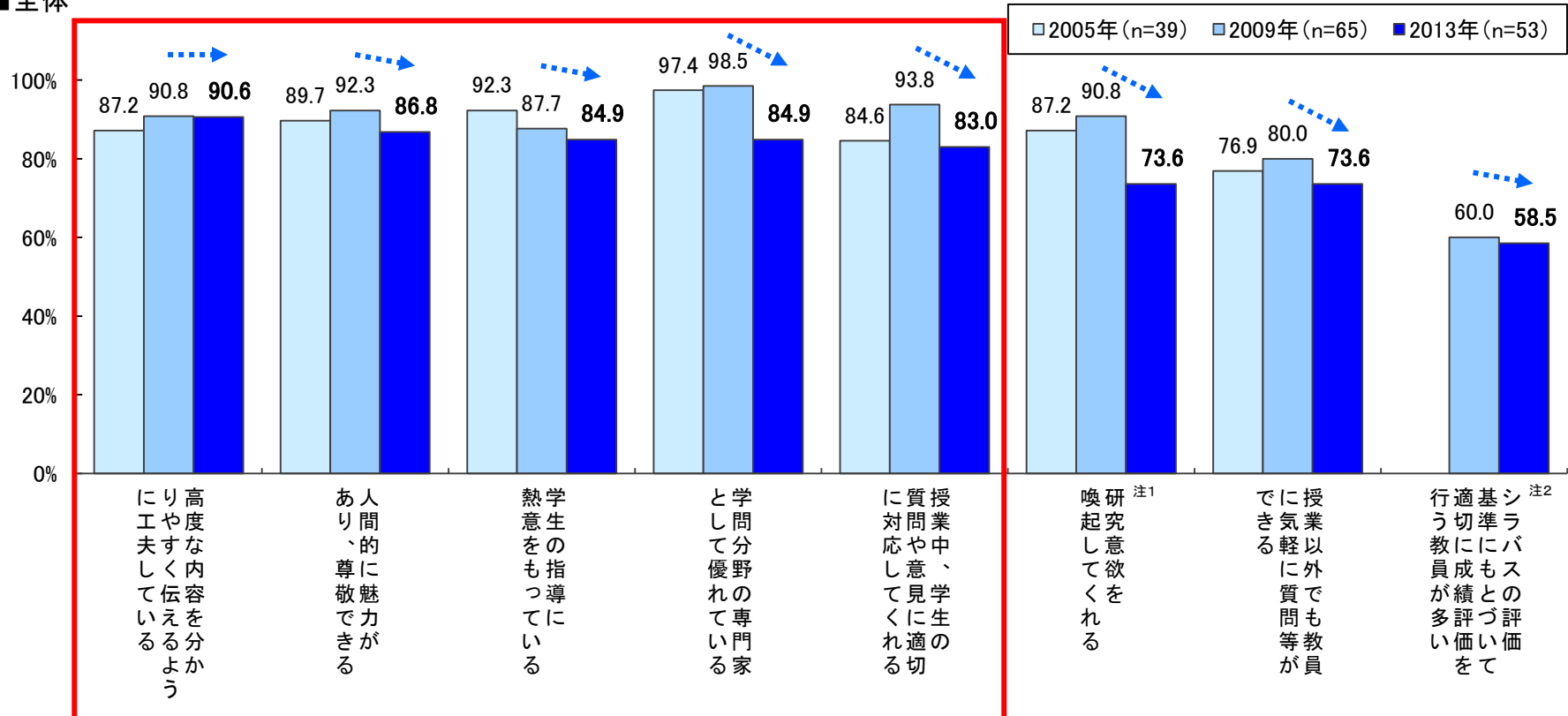
注3 2005年は「外国語を学ぶ機会が用意されている」

注4 2009年に新しく追加された項目

- 教員に関する評価は、8項目中5項目で評価が8割を超えており、全体的に高い。
- 経年の推移をみると、いずれの項目でも評価は低下している。特に「研究意欲を喚起してくれる」は9割前後の評価だったものが7割台まで低下しており、専門研究の不調さとの関連が推察される。

【C 教員について】

■ 全体



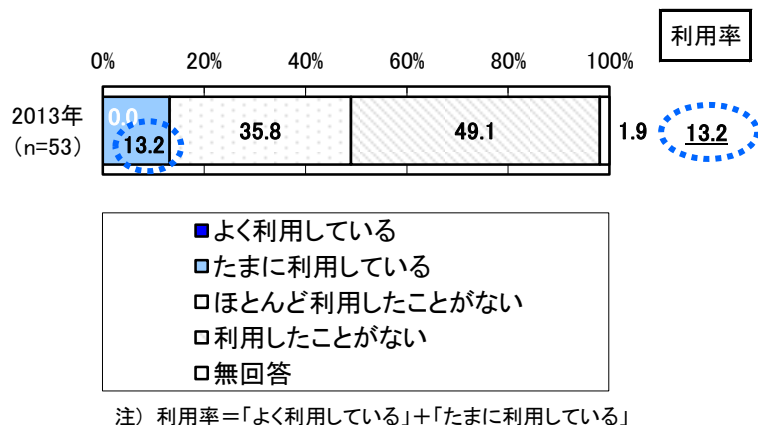
注1 2005年は「勉強意欲を喚起してくれる」

注2 2009年に新しく追加された項目

- キャリアセンターの利用状況は「たまに利用している」人が1割程度みられるのみで、8割以上の大学院生は利用していない。
- 利用しない理由は、「就職活動をする予定がないから」が最も高いが、「利用の仕方がわからないから」「キャリアセンターに入りにくいから」も2～3割みられ、キャリアセンター自体の体制の改善も課題の一つと考えられる。

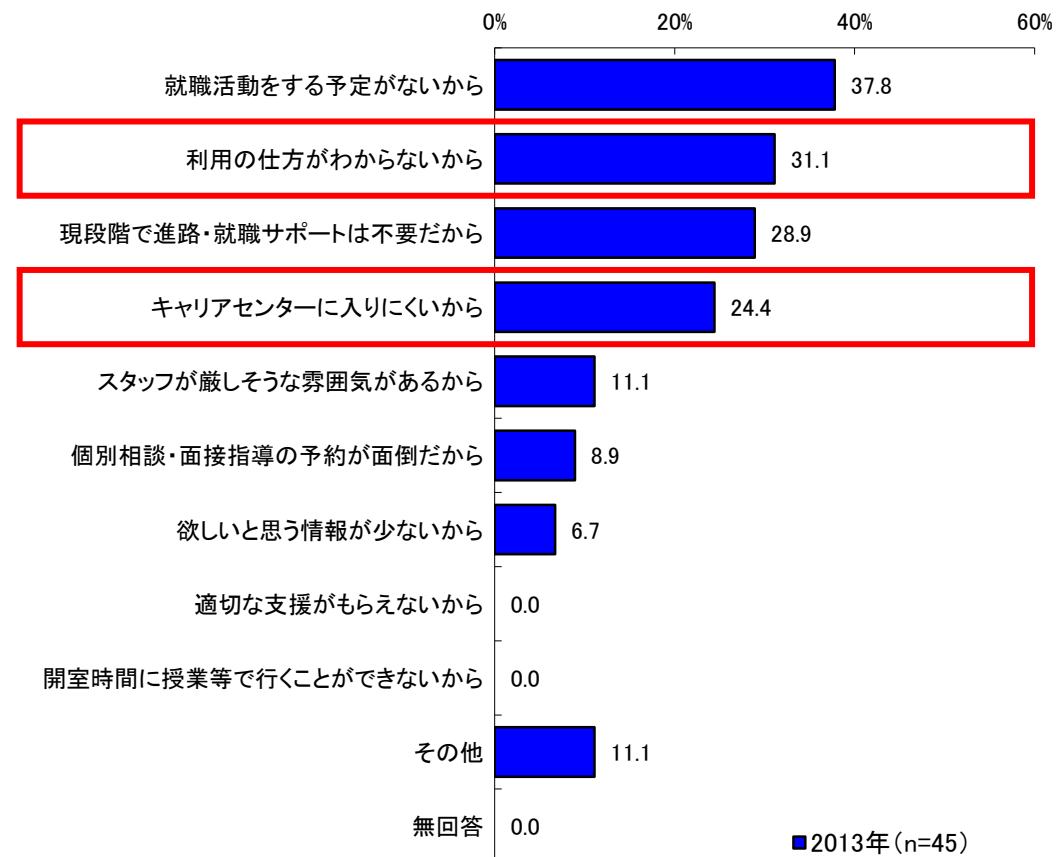
問. あなたは、キャリアセンターを利用したことがありますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

■全体／学年別



問. 「3. ほとんど利用したことがない」「4. 利用したことがない」に○をつけた方にお聞きます。
利用しない理由は何ですか。

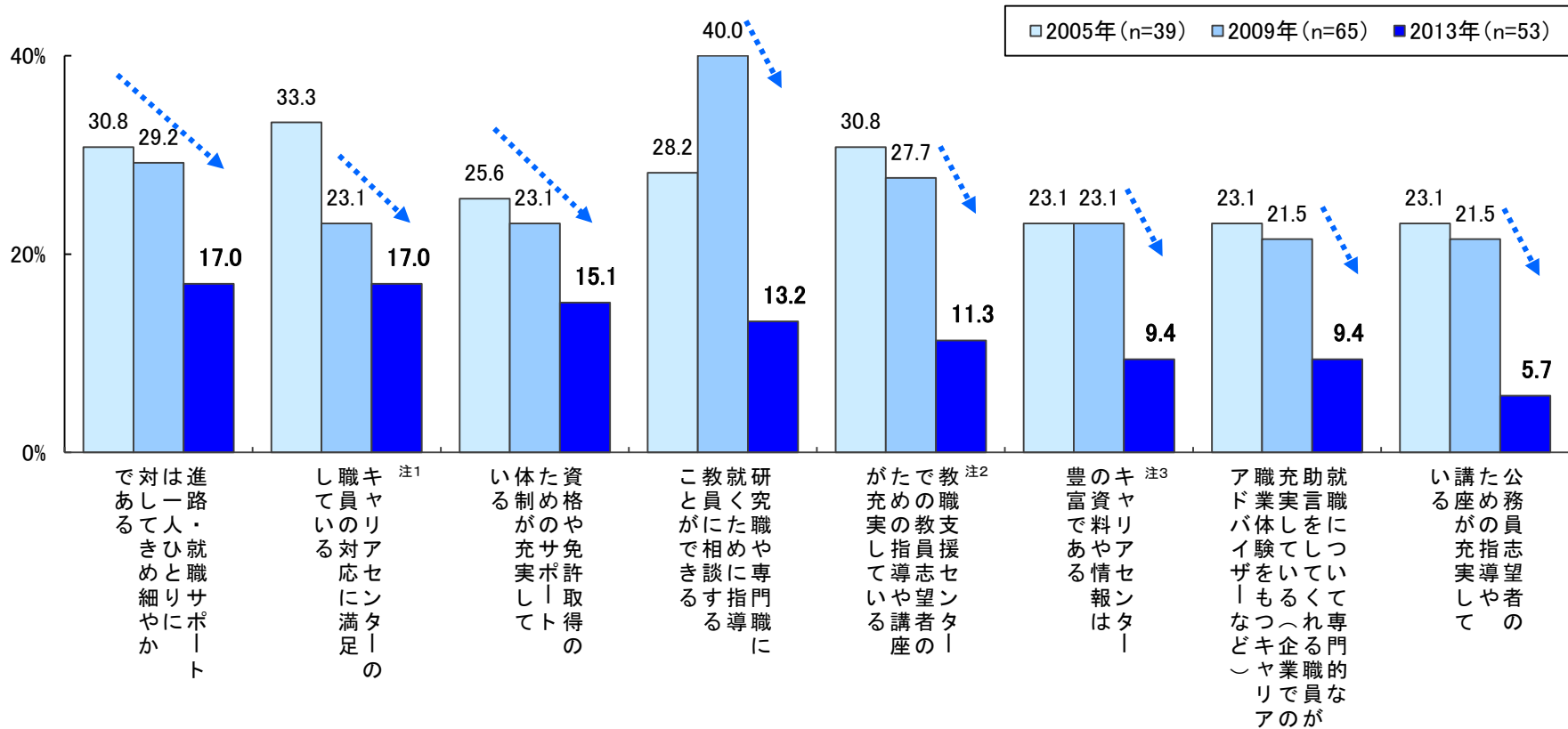
■全体



■ 進路・就職サポート体制に対する評価では、すべての項目で評価が低下し、評価が2割を超える項目はみられない。

【E 進路・就職サポート体制について】

■ 全体

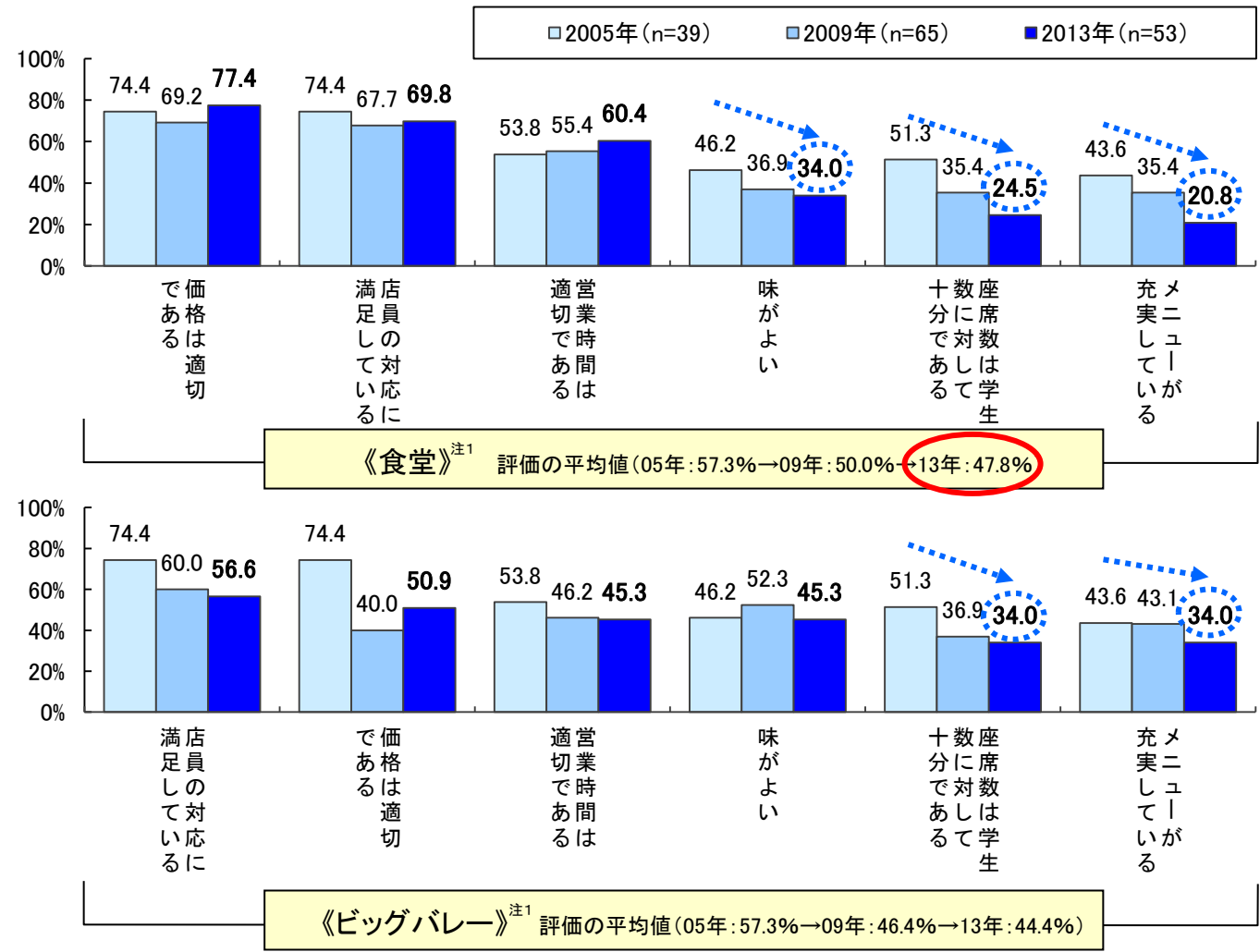


注1 2005年は「進路就職センターの職員の対応に満足している」
 注2 2005年、2009年は「教員志望者のための指導や講座が充実している」
 注3 2005年は「進路就職センターの資料や情報は豊富である」

3-5. 福利厚生施設・設備などの評価

- 各施設・整備別に評価の平均値を比較すると、最も平均値の高い施設は、《学内コンビニエンスストア》(平均62.2%)、次いで《食堂》(平均47.8%)。反対に平均値の低い施設は、《談話室1号館1階》(平均34.6%)。
- 《食堂》の「味」「座席数」「メニュー」に対する評価、《ビッグバレー》の「座席数」「メニュー」に対する評価は2～3割と低く、経年推移においても低下が続いている。

■全体

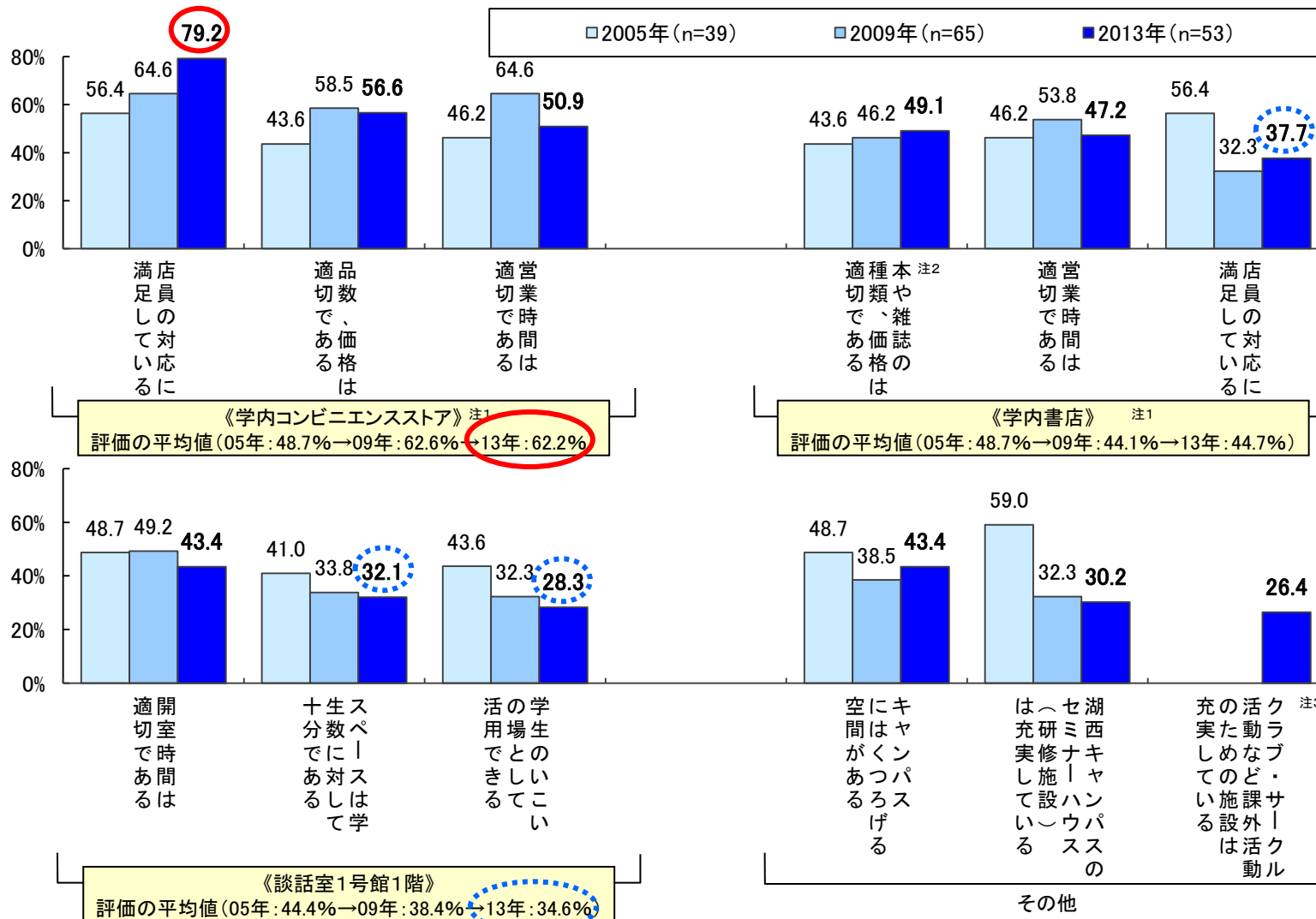


注1 2005年は「食堂・ビッグバレー」を一つの項目として質問した
 注2 2005年は「価格が適切である」

3-5. 福利厚生施設・設備などの評価

- 《学内コンビニエンスストア》に対する評価は3項目とも比較的高く、「店員の対応」は約8割と突出している。
- 《学内書店》については、「店員の対応」に対する評価が3割台で低い。
- 《談話室1号館1階》では、「スペースは学生数に対して十分である」「学生のいこいの場として活用できる」の評価が3割前後で低い。

■全体



注1 2005年は「購買部・書店」を一つの項目として質問した

注2 2005年は「品数、価格は適切である」

注3 2013年に新しく追加された項目

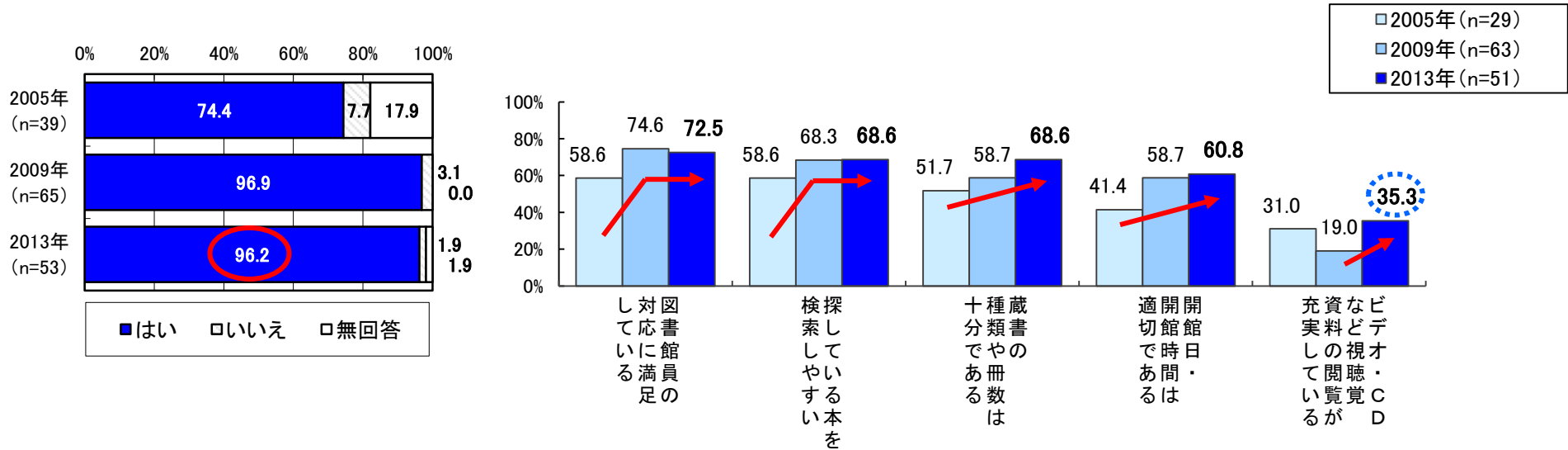
3-6. 教育施設・設備などの評価

- 《図書館》の利用率は96.2%で、ほとんどの大学院生が利用している。
- 利用者の評価も全体的に上昇が続く。ただし、「ビデオ・CDなど視聴覚資料の閲覧が充実している」の評価は2009年と比べて上昇しているが、3割台にとどまる。

《図書館》

問. あなたは《図書館》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの問に回答してください。 ※ 2005年、2009年は「あなたは《図書館》をよく利用しますか。」

■全体



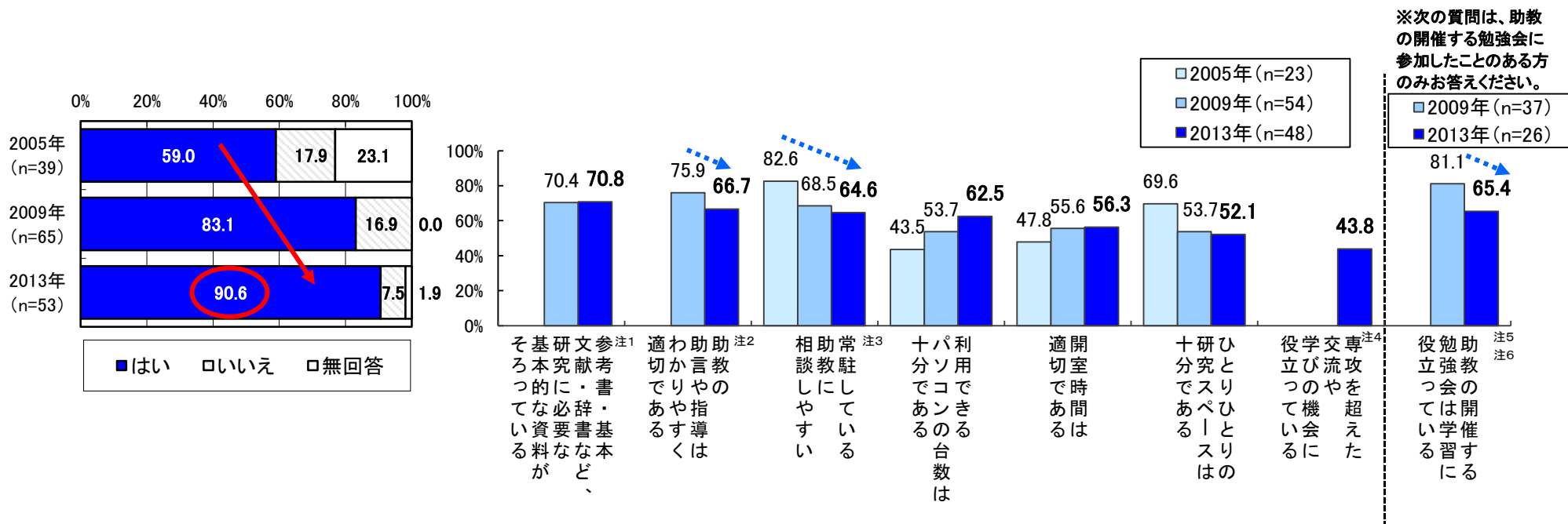
総合研究室を利用しない理由
研究室で十分だから。(修士)

- 《総合研究室》の利用率は、約9割。
- 全体的に利用者の評価は高いが、助教に関連する項目では、「常駐している助教に相談しやすい」「助教の助言や指導はわかりやすく適切である」「助教の開催する勉強会は学習に役立っている」ともに6割以上が肯定的な評価をしているものの、評価はやや低下傾向。

《総合研究室》

問. あなたは《総合研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの問に回答してください。 ※ 2005年、2009年は「あなたは《総合研究室》をよく利用しますか。」

■全体



総合研究室を利用しない理由
使う気にならない。(修士)
うるさくて集中できないので、図書館の方が資料が見やすい。(修士)
自宅で研究する。(修士)

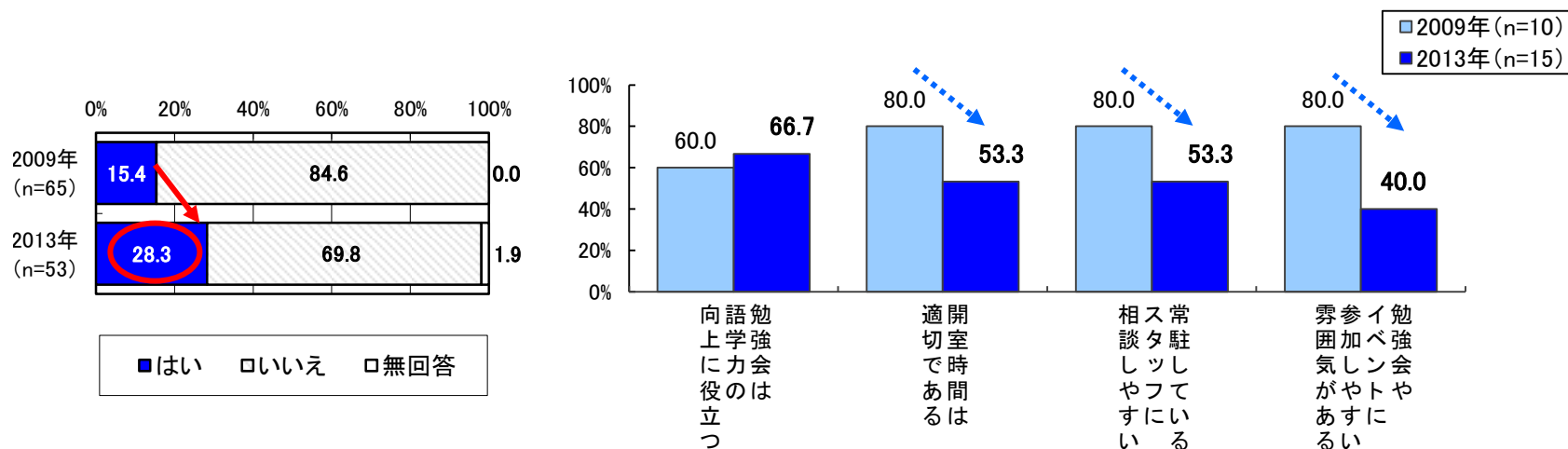
注1、注2、注5 2009年に新しく追加された項目
 注3 2005年は「常駐している助手に相談しやすい」
 注4 2013年に新しく追加された項目
 注6 「助教の開催する勉強会は学習に役立っている」については回答者ベースで満足度を算出

- 《GLOBAL SQUARE》の利用率は3割弱にとどまり、利用者の評価も低下(回答者が少ないので参考値)。
 - 《GLOBAL SQUARE》を利用しない理由としては、「利用する機会がない」「(語学に)興味がない」の他に、「GLOBAL SQUAREの存在自体を知らない」という意見がみられた。
- 《GLOBAL SQUARE》については、まず大学院生の認知度を高める取り組みとともに内容の充実も重要と考えられる。

《GLOBAL SQUARE》

問. あなたは《GLOBAL SQUARE》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。 ※ 2005年、2009年は「あなたは《GLOBAL SQUARE》をよく利用しますか。」

■全体

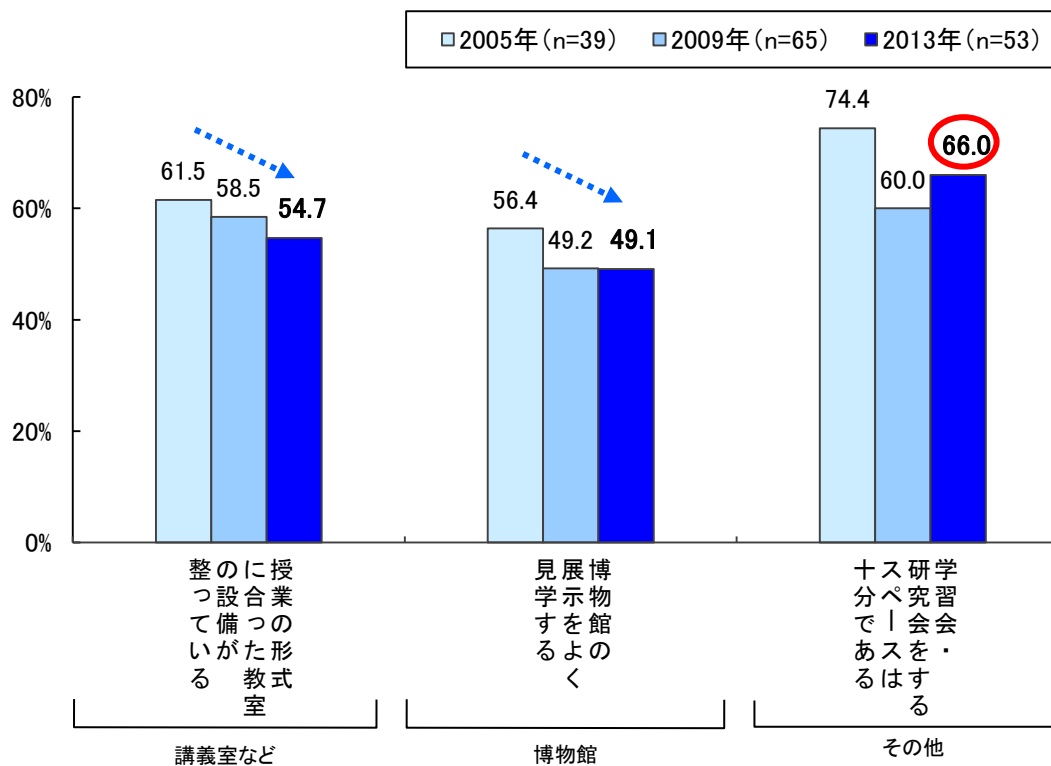


GLOBAL SQUAREを利用しない理由
利用する必要がないので(修士)(博士)
利用の仕方がよくわからない(修士)(博士)
英語圏の留学生が少ない(修士)
特に用事がないため(修士)(博士)
興味・関心がない(修士)(博士)
留学、海外に興味がない(修士)(博士)
英米仏独語の学習機会が少ない(修士)
存在自体を知らない(修士)
利用する機会がないから(修士)

- 教育施設・設備などに関する項目では、「学習会・研究会をするスペースは十分である」の評価が66.0%で最も高く、2009年に一度落ち込んだ評価が回復している。
- その他の「講義室など」「博物館」の評価は5割前後で、評価はやや低下傾向。

【F 教育施設・設備などについて】

■全体



3-7. 教育・学生生活のサポート体制の評価

<教育に関するサポート体制>

■ 上位2項目は学内の情報提供に関する項目があげられており、評価は6割弱。その他の項目は低下幅が大きく、履修登録等の相談体制に関する2項目は2009年と比べて10ポイント以上低下、また「海外研修や留学などのサポート体制が充実している」も低下が続き、2013年は2割台の評価にとどまっている。

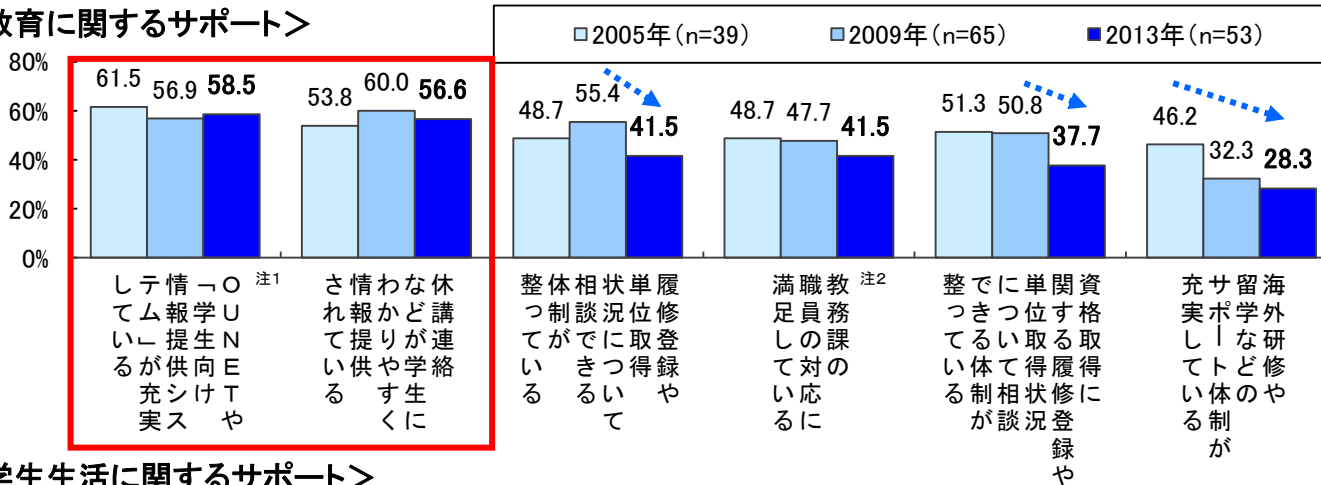
<学生生活に関するサポート体制>

■ 「奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている」の評価が6割を超えているのみで、他の5項目の評価は5割未満。これらのサポートの存在自体が認知されていない可能性も考えられる。

【D 教育・学生生活のサポート体制について】

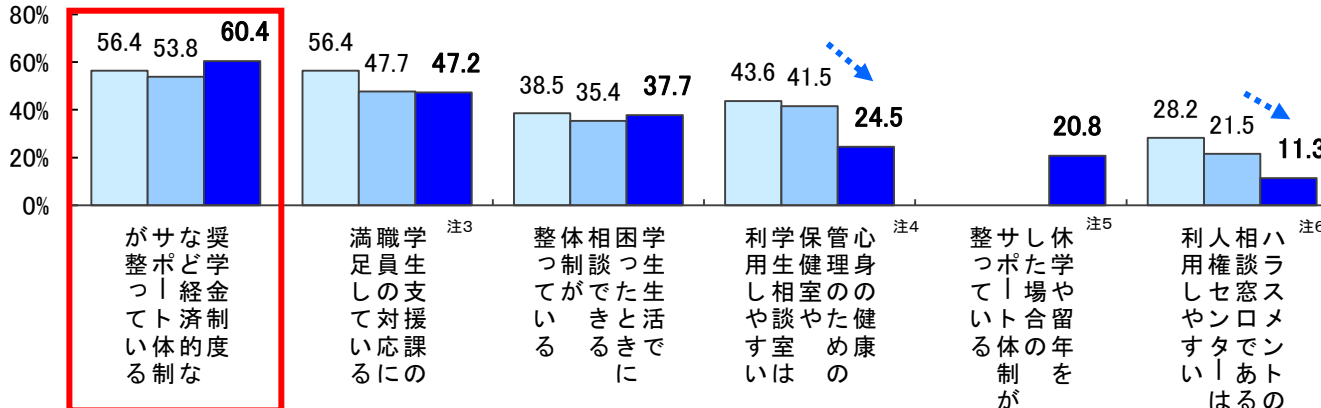
■ 全体

<教育に関するサポート>



注1 2005年は「OUNETによる『学生向け情報提供システム』が充実している」
注2 2005年は「教務部の職員の対応に満足している」

<学生生活に関するサポート>

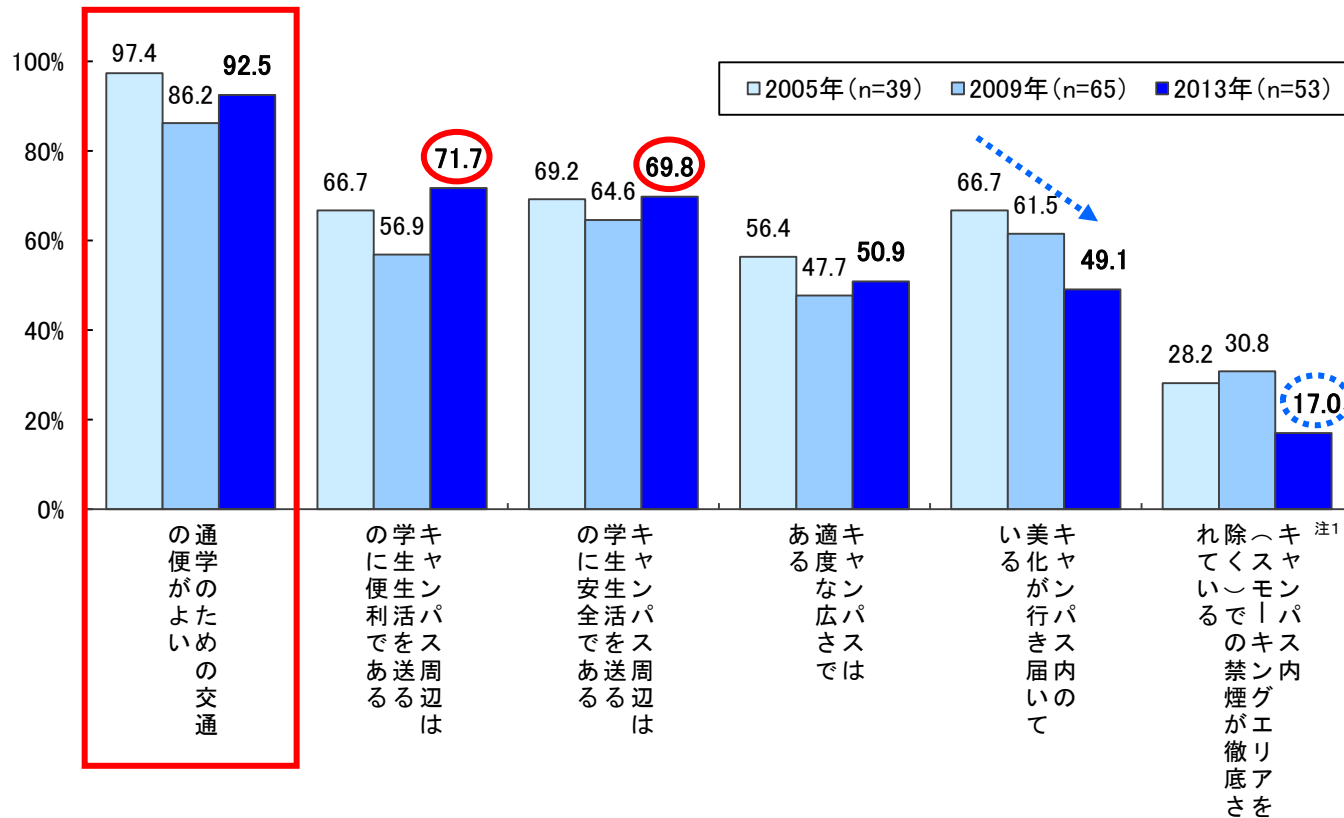


注3 2005年は「学生課の職員の対応に満足している」
注4 2005年、2009年は「保健室や学生相談室は利用しやすい」
注5 2013年に新しく追加された項目
注6 2005年、2009年は「ハラスメントに対する相談窓口は利用しやすい」

- 「通学のための交通の便がよい」の評価が9割超と非常に高い。またキャンパスの環境や立地（『安全性』『利便性』）に対する評価も約7割と高い。反対に、「キャンパス内（スモキングエリアを除く）での禁煙が徹底されている」の評価は低く2割に届かない。
- 経年の推移をみると、「キャンパス内の美化が行き届いている」は2009年から12.4ポイント低下。

【H その他】

■全体



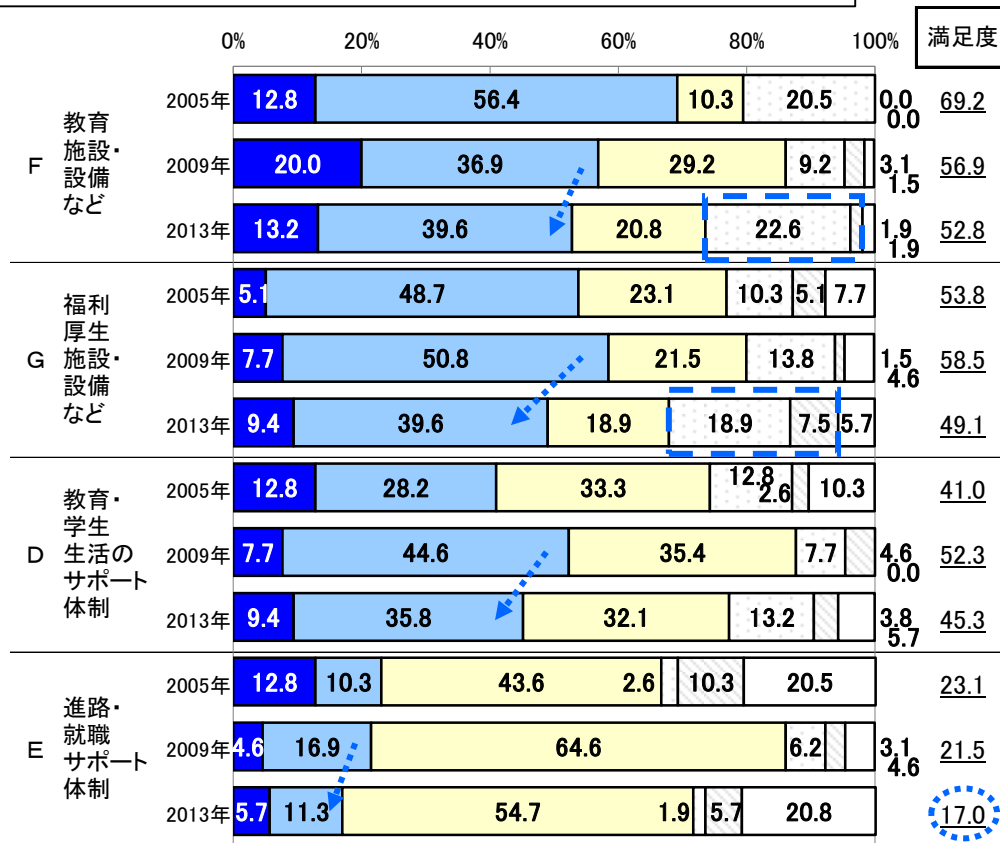
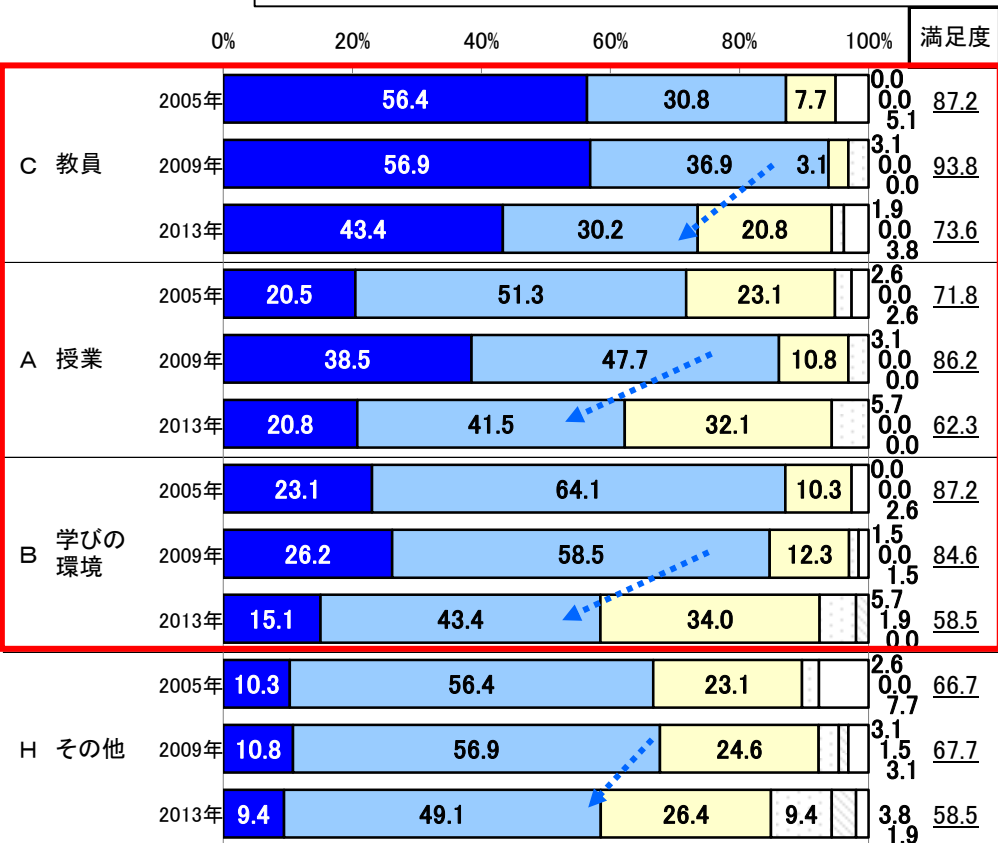
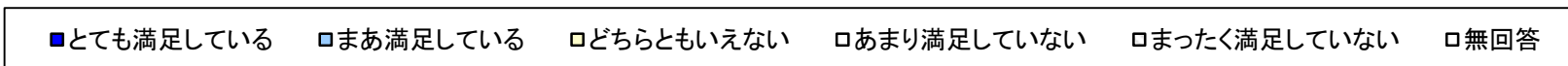
注1 2005年、2009年は「キャンパス内での喫煙マナーがよい」

4. 大谷大学大学院に対する満足度

4-1. 各カテゴリーの満足度

- 大学院進学の大動機となっている『研究の深化』と関連の高い「C.教員」「A.授業」「B.学びの環境」が満足度上位にあげられている。しかし、それらの満足度は6～7割程度にとどまり、2009年と比べると20ポイント以上低下している。(ただし、「どちらともいえない」の割合が増加している。)
- どのカテゴリーも2009年と比べて満足度は低下しており、「E.進路・就職サポート体制」の満足度は 2割を切る。また、「F.教育施設・設備など」「G.福利厚生施設・設備など」では、満足していない 学生の割合もやや増加。

■全体



注) 満足度 = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」

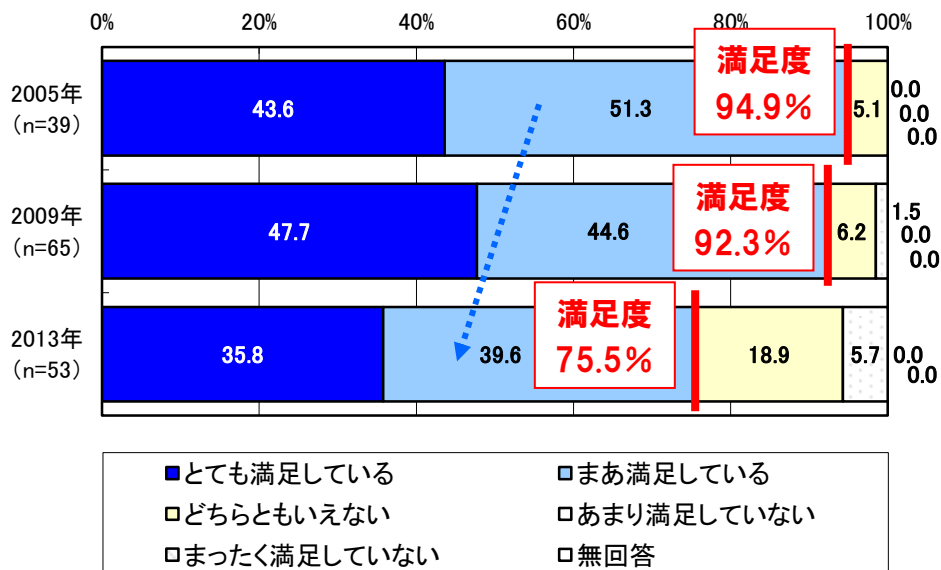
4-2. 現在の満足度

- 大谷大学大学院に対する現在の満足度は75.5%で、2005年・2009年と比べて約20ポイント低下。「とても満足している」の割合も2009年から10ポイント以上低下している。
- 入学時と現在の満足度を比較すると、入学時より現在の満足度は7.6ポイント上昇しているが、過去2ヶ年の変化と比べると満足度の変化量は小さい。

Q7 あなたは大谷大学大学院に入学してよかったですか。
次の中から、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

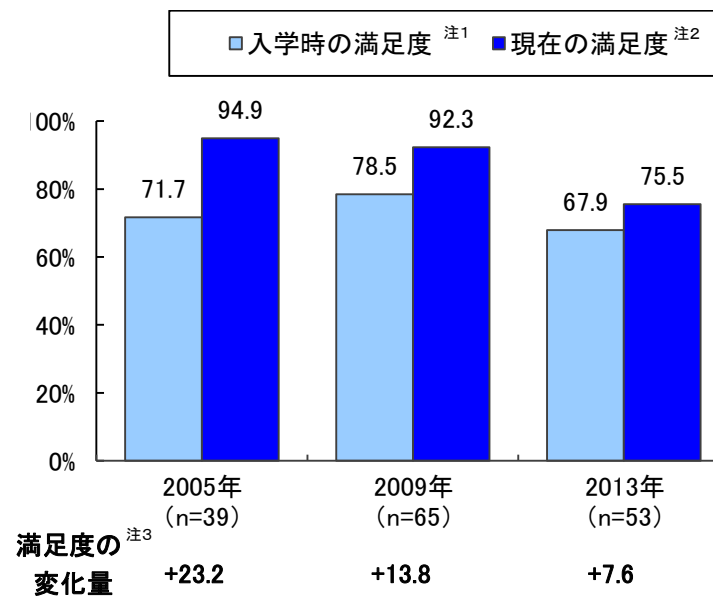
入学時の満足度と現在の満足度の比較

■全体



注) 満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

■全体



注1 入学時の満足度＝「ぜひ入学したいと思った」＋「まあ満足して入学した」

注2 現在の満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

注3 満足度の変化量＝「現在の満足度」－「入学時の満足度」

より良い学びの場をめざして

大谷大学 在学生満足度アンケート

2013年11月

大谷大学自己点検・評価委員会

このたび、大谷大学では、学びの場としての本学をより充実させるために文学部・短期大学部に対する学生のみなさんの満足度調査を実施することにしました。ご記入いただいた内容は調査の集計と分析のみに利用し、回答内容から個人を特定するようなことは一切ありませんので、安心して、思ったことを率直に書いてください。また、必ず最後の質問まで回答して下さるようお願いいたします。

《注意事項》

- ①アンケートは無記名で、自由な意見を記入してください。
- ②記入は授業時間内で終了するようにし、記入後は教卓に提出してください。
- ③自分が該当しない項目についても、友人・先輩の話など周囲からの情報も判断材料にして評価を記入してください。
- ④記入後、調査票を提出した方から帰っていただいで結構です。調査票は持ち帰らず、必ず提出して帰ってください。

まず、あなた自身についてお伺いします。下記の質問について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

所属学部・学科 (1つに○)	【文学部】 1. 真宗学科 2. 仏教学科 3. 哲学科 4. 社会学科 5. 歴史学科 6. 文学科 7. 国際文化学科 8. 人文情報学科 9. 教育・心理学科 【短期大学部】 10. 仏教科 11. 幼児教育保育科
学 年 (1つに○)	1. 第1学年 2. 第2学年 3. 第3学年 4. 第4学年
性 別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性
本学へ入学した際の 入試の種類 (1つに○)	1. アドミッション・オフィス入試 (短期大学部のみ) 2. 自己推薦入試 3. 公募制推薦入試 A方式 小論文型 4. 公募制推薦入試 B方式 教科型 5. 指定校制推薦入学制度 6. 一般入試 第1期 3教科型 7. 一般入試 第1期 2教科型 8. 一般入試 第2期 教科型 (3月実施) 9. 大学入試センター試験利用入試 10. 文学部第3学年編入試 (推薦編入試・社会人編入試含む)
受験時の本学の 志望順位 (1つに○)	1. 第1志望 2. 第2志望 3. 第3志望以下
本学へ入学した時の あなたの気持ち (最も近いもの 1つに○)	1. ぜひ入学したいと思った 2. まあ満足して入学した 3. 特に満足も不満もなく入学した 4. どちらかといえば不満だった 5. 不満だった
現在の居住形態 (1つに○)	1. 自宅 2. 下宿 (アパート・マンション等での一人暮らし) 3. 学生寮 (本学学寮を含む) 4. その他
アルバイトについて (1つに○)	1. したことがない 2. 以前していたが、現在はしていない 3. 長期休暇のときのみする 4. 現在しており、週1～2日程度 5. 現在しており、週3～4日程度 6. 現在しており、週5日以上
クラブ・サークル 活動について (1つに○)	1. 学内のクラブ・サークルに加入している 2. 学外のクラブ・サークルに加入している 3. 学内・学外のクラブ・サークル両方に加入している 4. クラブ・サークルには加入していない
あなたの学費は誰が 負担していますか (1つに○)	1. 全額家庭から 2. 大部分を家庭から、一部をアルバイト収入や奨学金から 3. 大部分をアルバイト収入や奨学金から 4. 他からの援助・借入れから 5. その他 ()

I あなたの大谷大学進学について

Q 1 あなたが大学進学を選んだ理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 学問的知識や専門的技術を身につけたいから | 7. 新たな出会いや友だちがほしいから |
| 2. 幅広い教養を身につけたいから | 8. 学生生活を楽してみたいから |
| 3. 取得したい資格や免許があるから | 9. 周囲の友だちが進学するから |
| 4. 就職するときに有利だから | 10. 家族、先生、先輩などが進学を勧めるから |
| 5. 社会に出たとき、学歴が必要だから | 11. 特に目的はない |
| 6. 将来の進路をよく考える時間がほしいから | 12. その他 () |

Q 2-1 あなたが大谷大学を志願した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 学びたい学科・分野があるから | 16. 就職率が高いから |
| 2. 興味をもてそうな授業が多いから | 17. 学費が安いから |
| 3. 外国語教育が充実しているから | 18. 奨学金制度が充実しているから |
| 4. 指導を受けたい教員がいるから | 19. 歴史や伝統がある大学だから |
| 5. 施設や設備が充実しているから | 20. 社会的に知名度が高いから |
| 6. キャンパスや校舎がきれいだから | 21. オープンキャンパスが好印象だったから |
| 7. キャンパスの周囲の環境がよいから | 22. 高校の先生に勧められたから |
| 8. 交通の便がよいから | 23. 予備校・塾の先生に勧められたから |
| 9. クラブ・サークル活動が活発だから | 24. 先輩に勧められたから |
| 10. 学生生活を楽しめそうな雰囲気があるから | 25. 家族に勧められたから |
| 11. 仏教系の大学だから | 26. 志望していた大学に合格しなかったから |
| 12. 建学の理念(人間重視)に共感したから | 27. 卒業生が社会で活躍しているから |
| 13. 京都にある大学だから | 28. 大学の規模が自分に合っていたから |
| 14. 資格や免許が取得できるから | 29. 入試難易度が自分に合っていたから |
| 15. 留学や海外研修の制度が充実しているから | 30. その他 () |

Q 2-2 上記Q 2-1の1～30の中で○をつけた項目のうち、あなたが大谷大学に入学を決める際に、特に重視した項目はどれですか。あてはまるものを上位から順に3つ選んでください。

第1位 第2位 第3位

Q 3 あなたは、大学卒業後、どのような進路に進みたいと考えていますか。以下より現時点で希望する進路の番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 一般企業へ就職 | 6. 保育士として就職 |
| 2. 公務員として就職 | 7. 進学 |
| 3. 中学校・高校の教員として就職 | 8. 未定 |
| 4. 小学校の教員として就職 | 9. その他 () |
| 5. 幼稚園教諭として就職 | |

II あなたの大谷大学での取り組みについて

Q 4 あなたは、以下の能力や知識・技能について、大谷大学に入学してからこれまでの間、どの程度身につけてきたと思いますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=十分身につけてきた 4=ある程度身につけてきた 3=どちらともいえない 2=あまり身につけていない 1=まったく身につけていない

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 2. 幅広い分野の教養的知識 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 3. パソコン操作や情報処理技能 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 4. 外国語の運用能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 5. コミュニケーション能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 6. プレゼンテーション能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 7. 社会人として必要な一般常識やマナー | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 8. 広い視野や考え方 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 9. 柔軟な発想力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 10. 問題解決能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

Q 5 大谷大学に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1. 大学に来ることが楽しい | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 2. 大谷大学に親しみを感じる | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 3. 欠点や弱さも含めて、自分らしさとは何かを考えている | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 4. 自分の生き方について考えている | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 5. ものごとが思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 6. ものごとに対して自分なりの意見や考えをもっている | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 7. 自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 8. 相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

Ⅲ 大谷大学での学業について

Q6 今年度のあなたの授業への平均出席率はどの程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

ほとんど出席している	8～9割程度出席している	6～7割程度出席している	半分程度出席している	出席は半分以下である
5	4	3	2	1

Q7 あなたが、健康状態以外で授業を欠席する理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 授業内容が理解できないから | 7. アルバイトを重視するから |
| 2. 授業内容に物足りなさを感じるから | 8. 出席をとらないから |
| 3. 授業で発言の機会が少ないから | 9. クラスの雰囲気になじめないから |
| 4. 担当教員に不満があるから | 10. 生活リズムが合わないから |
| 5. 友人との付き合いを重視するから | 11. その他 () |
| 6. クラブ・サークル活動を重視するから | |

Q8 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

ほぼすべての授業が理解できる	だいたいの授業は理解できる	半分くらいの授業は理解できる	理解できない授業が多い	ほとんどの授業が理解できない
5	4	3	2	1

Q9 あなたが受講している授業を理解できない場合、その理由は何だと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 授業内容が専門的すぎるから | 6. 高校で履修しなかった科目の知識が必要だから |
| 2. 授業の進み方が速すぎるから | 7. 自分の予習や準備が不足しているから |
| 3. 授業内容に興味を持っていないから | 8. 自分の意欲が不足しているから |
| 4. 履修すべき単位数が多すぎるから | 9. その他 () |
| 5. 教員の指導や助言が十分でないから | |

Ⅳ 大谷大学に対する評価や満足度について

Q10 大谷大学について、以下の項目に関して5段階で評価してください。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【A 大谷大学での授業について】

1. 本学での授業に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1) 専門的な知識・技能が身につく授業が多い | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 2) 視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 3) 興味をもてる授業が多い | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 4) 内容をよく理解できる授業が多い | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 5) 資格取得に役立つような授業が多い | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 6) 将来の進路に役立つような授業が多い | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 7) 現代的な課題について学べる授業が多い | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 8) 自分の生き方に影響を与えられる授業が多い | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

2. 本学での授業を全般的にみて、あなたはどのくらい満足していますか。あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

「2. あまり満足していない」または「1. まったく満足していない」に○をつけた方にお聞きします。あなたがそう考えた具体的な理由を聞かせてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【B 大谷大学での学びの環境について】

1. 本学での学びの環境に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1) 高校と大学の学びをつなぐ教育(「学びの発見」など)が充実している… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2) 演習(ゼミ)での教育が充実している …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3) 外国語教育が充実している …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4) 選択できる授業科目が豊富に用意されている …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5) 他学科の授業科目を受講しやすい …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6) 1 Semesterの登録単位数制限は適切である …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7) 他大学との単位互換が充実している …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8) シラバス(授業概要)は、時間割作成等に役立っている …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9) 留学や語学・文化研修など、国際交流プログラムが充実している …… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 本学での学びの環境を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

【C 大谷大学の教員について】

1. 本学の教員に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1) 授業をよく工夫している教員が多い …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2) 個々の学生の指導に熱意をもっている教員が多い …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3) 勉学意欲をもたせてくれる教員が多い …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4) 学問分野の専門家として優れた教員が多い …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5) 人間的に魅力があり、尊敬できる教員が多い …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6) 授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる教員が多い …… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7) シラバスの評価基準にもとづいて適切に成績評価を行う教員が多い …… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8) 指導教員は、学生のことを親身になって考えてくれる …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 本学の教員を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【D 大谷大学の教育・学生生活のサポート体制について】

1. 本学の教育・学生生活のサポート体制に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

<教育に関するサポート>

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1) 入学時のオリエンテーションが充実している …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2) 履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている …… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3) 休講連絡などが学生にわかりやすく情報提供されている …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4) OUNETや「学生向け情報提供システム」が充実している …… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5) 外国語学習や海外研修などのサポート体制が充実している …… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6) 教務課の職員の対応に満足している …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7) 導入科目の授業では、TA(ティーチングアシスタント)に相談できる体制が整っている …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8) TAのアドバイスはわかりやすく、適切である …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

<学生生活に関するサポート>

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| 9) 奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10) 学生生活で困ったときに相談できる体制が整っている …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11) 心身の健康管理のための保健室や学生相談室は利用しやすい …… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12) ハラスメントの相談窓口である人権センターは利用しやすい …… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 13) 休学や留年をした場合のサポート体制が整っている …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 14) クラブ・サークルなど課外活動に対する理解やサポート体制(助成金など)が整っている …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 15) 学園祭(祭明祭)への理解やサポート体制が整っている …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 16) 学生支援課の職員の対応に満足している …………… | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 本学の教育・学生生活のサポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【E 大谷大学の進路・就職サポート体制について】

1. あなたは、キャリアセンターを利用したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. よく利用している | 3. ほとんど利用したことがない |
| 2. たまに利用している | 4. 利用したことがない |

「3. ほとんど利用したことがない」「4. 利用したことがない」に○をつけた方にお聞きします。
利用しない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 就職活動をする予定がないから | 6. スタッフが厳しそうな雰囲気があるから |
| 2. 現段階で進路・就職サポートは不要だから | 7. 個別相談・面接指導の予約が面倒だから |
| 3. 適切な支援がもらえないから | 8. 開室時間に授業等で行くことができないから |
| 4. 欲しいと思う情報が少ないから | 9. 利用の仕方がわからないから |
| 5. キャリアセンターに入りにくいから | 10. その他 () |

2. 本学の進路・就職サポート体制に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| 1) 1、2学年から将来の進路について考える機会が豊富である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2) 進路・就職サポートは一人ひとりに対してきめ細やかである | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3) キャリアセンターの資料や情報が豊富である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4) 就職について専門的な助言をしてくれる
(企業での職業体験をもつキャリアアドバイザーなど) | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5) 就職に関するガイダンスや対策講座が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6) 適性検査や採用試験対策模試などが充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7) インターンシップなど、学外での体験制度が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8) 公務員志望者のための指導や講座が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 9) 資格や免許取得のためのサポート体制が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 10) 大学院進学のための資料や情報が豊富である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 11) 卒業生 (OB・OG) に話を聞く機会が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 12) キャリアセンターの職員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 13) 教職支援センターでの教員志望者のための指導や講座が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 14) 教職員は教職について専門的な助言をしてくれる | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

3. 本学の進路・就職サポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【F 大谷大学の福利厚生施設・設備などについて】

1. 本学の福利厚生施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | | | | | | |
|----------------|------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 《食堂》 | 1) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 2) 座席数は学生数に対して十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 3) メニューが充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 4) 価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 5) 味がよい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 6) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《ビッグバレー》 | 7) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 8) 座席数は学生数に対して十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 9) メニューが充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 10) 価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 11) 味がよい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 12) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《談話室 1号館1階》 | 13) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 14) スペースは学生数に対して十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 15) 学生のいこいの場として活用できる | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《学内コンビニエンスストア》 | 16) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 17) 品数、価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 18) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《学内書店》 | 19) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 20) 本や雑誌の種類、価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 21) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《その他》 | 22) キャンパスにはくつろげる空間がある | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 23) クラブ・サークル活動など課外活動のための施設は充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 24) 湖西キャンパスのセミナーハウス (研修施設) は充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 上記にあげたような本学の福利厚生施設・設備を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【G 大谷大学の教育施設・設備などについて】

1. 本学の教育施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

《講義室など》	1) 授業の形式に合った教室の設備が整っている	5	4	3	2	1
《情報処理教室》 (情報処理実習室含む)	2) 開室時間は適切である	5	4	3	2	1
	3) 利用できるパソコンの台数は十分である	5	4	3	2	1
	4) 職員や情報アシスタントの対応に満足している	5	4	3	2	1
《博物館》	5) 博物館の展示をよく見学する	5	4	3	2	1
《体育館》	6) 体育館・湖西キャンパスの体育施設は充実している	5	4	3	2	1
《自習スペース》	7) 自習のスペースは学生数に対して十分である	5	4	3	2	1

2. あなたは《図書館》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に答えてください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|----------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開館日・開館時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 探している本を検索しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 蔵書の種類や冊数は十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) ビデオ・CDなど視聴覚資料の閲覧が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| e) 図書館員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

3. あなたは《総合研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～f)の質問に答えてください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 利用できるパソコンの台数は十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 学科を超えた交流や学びの機会に役立っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) 常駐している助教に相談しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| e) 助教の助言や指導はわかりやすく適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。

- f) 助教の開催する勉強会は学習に役立っている
- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|

「2. いいえ」に○をつけた方は、総合研究室を利用しない理由を聞かせてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【G 大谷大学の教育施設・設備などについて 続き】

4. あなたは《GLOBAL SQUARE》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～d)の質問に答えてください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 常駐しているスタッフに相談しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 勉強会やイベントに参加しやすい雰囲気がある | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) 勉強会は語学力の向上に役立つ | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、GLOBAL SQUAREを利用しない理由を聞かせてください。

5. あなたは《教職支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～d)の質問に答えてください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 常駐しているスタッフに相談しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 図書や資料が十分にそろっている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) 教職支援センターだより『大谷教師塾』には役立つ情報が載っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、教職支援センターを利用しない理由を聞かせてください。

6. 社会学科社会福祉学コースと短期大学部幼児教育保育科の方にお聞きます。

あなたは《実習支援センター》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～d)の質問に答えてください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|----------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 常駐しているスタッフに相談しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 図書や資料が十分にそろっている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) 実習手続きの窓口として適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、実習支援センターを利用しない理由を聞かせてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【G 大谷大学の教育施設・設備などについて 続き】

7. 短期大学部の方にお聞きします。

あなたは、短期大学部の《一般研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)、b)の質問に回答してください。
2. いいえ → a) 開室時間は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1
b) 常駐している助教や室員に相談しやすい 5 - 4 - 3 - 2 - 1

「2. いいえ」に○をつけた方は、短期研究室を利用しない理由を聞かせてください。

8. すべての方にお聞きします。

上記にあげたような本学の教育施設・設備(10~11ページも含めて)を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

【H その他】

1. 下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) キャンパス内の美化が行き届いている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) キャンパス内(スモークングエリアを除く)での禁煙が徹底されている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) キャンパスは適度な広さである 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 通学のための交通の便がよい 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 上記にあげたような項目を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

V 大谷大学の建学の理念(教育機関として果たすべき目標)について

大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係(自分との関係、他者との関係)を重視した教育を行い、仏教ないし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。これについて、以下の設問に回答してください。

Q11-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大学に入学する前から知っていた
2. 大学に入学してから知った
3. 今回初めて知った

Q11-2 あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 「人間学」や「仏教と人間」の授業
2. 導入科目(「学びの発見」)の授業
3. 演習(ゼミ)の授業
4. 各種講義
5. 各教員による個別指導
6. 総合研究室での助教による指導
7. 各課窓口・各センター等での事務職員によるサポート
8. クラブ・サークル等の課外活動
9. 資格取得のための各種実習
10. インターンシップ
11. ビッグバレーなどでの自由な談話
12. 各種宗教行事
13. その他 ()

Ⅵ 大谷大学に対する満足度について

Q12 あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえない	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1

Q13 大谷大学に満足している点、満足していない点、あるいは入学前と入学後で大きく印象が変わった点について自由にお書きください(記述スペース不足のばあいは、次ページの余白をご利用ください)。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

より良い学びの場をめざして

大谷大学大学院 在学生満足度アンケート

2013年11月

大谷大学自己点検・評価委員会

このたび、大谷大学では、学びの場としての本学をより充実させるために大学院に
対する学生のみなさんの満足度調査を実施することにしました。
ご記入いただいた内容は調査の集計と分析のみに利用し、回答内容から個人を特定する
ようなことは一切ありませんので、安心して、思ったことを率直に書いてください。
また、必ず最後の質問まで回答して下さるようお願いいたします。

《注意事項》

- ①授業時間中に回答は行いません。各自持ち帰って回答したものを、
2013年11月22日(金)までに企画課(博綜館1階)に備え付けられた
回収ボックスに投函してください。
- ②アンケートは無記名で、自由な意見を記入してください。
- ③自分が該当しない項目についても、友人・先輩の話など周囲からの情報も判断材料に
して評価を記入してください。
- ④自由記述について記述スペースが不足する場合は、ページの余白を利用してください。

まず、あなた自身についてお伺いします。下記の質問について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

所属研究科・専攻 (1つに○)	【文学研究科】 1. 真宗学専攻 2. 仏教学専攻 3. 哲学専攻 4. 社会学専攻 5. 仏教文化専攻 6. 国際文化専攻 7. 教育・心理学専攻
学 年 (1つに○)	1. 修士課程第1学年 2. 修士課程第2学年 3. 博士後期課程第1学年 4. 博士後期課程第2学年 5. 博士後期課程第3学年
性 別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性
修士課程の方に、 博士後期課程進学に ついてお聞きします (1つに○)	1. ぜひ進学したいと思っている 2. できれば進学したいと思っている 3. 進学は考えていない
博士後期課程の方に、 課程修了について お聞きします (1つに○)	1. ぜひ課程修了したいと思っている(学位論文を提出し、学位を取る) 2. できれば課程修了したいと思っている 3. 課程修了は考えていない
出身大学 (1つに○)	1. 大谷大学 2. 他大学
本学へ入学した時の あなたの気持ち (最も近いもの 1つに○)	1. ぜひ入学したいと思った 2. まあ満足して入学した 3. 特に満足も不満もなく入学した 4. どちらかといえば不満だった 5. 不満だった

I あなたの大学院での学業・取り組みについて

Q1 あなたが大学院に進学しようと思った理由は何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 現在専攻している分野をさらに深く研究したかったから
2. 希望する指導教員や研究対象が本学にあったから
3. 将来、研究者になることをめざしていたから
4. 資格や免許取得に有利だから
5. めざす分野での就職に有利だから
6. 将来について考える時間が欲しかったから
7. 大学卒業後、就職できなかったから
8. その他(具体的に: _____)

Q2 あなたが、大学院で意欲的に取り組んでいることは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 専門分野の研究
2. 資格・免許取得のための勉強
3. 就職のための準備
4. ボランティア活動
5. アルバイト
6. その他(具体的に: _____)

Q3 あなたが、現在取り組んでいる専門研究の進行状況はどの程度ですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

順調である	どちらかといえば 順調である	どちらとも いえない	どちらかといえば 不調である	不調である
5	4	3	2	1

Q4 大谷大学大学院に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分に
あてはまると感じますか。
それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえなく 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

1. 大学院での勉学が楽しい 5 - 4 - 3 - 2 - 1
2. 大谷大学大学院に親しみを感じる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
3. 欠点や弱さも含めて、自分らしさとは何かを考えている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
4. 自分の生き方について考えている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
5. ものごとが思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う 5 - 4 - 3 - 2 - 1
6. ものごとに対して自分なりの意見や考えをもっている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
7. 自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う 5 - 4 - 3 - 2 - 1
8. 相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う 5 - 4 - 3 - 2 - 1

II 大谷大学大学院に対する評価や満足度について

Q5 大谷大学大学院について、以下の項目に関して5段階で評価してください。
それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえなく 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【A 授業について】

1. 授業に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 専門的な知識・技能が身につく授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 興味をもてる授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 内容をよく理解できる授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 資格取得に役立つような授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 将来の進路に役立つような授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 現代的な課題について学べる授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) 自分の生き方に影響を与えられる授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 授業を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。
また、その理由をご記入ください。

とても満足 している	まあ満足 している	どちらとも いえなく	あまり満足 していない	まったく満足 していない
5	4	3	2	1

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【B 学びの環境について】

1. 学びの環境に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 演習(ゼミ)での研究指導が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 外国語を学ぶ多様な機会が用意されている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 関連科目に興味ある科目が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 資格や免許取得のための授業が受講しやすい 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 他大学大学院との単位互換が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) シラバス(授業概要)を、研究計画等に活用している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 専門領域の基礎を学び直すことができる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) 自分の興味・関心を追求することができる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9) ゼミでの発表の機会が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 10) ゼミ以外での発表の機会が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 11) 学会誌等への投稿機会が整っている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 12) 大学院特別セミナーの開講など、国際的な学术交流の機会が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 13) 教えることを体験する機会としてのTA、情報アシスタント等に参加することについて、あなたはどのように思いますか。自由にお書きください。

2. 学びの環境を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【C 教員について】

1. 教員に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 高度な内容を分かりやすく伝えるように工夫している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 学生の指導に熱意をもっている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 研究意欲を喚起してくれる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 学問分野の専門家として優れている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 人間的に魅力があり、尊敬できる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 授業以外でも教員に気軽に質問等ができる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) シラバスの評価基準にもとづいて適切に成績評価を行う教員が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 教員を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【D 教育・学生生活のサポート体制について】

1. 教育・学生生活のサポート体制に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

<教育に関するサポート>

- 1) 履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 資格取得に関する履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 休講連絡などが学生にわかりやすく情報提供されている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) OUNETや「学生向け情報提供システム」が充実している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 海外研修や留学などのサポート体制が充実している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 教務課の職員の対応に満足している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1

<学生生活に関するサポート>

- 7) 奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) 学生生活で困ったときに相談できる体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9) 心身の健康管理のための保健室や学生相談室は利用しやすい …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 10) ハラスメントの相談窓口である人権センターは利用しやすい …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 11) 休学や留学をした場合のサポート体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 12) 学生支援課の職員の対応に満足している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 教育・学生生活のサポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【E 進路・就職サポート体制について】

1. あなたは、キャリアセンターを利用したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. よく利用している
2. たまに利用している
3. ほとんど利用していない
4. 利用したことがない

「3. ほとんど利用していない」「4. 利用したことがない」に○をつけた方にお聞きします。利用しない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 就職活動をする予定がないから
2. 現段階で進路・就職サポートは不要だから
3. 適切な支援がもらえないから
4. 欲しいと思う情報が少ないから
5. キャリアセンターに入りにくいから
6. スタッフが厳しそうな雰囲気があるから
7. 個別相談・面接指導の予約が面倒だから
8. 開室時間に授業等で行くことができないから
9. 利用の仕方がわからないから
10. その他 ()

2. 進路・就職サポートに関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 進路・就職サポートは一人ひとりに対してきめ細やかである …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) キャリアセンターの資料や情報は豊富である …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 就職について専門的な助言をしてくれる職員が充実している (企業での職業体験をもつキャリアアドバイザーなど) …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 研究職や専門職に就くために指導教員に相談することができる …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 公務員志望者のための指導や講座が充実している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 教職支援センターでの教員志望者のための指導や講座が充実している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 資格や免許取得のためのサポート体制が充実している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) キャリアセンターの職員の対応に満足している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1

3. 進路・就職サポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【F 教育施設・設備などについて】

1. 教育施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 《講義室など》 1) 授業の形式に合った教室の設備が整っている ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 《博物館》 2) 博物館の展示をよく見学する ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 《その他》 3) 学習会・研究会をするスペースは十分である ……5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. あなたは《図書館》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に回答してください。
 2. いいえ
 a) 開館日・開館時間は適切である ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 b) 探している本を検索しやすい ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 c) 蔵書の種類や冊数は十分である ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 d) ビデオ・CDなど視聴覚資料の閲覧が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
 e) 図書館員の対応に満足している ……5 - 4 - 3 - 2 - 1

「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

3. あなたは《総合研究室》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～h)の質問に回答してください。
 2. いいえ
 a) 開室時間は適切である ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 b) 利用できるパソコンの台数は十分である ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 c) 参考書・基本文献・辞書など、研究に必要な基本的な資料がそろっている ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 d) ひとりひとりの研究スペースは十分である ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 e) 専攻を超えた交流や学びの機会に役立っている ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 f) 常駐している助教に相談しやすい ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 g) 助教の助言や指導はわかりやすく適切である ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 ※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。
 h) 助教の開催する勉強会は学習に役立っている ……5 - 4 - 3 - 2 - 1

「2. いいえ」に○をつけた方は、総合研究室を利用しない理由を聞かせてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【F 教育施設・設備などについて 続き】

4. あなたは《GLOBAL SQUARE》を利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～d)の質問に回答してください。
 2. いいえ
 a) 開室時間は適切である ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 b) 常駐しているスタッフに相談しやすい ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 c) 勉強会やイベントに参加しやすい雰囲気がある ……5 - 4 - 3 - 2 - 1
 d) 勉強会は語学力の向上に役立つ ……5 - 4 - 3 - 2 - 1

「2. いいえ」に○をつけた方は、GLOBAL SQUAREを利用しない理由を聞かせてください。

5. 上記にあげたような教育施設・設備（前ページも含めて）を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【G 福利厚生施設・設備などについて】

1. 福利厚生施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | | | | | | |
|----------------|-----------------------------------|---|---|---|---|---|
| 【食堂】 | 1) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 2) 座席数は学生数に対して十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 3) メニューが充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 4) 価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 5) 味がよい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 6) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 【ビッグバレー】 | 7) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 8) 座席数は学生数に対して十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 9) メニューが充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 10) 価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 11) 味がよい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 12) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 【談話室 1号館1階】 | 13) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 14) スペースは学生数に対して十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 15) 学生のいこいの場として活用できる | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 【学内コンビニエンスストア】 | 16) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 17) 品数、価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 18) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 【学内書店】 | 19) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 20) 本や雑誌の種類、価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 21) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 【その他】 | 22) キャンパスにはくつろげる空間がある | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 23) クラブ・サークル活動など課外活動のための施設は充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 24) 湖西キャンパスのセミナーハウス（研修施設）は充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 上記にあげたような福利厚生施設・設備を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【H その他】

1. 下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | | | | | |
|------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1) キャンパス内の美化が行き届いている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2) キャンパス内（スモークングエリアを除く）の禁煙が徹底されている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3) キャンパスは適度な広さである | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4) 通学のための交通の便がよい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5) キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6) キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 上記にあげたような項目を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

理由

Ⅲ 大谷大学の建学の理念（教育機関として果たすべき目標）について

大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係（自分との関係、他者との関係）を重視した教育を行い、仏教なし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。これについて、以下の設問に答えてください。

Q6-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大学院に入学する前から知っていた
2. 大学院に入学してから知った
3. 今回初めて知った

Q6-2 あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. 演習（ゼミ）の授業 | 6. 各課窓口・各センター等での事務職員によるサポート |
| 2. 各種講義 | 7. ビッグバレーなどでの自由な談話 |
| 3. 各教員による個別指導 | 8. 各種宗教行事 |
| 4. 総合研究室での助教による指導 | 9. その他 |
| 5. 院生間での勉強会 | () |

IV 大谷大学大学院に対する満足度について

Q7 あなたは大谷大学大学院に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。

とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	まったく満足していない
5	4	3	2	1

Q8 大谷大学大学院に満足している点、満足していない点、あるいは入学前と入学後で大きく印象が変わった点について自由にお書きください（記述スペース不足の場合は、次ページの余白をご利用ください）。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。